Panasonic®

操作説明書

ネットワークカメラ専用録画ビューアソフト「ビューア専用　無料版」

- 操作説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

<u>お知らせ</u>

本プログラムは弊社ネットワークカメラシリーズのマルチ画像をJPEGによる動画で閲覧いただくため、BB-HNP17（有料版）の機能の一部である、マルチモニタリング機能を無償で提供するものであり、**録画はできません**。ご利用の際は、ご利用規定に必ず同意いただいたうえでお使いください（ライセンス登録は不要です）。また、本説明書の記載内容はBB-HNP17（有料版）用です。品名など一部、本プログラムと一致しない箇所があります。
本プログラムは送話機能のある弊社DG／WVシリーズネットワークカメラ、およびBB-Sシリーズネットワークカメラに対して送話できます。
※この場合、本プログラムの「カメラへの自動設定」（環境設定の基本設定）が有効の場合は、カメラ新規登録時、登録後の設定変更時、またはカメラへのアクセス時に、カメラ本体側の音声モードは「双方向」（カメラに送話機能がない場合は「受話」）に自動的に変更されます。
本プログラムの制限事項は以下のとおりです。

- 本プログラムで登録できるカメラは最大16台です。
- 本プログラムに接続するカメラのデータ形式はJPEG固定です。MPEG-4、H.264には対応していません。
- カメラ画像の最大解像度はVGA（640x480）です。
- マルチモニタリング画面のレイアウトは、1×1、2×2、3×3、4×4の4パターンのみです。
- 使用できない機能：
録画、再生、リモートアクセス、ファイル変換、時刻指定カラーナイトビュー、プリセットシーケンス、Eメール送信、カメラ接続確認、イベント検知録画（動作検知、アラーム検知など）、イベント検知時の制御、カメラとのSSL接続、カメラ設定情報のインポート／エクスポート、プリセット移動、カメラの外部出力の開放／短絡、ホームポジション移動、パンスキャン／チルトスキャン、明るさ調整、逆光補正、テレ／ワイド
- アフターサービスは受けることができません。
- 付属品はありません。
- BB-HNP17（有料版）をインストールするときは、まず本プログラムをアンインストールしてください。

はじめに

特長

H.264に対応
H.264対応カメラの画像を録画、再生できます。

解像度2048 × 1536に対応
解像度2048 × 1536対応カメラの画像を録画、モニタリングできます。

ワイド画面表示に対応
16：9などのワイド画面表示にも対応しています。
ワイド画面いっぱいにマルチモニタリング画面、マルチ再生画面を表示します。

ブラウザ対応 (→ 132 ページ)
ブラウザで本プログラムのサーバーにアクセスして、モニタリング、設定画面などを表示できます。

自由なレイアウト設定 (→ 103 ページ、111 ページ)
本プログラムでは、64台のカメラを登録できます。*1
またマルチモニタリング画面、マルチ再生画面で自由にレイアウトを設定できます。

プリセット指定付タイマー録画(→ 80 ページ)
タイマー起動／停止時に表示する位置（プリセット）を指定できます。

プリセットシーケンス(→ 48 ページ)
カメラのプリセットに登録されている場所を定期的に巡回して見ることができます。

イベント検知録画
動作/アラーム/音/ショックのイベントを検知して録画ができます。*2

検知時に画像をポップアップ(→ 37 ページ)
動作検知などイベント検知時に検知した瞬間の画像をポップアップで表示します。

時刻指定カラーナイトビュー(→ 50 ページ)
カラーナイトビューの開始時刻と終了時刻をスケジュールに登録できます。

多言語に対応
工場出荷の状態では、日本語、英語に対応しています。(2013年2月現在)

カメラの接続状況をＥメールで通知(→ 43 ページ)
ネットワークの異常などによりカメラとパソコンの通信が切断された場合などカメラの接続状況を、指定したアドレスにメールで通知できます。

イベント検知をＥメールで通知(→ 20 ページ)
イベント検知（動作検知、アラーム検知、音検知、ショック検知）を、指定したアドレスにメールで通知できます。

ネットワークビデオエンコーダーに対応(→ 26 ページ)
(→ 26 ページ)

ネットワークビデオエンコーダーの画像を録画、再生できます。

*1 同時に録画できる台数ではありません。同時に録画できる台数は解像度、フレームレート、パソコンの仕様などにより異なります。詳細は165 ページを参照してください。
*2 各イベントに対応しているネットワークカメラが必要です。

本説明書に使用している画面について

本説明書では、Microsoft® Windows® XP上で本プログラムを操作した場合の画面を使用しています。
使用するOSによっては画面表示が異なる場合があります。

商標その他

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet ExplorerおよびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは、米国およびその他の国における Intel Corporation およびその子会社の登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

対応パソコンの仕様

本プログラムを使用するパソコンは、下記の仕様を推奨します。

項目	概要
OS	Microsoft® Windows® 8.1 Microsoft® Windows® 8 Microsoft® Windows® 7*1 Microsoft® Windows Vista®*2 Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows Server® 2012*3 Microsoft® Windows Server® 2008*3 Microsoft® Windows Server® 2003*3
CPU	Intel® Core™ 2 Duo 2.1 GHz以上
メモリー	4 GB以上
解像度	SXGA (1280 × 1024ピクセル 1677万色)
ウェブブラウザ	Windows® Internet Explorer® 6（32ビット日本語版） Windows® Internet Explorer® 7（32ビット日本語版） Windows® Internet Explorer® 8（32ビット日本語版） Windows® Internet Explorer® 9（32ビット日本語版） Windows® Internet Explorer® 10（32ビット日本語版） Windows® Internet Explorer® 11（32ビット日本語版）
ファイルシステム	NTFS (NT File System)

項目	概要
音声*4	音声出力機能 (スピーカーまたはヘッドホンを含む) 音声入力機能 (マイク)

*1 Windows 7 Starterは、対象パソコンの仕様が当社製品の仕様の制限を満たさないため、動作保証対象外です。
*2 Windows Vistaの場合、「電源オプション」設定を「高パフォーマンス」にしてご使用ください。
（タイマー録画が作動しない場合があります。）
*3 Windows Media® Playerの機能を追加してください。
Windows Media Player のインストール方法（Windows Server 2003、Windows Server 2008の場合）:
[スタート]→[コントロール パネル]→ [プログラムと機能]→[Windowsの機能の有効化または無効化]で表示されるサーバーマネージャの機能で、 [機能追加]をクリック→[デスクトップ エクスペリエンス]をチェックしてWindows Media Player をインストールしてください。
*4 BB-HCM310以外の音声対応ネットワークカメラをご使用の場合

お知らせ

- Windows Updateを自動更新に設定していると更新中に録画が途切れる場合があります。
その場合、Windows Updateは録画に影響のない範囲で、手動で実施されることをお勧めします。

お願い

- パソコンの仕様により推奨するカメラの登録台数、マルチモニタリング画面での表示台数、同時録画できる台数など異なります。詳細は165 ページを参照してください。
- 録画方法や、録画日数から、おおよその録画画像の容量を算出することができます。ハードディスクの容量は、[録画サイズ (予測値)](→ 29 ページ) や録画画像ファイルサイズ(→ 18 ページ)を目安に、必要な容量をお求めください。
- 省電力モード、スクリーンセーバーからの復帰時に本プログラムが誤動作することがありますので、本プログラムを使用中は省電力モードが動作しないように抑制しています。
また、スクリーンセーバーについても使用しないようお願いいたします。
スクリーンセーバーの設定は本プログラムの[環境設定]→[基本設定]画面で設定できます。
(→ 15 ページ)
- 一部のセキュリティソフトではCドライブにTEMPファイルが大量に使用され、本プログラムが誤動作することがあります。

推奨インターネット回線

インターネット経由でカメラを登録する、あるいはリモートアクセスを使用する場合には、下り/上り共に帯域の太いFTTH（光ファイバー）を推奨します。

DG/WVシリーズネットワークカメラ

本プログラムに対応のDG/WVシリーズネットワークカメラおよびネットワークビデオエンコーダーは以下のとおりです。（2015年6月現在）

- SFN6**/SFV6**/SPN6**/SPW6**シリーズ
- SFN3**/SFV3**/SPW3**シリーズ
- SPN5**シリーズ
- SF5**/SP5**/SW5**/SW4**/SF4**シリーズ
- GXE100,500（ネットワークビデオエンコーダー）

- SW3**/SC3**/SF3**/SP3**/SW1**/SF1**/SP1**シリーズ
- NW502S（Ver.1.02 以降）、NP502（Ver.1.02 以降）

機能制限のあるネットワークカメラ

本プログラムで機能制限のあるネットワークカメラは以下のとおりです。（2015年6月現在）

- 上記記載のDG/WVシリーズネットワークカメラ
- BB-SC364
- BB-SW374
- BB-SP104W
- BB-SC384シリーズ
- BB-ST160シリーズ
- BB-SW170シリーズ

お知らせ

- 上記機能制限のあるネットワークカメラを本プログラムに登録して使用する場合は、本説明書に記載の内容と一部仕様が異なります。
  詳細は157 ページを参照してください。

もくじ

1 ご使用の前に

1.1 本プログラムを使うまでの流れ

本プログラムを使用するまでの流れは、以下のとおりです。

ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約書(→ 添付ちらし)を読む
- この契約書に同意できなければ、本プログラムのインストールができません。
 (インストール時に同じ内容が表示され、同意を求められます。)

本プログラムをインストールする
(→ 『ご使用の前に』 1 本プログラムをインストールする)

ライセンス登録を行う(→ 11 ページ)
- 本プログラムを使用するには、ライセンス登録が必要です。
- ライセンス登録には、付属の登録コードシールが必要です。

録画環境を設定する(→ 14 ページ、19 ページ、20 ページ)
- 録画データを保存する場所を選びます。
- プロキシサーバーをご利用の場合は、プロキシサーバーを設定します。
- イベント検知時、カメラ切断時にメール通知する場合は、Eメール設定をします。

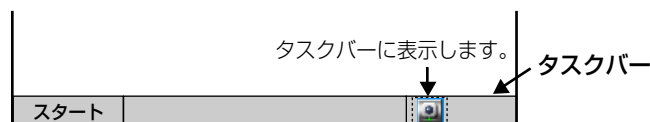
カメラを登録する(→ 24 ページ)
- 登録するカメラにセキュリティ設定(カメラ認証を設定)をしている場合は、カメラ管理者のユーザー名、パスワードを入力してください。一般ユーザーや未登録ユーザーのユーザー名、パスワードを設定すると、正常に動作しない場合があります。

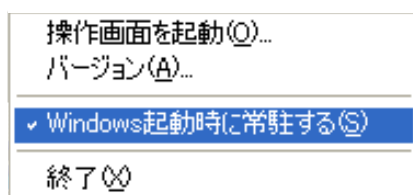
カメラの画像を見る(→ 69 ページ、73 ページ)
カメラの画像を録画する(→ 75 ページ)
録画画像を再生する(→ 87 ページ)

1.2 本プログラムの起動および終了

本プログラムはパソコンが起動すると自動で起動します。

- 本プログラム起動中は、パソコンのタスクバーに を表示します。

パソコンの画面

お知らせ

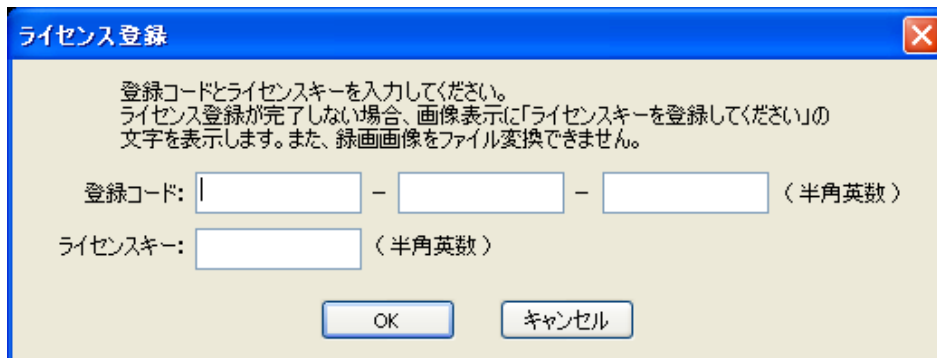
- Windows 7で本プログラムをご使用の場合、タスクバーに は表示されません。
  タスクバーにある三角ボタン（▲）をクリックすると が表示されます。
  をタスクバーに常時表示させたい場合には、タスクバーにある三角ボタン（▲）をクリックして表示されるメニューで[カスタマイズ]を選択して、本プログラムに対して[アイコンと通知を表示]を設定してください。
- パソコン起動時に、本プログラムが自動で起動しないように設定するには、 を右クリックして表示されるメニューで、[Windows起動時に常駐する]をクリックして、チェックマークを外してください。

1.2.1 操作画面を起動する

デスクトップ上の をダブルクリックする

- 本プログラムの操作画面を表示します。

お知らせ

- 本プログラムの操作画面は以下の方法でも起動できます。
  - パソコンの[スタート]メニューから[すべてのプログラム(P)]→[ネットワークカメラ専用録画ビューアソフト Ver. 4]→[ネットワークカメラ専用録画ビューアソフト Ver. 4]を選択する
  - エクスプローラを起動して本プログラムインストール先の[Ncr4]フォルダの[ncr4.exe]をダブルクリックする
- 本プログラムを複数起動することはできません。

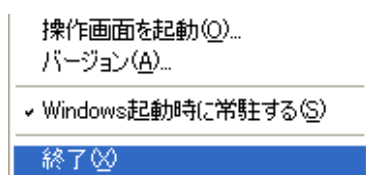
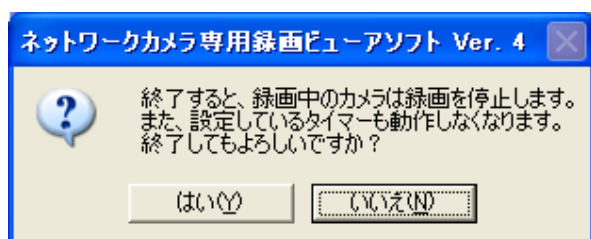
- 本プログラムを使用するには、ライセンス登録が必要です。
  ライセンス未登録の状態で操作画面を起動すると、画面上に[ライセンスキーを登録してください]と表示します。
  11 ページの手順に従って、ライセンス登録を行ってください。

1.2.2 操作画面を終了する

操作画面で をクリックする

お知らせ

- 操作画面を終了しても、タスクバーの は消えません。
  は表示中は、プログラムは起動していますので、タイマー録画を設定している場合は動作します。

1.2.3 プログラムを終了する

1 タスクバーの を右クリックして表示されるメニューから[終了]を選択する

2 [はい(Y)]をクリックする

お知らせ

- プログラムを終了すると、タスクバーから の表示が消えます。
- プログラムを終了すると、タイマー録画を設定していても、動作しません。

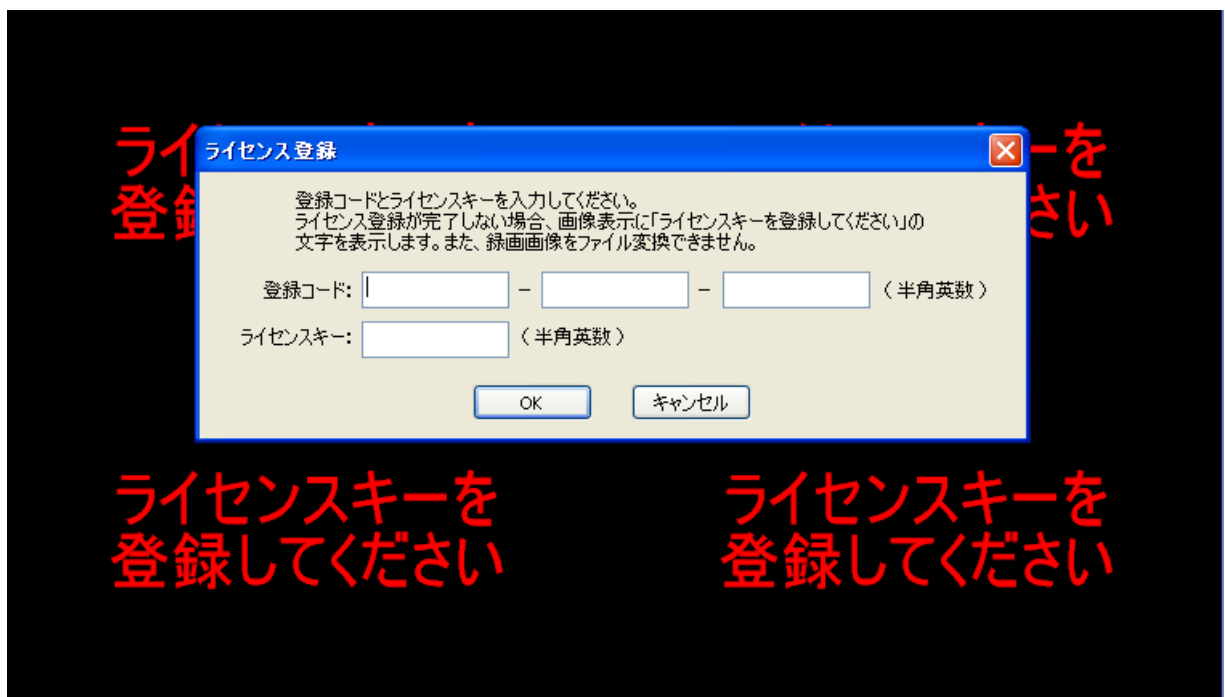
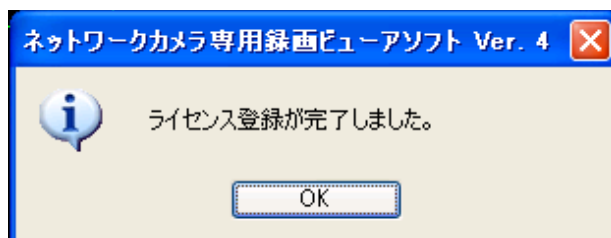
1.3 ライセンス登録を行う

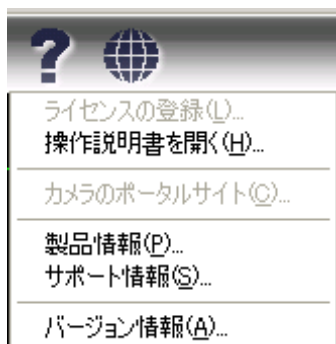
本プログラムは、ライセンス未登録の状態で操作画面を起動すると、画面上に[ライセンスキーを登録してください]と表示します。

1.3.1 新規でライセンス登録する

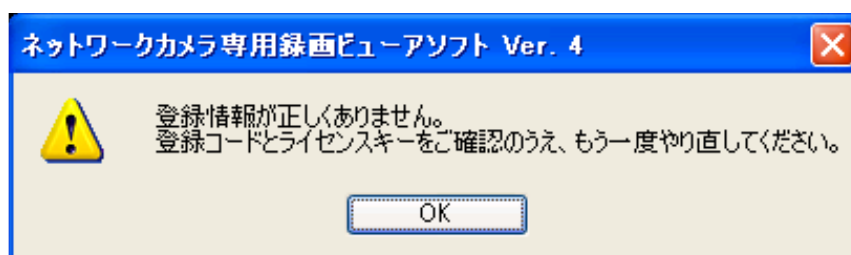
1 マルチモニタリング画面の をクリックして表示されるメニューから[ライセンスの登録]を選択する

2 [登録コード]と[ライセンスキー]を半角英数字で入力して[OK]をクリックする

- 登録コードとライセンスキーは、付属の登録コードシールに記載しています。
  大文字と小文字は区別されますので、記載どおりに正しく入力してください。

3 [OK]をクリックする

お知らせ

- 登録が完了すると[ライセンスの登録]がグレー表示に変わります。

- セキュリティソフトが働いて、ライセンス登録完了後に操作画面を起動しても、再度[ライセンス登録]画面が表示される場合があります。
  その場合は、ご使用のセキュリティソフトを一時的に停止する、あるいはセキュリティソフトに本プログラムへの接続を許可するなどの設定を行ってください。設定方法はご使用のセキュリティソフトの取扱説明書を参照してください。

お願い

- 以下の画面が表示されたときは、登録コード、ライセンスキーが正しく入力されていません。
  再度確認して、入力し直してください。

- 登録コードおよびライセンスキーは紛失しないよう管理してください。
  万が一、紛失された場合でも再発行はできません。

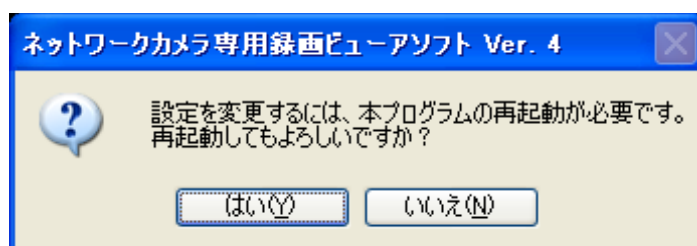
1.4 表示言語を切り替える

画面に表示される言語を切り替えます。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

2 表示する言語を選択する

- 工場出荷の状態では、以下の言語から選択できます。(2015年6月現在)
  ・英語　・日本語

3 [はい(Y)]をクリックする

- 本プログラム再起動後、表示言語が切り替わります。

1.5 録画環境を設定する

1.5.1 録画画像の保存先を設定する

本プログラムは、カメラで録画した画像をパソコンのハードディスクに保存しますが、保存先フォルダを変更できます。
保存先フォルダを変更すると、指定したフォルダ内に録画した画像を保存します。

- 保存先フォルダを指定しなければ、本プログラムインストール先フォルダ内の[ncrdata]フォルダ内に録画した画像を保存します。
- 録画画像を本プログラムのインストール先とは別のフォルダに保存する、または増設したハードディスクに保存する場合などに、保存先フォルダを変更してください。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

2 [環境設定]をクリックする

3 [基本設定]画面で各設定を行い[OK]をクリックする

基本設定画面

設定項目	設定内容
保存先フォルダ	録画した画像の保存先フォルダを設定します。(→ 16 ページ) • 保存先として起動ドライブのProgram Filesのパスを指定した場合、Windows Vista、Windows 7ではOSの仕様(UAC:ユーザーアカウント制御)により、録画した画像は自動的に別フォルダに保存されます。C:¥Program Files¥Panasonic¥Ncr4にインストールした場合、 Vista、Windows 7の保存先フォルダはC:¥ユーザー¥<ユーザー名>¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files¥Panasonic¥Ncr4¥ncrdataです。 この[AppData]フォルダのパスを直接保存先フォルダとして設定しないでください。 なお、[AppData]フォルダは隠しフォルダです。フォルダが表示されない場合は、[フォルダーオプション]で[隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する]に設定してください[*1]。
録画容量を制限	保存先の録画容量を制限する場合は[録画容量を制限]にチェックマークを入れて、[制限値]を設定します。(1 GB (工場出荷値)) 保存先の録画容量を制限しない場合、保存先ドライブの空き容量が10%を切った時点で録画が停止します。
録画容量到達時の動作	制限値に達した場合の動作を設定します。([録画停止] (工場出荷値)、[古い録画画像に上書き])
スクリーンセーバー	チェックマークを入れると、本プログラム動作中はパソコンのスクリーンセーバーを停止します。 • スクリーンセーバーからの復帰時に本プログラムが誤動作することがあります。 [本プログラム動作中はスクリーンセーバーを停止]にチェックマークを入れてスクリーンセーバーは使用しないようお願いいたします。
カメラへの自動設定	DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラに対して、カメラ登録時に最適な設定を自動的に設定できます。 自動設定されるパラメータについては162 ページを参照してください。

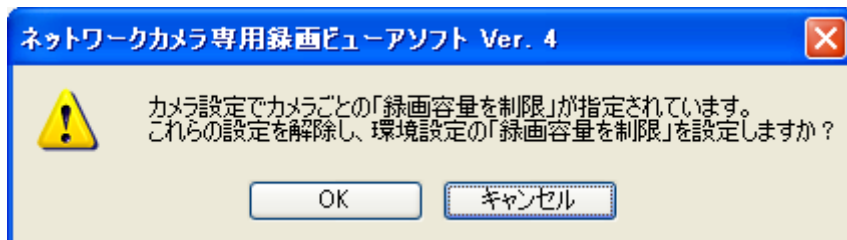
*1 Windows Vista、Windows 7で隠しフォルダを表示する方法は以下のとおりです。

1. エクスプローラを表示させた状態でキーボードの[Alt]キーを押し、[ツール]メニューの[フォルダーオプション]を選択する。
2. [フォルダーオプション]画面で[表示]タブを選択する。
3. [詳細設定]メニューで[隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する]を選択して[適用]ボタンをクリックする。

お知らせ

• カメラごとに保存先フォルダを設定することもできます。(→ 25 ページ)

- [制限値]は1 GBから保存先のドライブ容量の90%までを上限としています。また安定的な動作のためには、保存先ドライブ容量の70%以内に設定することを推奨します。
  90%を超える値を設定するとエラー画面が表示されます。

- [古い録画画像に上書き]を選択して、録画容量制限値を変更した場合、設定した値がすでに録画している容量より小さい場合は、古い録画画像から差分を削除します。
  (例：すでに録画画像が3 GBある状態で、録画容量制限値を2 GBに変更すると1 GBの録画画像を古い録画画像から削除します。)
- 保存先には内蔵ハードディスクを使用することを推奨します。保存先に外付けハードディスクを使用する場合、そのハードディスクのアクセス速度により録画画像の取りこぼし、操作性レスポンスの低下などの現象が発生することがあるので、できるだけアクセス速度の速いハードディスクを使用してください。
- カメラごとに録画容量を制限することもできます。(→ 32 ページ)
  ただし環境設定とカメラ設定の[録画容量を制限]は同時に設定できません。カメラで[録画容量を制限]を設定している場合は、以下の画面を表示します。
  [OK]ボタンをクリックすると、カメラで設定している[録画容量を制限]を解除します。

保存先フォルダを変更する場合は

1 [基本設定] 画面の [保存先フォルダ] で [参照] をクリックする

2 保存先のフォルダを選択して [OK] をクリックする

- 保存先フォルダは、あらかじめ作成しておいてください。

お願い

- 保存先は、ドライブ容量が1.2 GB以上で、ドライブ容量の1割以上の空き容量があるドライブを選択してください。
- 保存先フォルダの下に作成するフォルダ、ファイルは削除、移動、編集しないください。本プログラムの動作が不安定になります。

- システムが不安定になる恐れがありますので、保存先は、フォルダパスの合計が半角128文字以内となるフォルダを選択してください。（全角文字は半角2文字分で計算します。）

  例） D:¥HNP17¥Data
  半角で128文字以内

お知らせ

- 設定値を変更すると変更した項目のアイコンにマークがつきます。設定値の変更は[OK]ボタンまたは[適用]ボタンのクリックで確定します。設定変更時のアイコン表示については63 ページを参照してください。

録画画像ファイルサイズ

お知らせ

- ファイルサイズは、最大値を記載しています。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラのファイルサイズは163 ページを参照してください。

画像1枚 (フレーム) の大きさ(画像のみ)
データ形式：JPEG

解像度 (ドット)	サイズ (KB)		
	画質優先	標準	動き優先
1280 × 1024	100	77	60
1280 × 960	120	77	60
640 × 480	50	35	27
320 × 240	25	16	10
192 × 144	10	7	5
160 × 120	7	5	3

- 録画容量の概略は
  サイズ (KB) × フレームレート (枚／秒) × 時間 (秒) で計算します。
  例） 解像度640 × 480ドット、画質優先で1時間録画、フレームレート 5枚／秒の場合
  50 KB × 5枚／秒 × 3,600秒 (1 時間) = 900,000 KB≒879 MB
  音声付きの画像の場合は、1秒あたり4 KBを加算する。
  900,000 KB + 4 KB × 3,600秒 = 914,400 KB≒893 MB

1時間あたりのファイルサイズ（画像のみ）

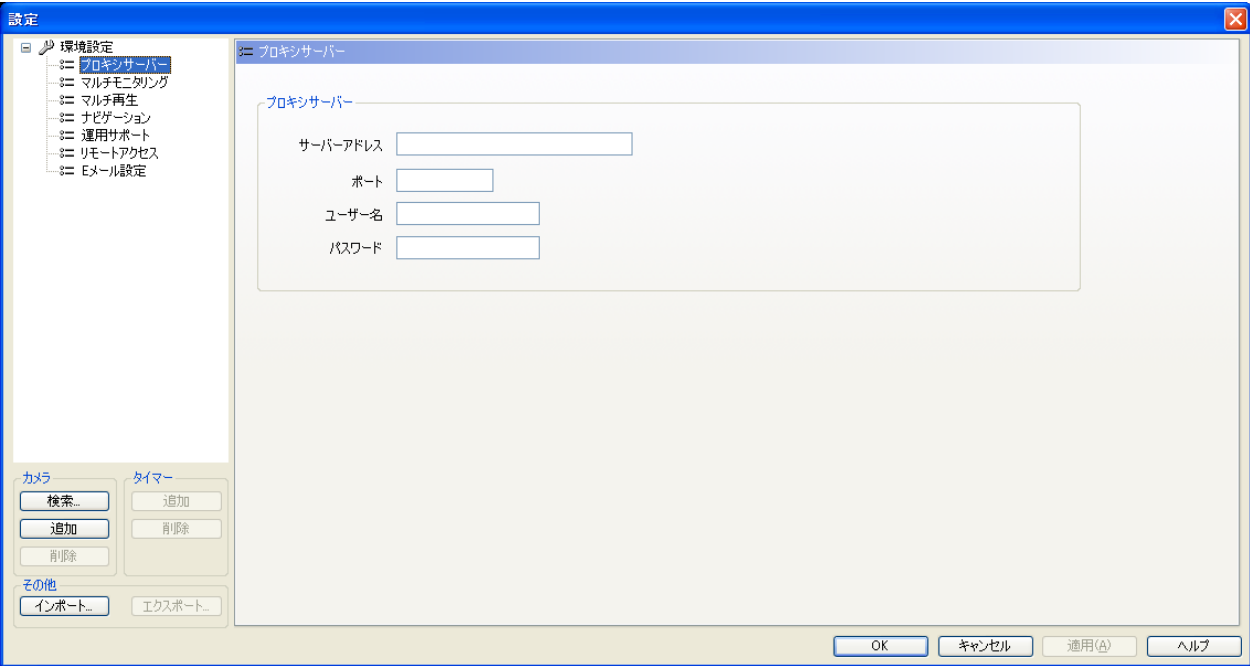
データ形式：MPEG-4／H.264

MPEG-4／H.264ビットレート（kbps）	録画ファイルサイズ（KB）
2048	921600
1536	691200
1024	460800
768	345600
512	230400
384	172800
256	115200
192	86400

- MPEG-4の録画容量の概略は、MPEG-4ビットレート*1（Kbps）÷ 8ビット × 時間（秒）で計算します。
  例）解像度640 × 480ドット、MPEG-4ビットレート768 Kbpsの場合、
  768 Kbps ÷ 8ビット × 3,600秒(1時間) = 345,600 KB (約337.5 MB)
  音声付き画像の場合は、1秒あたり4 KBを加算する。
  345,600 KB + 4 KB × 3,600秒(1時間) = 360,000 KB (約352 MB)
  *1 カメラ側で設定した [映像配信] の [MPEG-4ビットレート] の最大値で計算してください。
- H.264の録画容量の概略は、H.264ビットレート*1（Kbps）÷ 8ビット × 時間（秒）で計算します。
  例）解像度640 × 480ドット、H.264ビットレート1,536 Kbpsの場合
  1,536 ÷ 8ビット × 3,600秒(1時間) = 691,200 KB (675 MB)
  音声付画像の場合は、1秒あたり8 KBを加算する。
  691,200 KB + 8 KB × 3,600秒(1時間) = 720,000 KB(約704 MB)
  *1 カメラ側で設定した[映像配信] の [H.264ビットレート] の最大値で計算してください。

1.5.2 プロキシサーバーを設定する

インターネット経由でカメラにアクセスするときに、プロキシサーバーを使用している場合は、プロキシサーバーを設定後、各カメラの[カメラ設定]画面で[プロキシ]を[使用する]に設定してください。
(→ 25 ページ)
プロキシサーバーを使用していない場合は、以下の設定は必要ありません。

1. マルチモニタリング画面で をクリックする
2. [環境設定]で[プロキシサーバー]をクリックする
3. 各設定を行い[OK]をクリックする

プロキシサーバー画面

設定項目	設定内容
サーバーアドレス／ポート	プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力します。 ネットワーク管理者に確認のうえ、入力してください。 • 半角英数字のみ使えます。(ポート番号は半角数字のみ) • プロキシサーバーはIPv6接続には対応していません。 IPv4アドレス、またはIPv4ドメイン名サービスで登録したURLを入力してください。
ユーザー名／パスワード	認証が必要なプロキシサーバーを使用している場合は、プロキシサーバーのユーザー名、パスワードを入力します。 ネットワーク管理者に確認のうえ、入力してください。 • 半角英数字のみ使えます。

1.5.3 Eメール通知先を設定する

イベント検知（動作検知、アラーム検知、音検知、ショック検知）のお知らせ、ならびにカメラの接続状況をパソコン／携帯電話のEメールアドレスに送信するための設定を行います。
イベント検知時のカメラ画像（JPEG）は、Eメールの添付ファイルとして送信することができます。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

2 [環境設定]で[Eメール設定]をクリックする

3 各設定を行い[OK]をクリックする

Eメール設定画面

設定項目	設定内容
アドレスまたはホスト名	送信メール（SMTP）サーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。(半角英数字、255文字以内) • 半角英数字、記号が使えます(255文字以内)。 ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]、 [0.0.0.0]、[255.255.255.255]は使えません。 • IPv6アドレスでも入力できます。 – IPv6アドレスのときは、8つの16進数値を「:」で区切って入力してください。 – [0]が連続する場合は[::]と省略して表せます。 – IPv4アドレスと区別するため[ ]でくくって設定してください。 例) [2001:2:3:4::5]
ポート	送信メール（SMTP）サーバーのポート番号（1～65535）を入力します。通常は25を入力します。
送信者	送信者のアドレスを入力します。 • 送信メール（SMTP）サーバーで指定したプロバイダーより付与されたEメールアドレスを入力してください。 • Eメールアドレスに["] は使えません。
あて先1／あて先2／あて先3	送信先のEメールアドレスを入力します。 • あて先は3件まで設定できます。 3件すべてを入力する必要はありません。 • Eメールアドレスに["] は使えません。

設定項目	設定内容
認証方法	インターネットのプロバイダーが要求する認証方法を必要に応じて設定します。 • 認証なし: Eメール送信時に、ユーザー認証しない場合に選択します。 • POP before SMTP認証: プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、[POP before SMTP認証]を選択して、各項目を設定してください。 – アドレスまたはホスト名：受信メール（POP3）サーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。アドレスはIPv6アドレスでも入力できます。 [スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]、 [0.0.0.0]、[255.255.255.255]は使えません。 – ポート：ポート番号（1～65535）を入力します。通常は110を入力します。 – ログインID：受信メールサーバーの、ログインID（ユーザー名）を半角英数字で入力します（63文字以内）。 ["] は使えません。 – パスワード：受信メールサーバーの、パスワードを半角英数字で入力します（63文字以内）。 ["] は使えません。 • SMTP認証: 送信メール（SMTP）サーバーで、ユーザー認証します。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。 サポートしている認証方法は、PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5の3種類です。 – ログインID：送信メールサーバーの、ログインID（ユーザー名）を半角英数字で入力します（63文字以内）。 ["] は使えません。 – パスワード：送信メールサーバーの、パスワードを半角英数字で入力します（63文字以内）。 ["] は使えません。
SSL	Eメール送信時にSSL暗号化する場合はチェックマークを入れます。 • チェックマークを入れた場合、SMTPのポート番号を465に設定する必要がある場合があります。詳細は使用しているプロバイダーに確認してください。 • SSLはSMTP over SSL方式に対応しています。 STARTTLSには対応していません。
添付画像の解像度(横幅)	Eメール送信時に添付する画像の解像度（横幅）を設定します。 [640、320(工場出荷値)、160] • 添付する画像の解像度（縦幅）は、カメラの画像の解像度（縦横比）に従います。

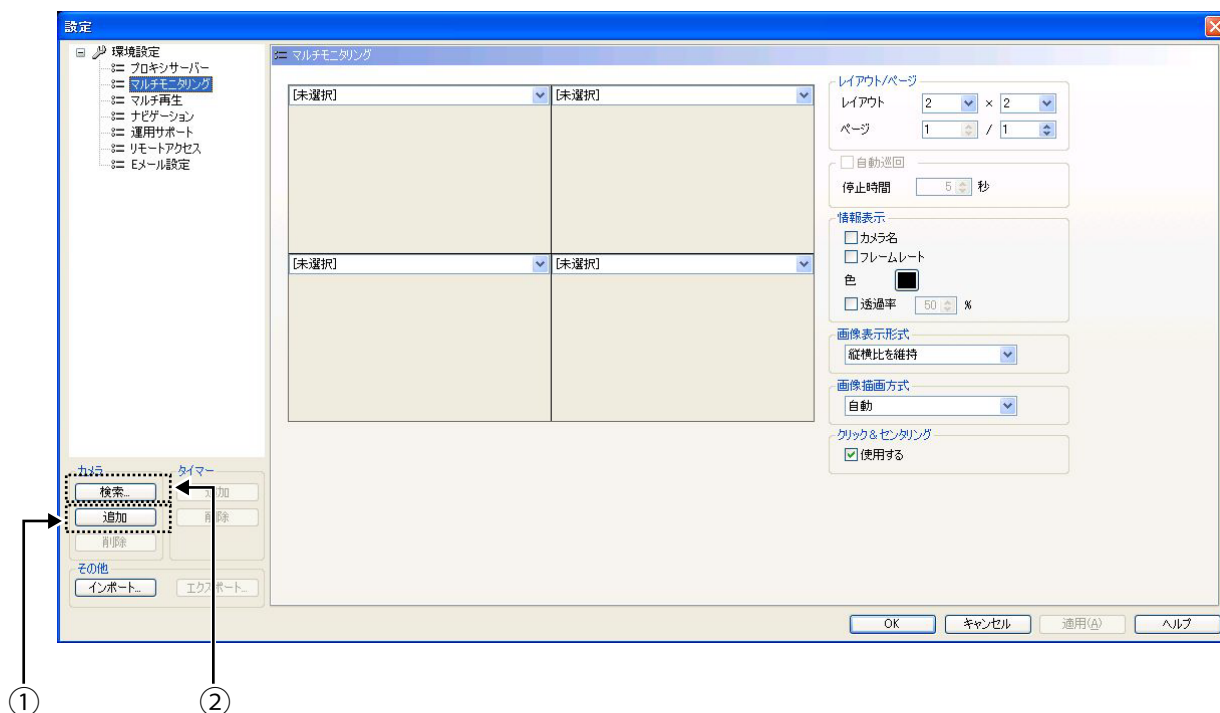
<u>お知らせ</u>

- 設定後は[テスト送信]をクリックして、設定したあて先にメールが届くことを確認してください。
- [送信待ち件数]には送信待ちメールの件数が表示されます。
  送信待ちメールは100件まで保存されます。
  [削除]をクリックすると送信待ちメールを削除します。
  削除したメールは送信されません。
- イベント検知したときにメールで通知するには、各イベント検知の設定画面で[Eメール送信]を選択してください。(→33 ページ、38 ページ、39 ページ、41 ページ)
- 画像はイベント検知（動作検知、アラーム検知、音検知、ショック検知）したときの画像を送信します。
- カメラ接続状況をメールで通知するには、[カメラ切断検知]画面で設定してください。(→43 ページ)

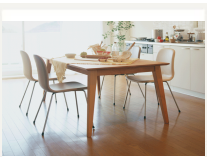
2 基本操作

2.1 カメラを登録する

本プログラムでカメラの画像をモニタリング／録画するためにカメラを登録します。
カメラは電源を入れてネットワークに接続した状態で登録をしてください。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

①	**追加** 同じネットワーク上にないカメラを登録する場合は[追加]で登録します。
②	**検索** 同じネットワーク上のカメラを登録する場合は[検索]で登録します。

2 各項目を設定する

[追加]で設定する

I. [追加]（カメラ）をクリックする

II. カメラ設定画面で各項目を設定する

カメラ設定画面

設定項目	設定内容
カメラID	自動で連番を設定します。
カメラ名	カメラ名を設定します。(半角250文字、全角125文字) 設定したカメラ名をマルチモニタリング画面上に表示するには、[環境設定]の[マルチモニタリング]で[カメラ名]にチェックマークを入れてください。(→ 103 ページ)
コメント	カメラの設置場所など、他のカメラと区別するための情報を入力します。(半角128文字、全角64文字) 入力は必須ではありません。
カメラアドレス	登録するカメラのIPアドレス (またはホスト名) を入力します。(半角英数字、256文字) カメラアドレスは入力必須項目です。 • IPv6アドレスの設定は、8つの16進数値を[:]で区切って表します。[0]が連続する場合は[::]と省略して表せます。 IPv4アドレスと区別するため[]でくくって設定してください。 例)[2001:2:3:4::5] • SSL対応のカメラには[https://カメラのIPアドレス]で接続(SSL接続)できます。httpsでカメラに接続するには、カメラ本体側のHTTPS機能を、HTTPSを使用するに設定してください。
ポート	登録するカメラのポート番号を入力します。(数字、1〜65535の範囲) • ポート番号は必ず入力してください。工場出荷値は80です。

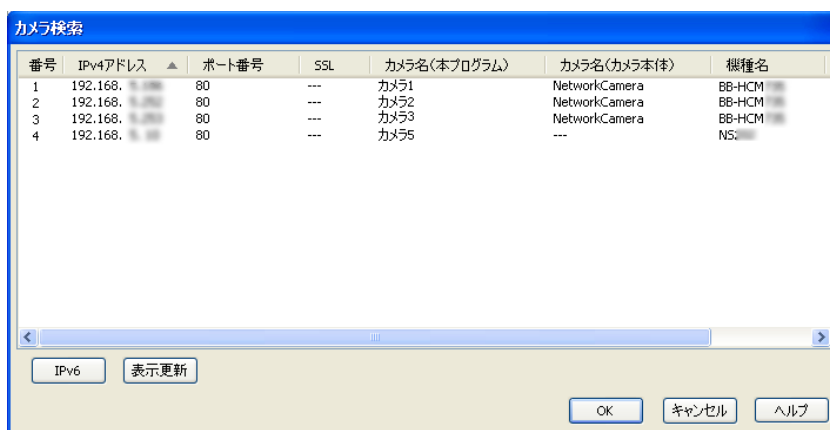
設定項目	設定内容
ユーザー名／パスワード	登録したカメラにセキュリティ設定(カメラ認証を設定)をしている場合は、カメラ管理者のユーザー名、パスワードを入力してください。(半角英数字、4～32文字) 一般ユーザーや未登録ユーザーのユーザー名、パスワードを設定すると、正常に動作しない場合があります。 • パスワードは暗号化して保存します。 • 認証方式はBasic認証のみです。Digest認証には対応していません。
プロキシ	登録するカメラにプロキシサーバーを利用しないと接続できない場合は、[使用する]を設定してください。(ただし、IPv6アドレスの設定で登録したカメラは利用できません。) プロキシを使用する場合は、あらかじめプロキシサーバーを設定してください。(→ 19 ページ)
保存先フォルダ	録画した画像の保存先フォルダをカメラごとに設定します。 保存先を変更する場合は[参照]をクリックして保存先フォルダを設定してください。 • 保存先として起動ドライブのProgram Filesのパスを指定した場合、Windows Vista、Windows 7ではOSの仕様(UAC:ユーザーアカウント制御)により、録画した画像は自動的に別フォルダに保存されます。 C:¥Program Files¥Panasonic¥Ncr4にインストールした場合、 Vista、Windows 7の保存先フォルダは C:¥ユーザー¥<ユーザー名>¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files¥Panasonic¥Ncr4¥ncrdataです。 この[AppData]フォルダのパスを直接保存先フォルダとして設定しないでください。
映像チャンネル設定	[カメラの機能チェック]を実行後、ネットワークビデオエンコーダー、および撮像モードが4ストリームの全方位ネットワークカメラと認識した場合のみ、[映像チャンネル設定]が表示されます。 [映像チャンネル設定]では使用する映像チャンネルを選択します。

お知らせ

- カメラ名は、デフォルトで[新しいカメラ]のあとに自動で番号を付けて設定します。
  他の設定項目には、デフォルト値を設定します。

[検索]で設定する

I. [検索]（カメラ）をクリックする

- 同じネットワーク上にあるカメラを検索して一覧を表示します。

IPv4／IPv6	表示するIPアドレスを切り替えます。
表示更新	最新の接続状態を表示します。

お知らせ

- 電源を入れて20分以上経過しているDG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラは検索できません。
  検索するには、再度、カメラの電源を入れなおしてください。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラの場合、検索結果の一覧にカメラ名が表示されない機種があります。また機種名には先頭の英字（DG-/WV-）を除いた品番が表示されます。(→ 160 ページ)
- IPv6アドレス表示のときは、IPv6アドレスで接続できないカメラは一覧に表示されません。
- Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012ではカメラ検索機能は使用できません。

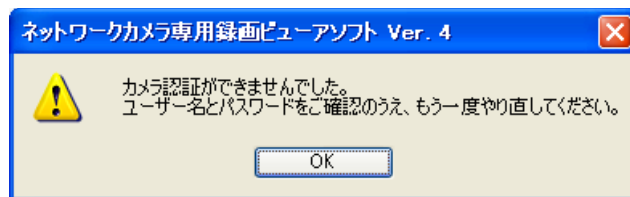
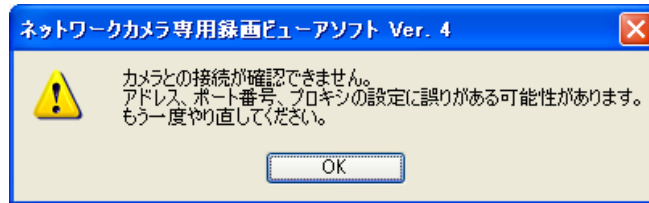
II. 登録するカメラを選択して[OK]をクリックする

- カメラの情報が[カメラ設定]画面に表示されます。
- 登録したカメラにセキュリティ設定(カメラ認証を設定)をしている場合は、カメラ管理者のユーザー名、パスワードを入力してください。

3 [カメラの機能チェック]の[実行]をクリックする

- 機能チェックが完了すると[(チェック済)]と表示され、そのカメラが対応している機能が表示されます。（音声、解像度情報、アラーム検知、ズーム、パン・チルト、音検知、ショック検知、プリセットシーケンス、カラーナイトビュー（暗部補正）など）
- 設定したカメラに接続して解像度、データ形式を確認します。
  設定できない値を設定している場合は、自動で変更します。変更した項目のアイコンにはマークがつきます。(→ 63 ページ)
- SSLで接続しているカメラを登録するときの機能チェックのみ、数分かかる場合があります。

- カメラに接続できない場合はエラー画面を表示します。
  カメラの電源や設定したIPアドレス、ポート番号、ユーザー名、パスワードを確認してください。

接続エラー画面

4 自動で接続確認を行う場合は、[10分毎に自動実行]にチェックマークを入れる

- 定期的（10分毎）にカメラとの接続確認を行います。
- 接続確認の結果はログで確認できます。(→ 154 ページ)

5 [OK]または[適用(A)]をクリックする

- [OK]ボタンをクリックすると設定画面を閉じます。つづけて別のカメラを登録する場合は、[適用(A)]ボタンをクリックしてください。
- 登録したカメラの画像をマルチモニタリング画面に表示します。また、登録したカメラの画像はカメラ設定画面の右下に表示します。（一部の機種では静止画表示になります。）

お知らせ

- [OK]ボタン、[適用(A)]ボタン、[キャンセル]ボタンについては、63 ページを参照してください。
- カメラ側で設定を変更した場合（たとえば最大画像サイズ、配信フォーマットなど）は、設定情報を取得するために再度[カメラの機能チェック]の[実行]を行ってください。
- カメラの設定情報は、インポート、エクスポートできます。(→ 144 ページ)
- 設定画面を表示中は、モニタリングを停止します。
- プロキシサーバーによってはエラーメッセージが表示されない場合があります。この場合、登録したカメラの画像は接続中を示す表示になります。(→ 72 ページ)
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラを登録して[カメラの機能チェック]を実行すると、カメラ本体側の設定値が一部変更されます。詳細は162 ページを参照してください。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラでは、本プログラムで登録した画像設定値がカメラに実行されます。
  同一カメラを複数の本プログラムに登録する場合は、画像設定の設定値を同じにして登録してください。画像設定値が異なる状態で登録すると、複数のプログラムからの設定変更がカメラに実行されるため、モニタリングおよび録画が正常動作できなくなります。
- 本プログラムでは、64台のカメラを登録できますが、同時に録画できる台数は解像度、フレームレート、パソコンの仕様などにより異なります。詳細は→165 ページを参照してください。

2.2 カメラを設定する

登録したカメラごとに設定を行います。

1 マルチモニタリング画面で設定するカメラを選択する

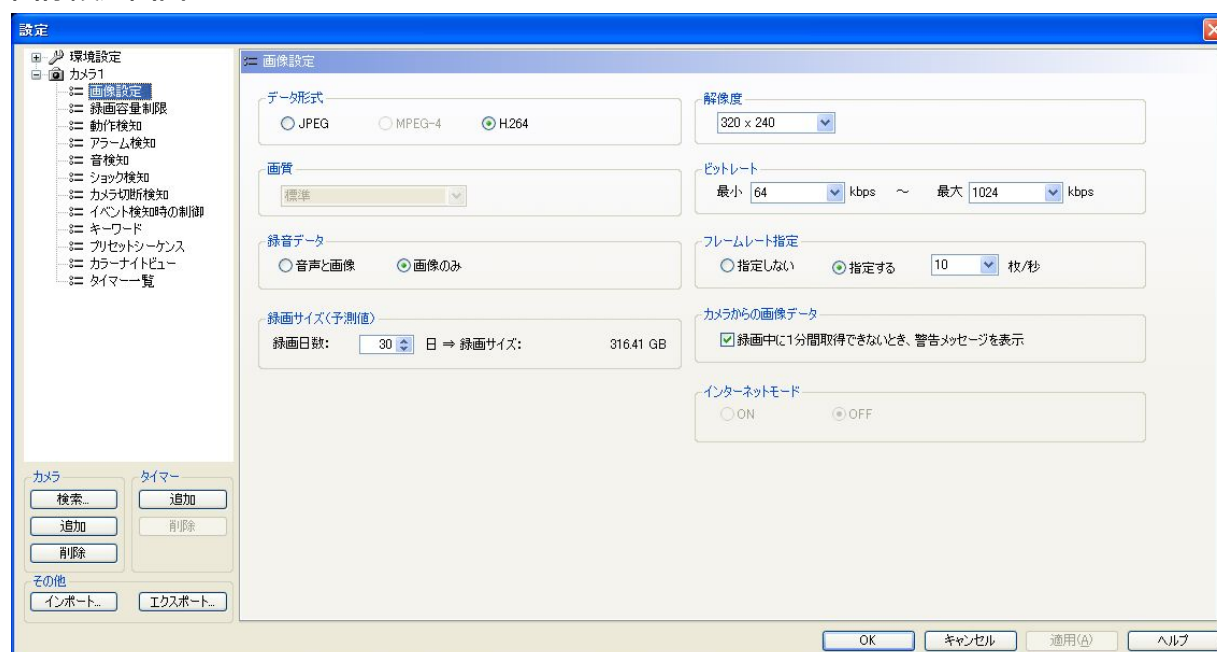
2 をクリックする

3 各設定を行い[OK] または [適用(A)]をクリックする

- [OK]ボタンをクリックすると設定画面を閉じます。
  つづけて別の項目を設定する場合は、[適用(A)]ボタンをクリックしてください。
- カメラの機種により表示される設定項目は異なります。

画像データ情報を設定する

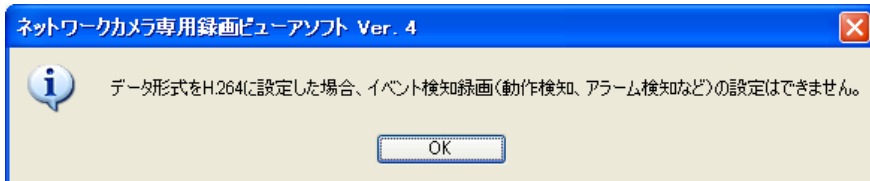
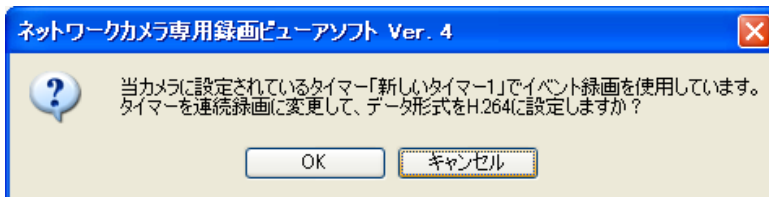
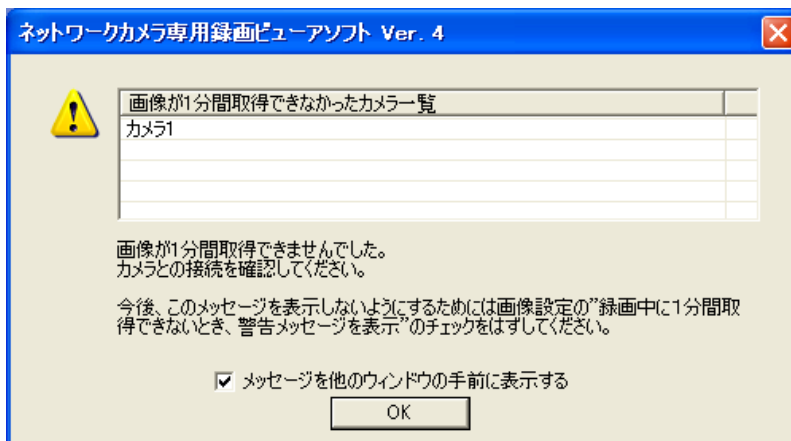
カメラの画像データ情報を設定します。

画像設定画面

設定項目	設定内容
データ形式	接続するカメラのデータ形式を選択します。[JPEG (工場出荷値)、MPEG-4、H.264] (未対応のデータ形式は、無効表示になります。)
画質	JPEG形式で接続するカメラ画像の画質を選択します。[画質優先、標準(工場出荷値)、動き優先] (データ形式でMPEG-4、H.264を設定すると無効表示になります。)
録音データ	録画時に音声付き画像（音声と画像）を録画するか、画像のみ(工場出荷値)を録画するかを選択します。
解像度	カメラ画像の解像度を選択します。接続するカメラ、データ形式により選択できる解像度は異なります。工場出荷値は320 × 240です。

設定項目	設定内容
ビットレート	カメラ画像のビットレートを選択します。
フレームレート指定	フレームレートを設定できます。 設定したフレームレートを最大としてマルチモニタリング画面の画像を更新／録画します。 JPEGの場合：[指定しない]、[指定する] (0.1, 0.2, 0.3, 0.5, 1～30枚／秒) MPEG-4／H.264の場合：[指定しない]、[指定する] (1, 5,10, 15, 30枚／秒) 工場出荷値は10枚／秒です。
録画サイズ (予測値)	上記の設定で指定日数分録画を行った場合の録画サイズを予測して表示します。[1日～60日、30日 (工場出荷値)] • [フレームレート指定]を[指定しない]に設定している場合は、30枚／秒で計算して予測値を表示します。
カメラからの画像データ	チェックマークを入れると、録画中にカメラからの画像データが1分間取得できないときに警告メッセージを表示します。
インターネットモード	インターネット経由で登録しているDG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラで、そのカメラに接続するデータ形式がMPEG-4、H.264の場合に選択します。 ONに設定すると、カメラは本プログラムでの受信を確認しながらMPEG-4またはH.264データを配信しますので、ブロードバンドルーターの設定はJPEG画像受信時と同じ設定のままでMPEG-4/H.264画像を受信できます。 • 登録カメラがBBシリーズネットワークカメラ（BB-Sシリーズネットワークカメラを除く）の場合は、グレー表示になり選択できません。

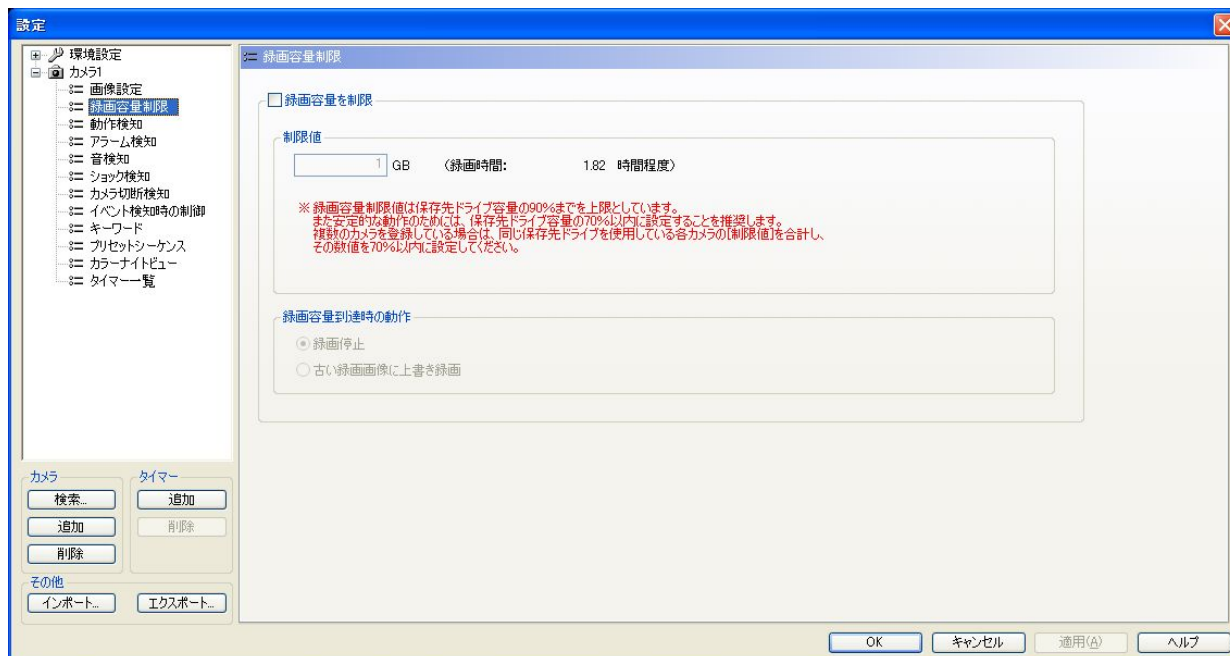
お知らせ

- データ形式をMPEG-4、H.264にした場合、CPU使用率が高くなります。CPU使用率を低くするには、[フレームレート指定]でフレームレートを低く設定してください。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラの場合、JPEG画像のフレームレートはネットワークの環境、パソコンの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。詳しくはカメラの取扱説明書を参照してください。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラの場合、接続するカメラ、データ形式、解像度により選択できるビットレートは異なります。詳しくはカメラの取扱説明書を参照してください。

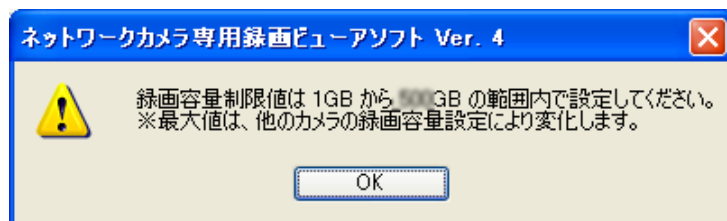
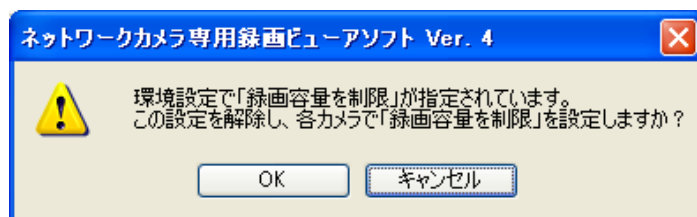
- データ形式でMPEG-4、H.264を選択すると確認メッセージを表示します。
  データ形式で[H.264]を選択した場合

タイマー設定で[イベント録画]を設定している場合は、[OK]ボタンをクリックすると、以下のメッセージを表示します。
[OK]ボタンをクリックするとタイマー設定の[イベント録画]を[連続録画]に変更します。

- カメラに接続するデータ形式がMPEG-4、H.264の場合、せまい通信帯域（インターネットなど）でも動きの良い映像を見ることできます。JPEGの場合は、せまい通信帯域（インターネットなど）では、フレームレートが低下しますが、高画質の画像が得られます。
- ご使用の環境によっては、指定したフレームレートで録画できないことがあります。
  また、データ形式がH.264の場合、フレームレートを下げても録画画像ファイルサイズが小さくならない場合があります。録画画像ファイルサイズを小さくしたい場合は、カメラのポータルサイトよりカメラ側のビットレートを調節してください。
- [録画中に1分間取得できないとき、警告メッセージを表示]にチェックマークを入れると、録画中にカメラからの画像データを1分間取得できないときに、以下のメッセージを表示します。メッセージが表示される場合は、カメラとの接続を確認してください。

- インターネット経由でDG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラの MPEG-4/H.264画像を配信する場合に、[インターネットモード]をONに設定しても配信画像が表示されないことがあります。その場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
  その他の制限事項はカメラの取扱説明書を参照してください。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラの画像設定は一部仕様が異なります。詳細は158 ページを参照してください。

録画容量を制限する

カメラごとに録画画像の容量を制限します。

録画容量制限画面

設定項目	設定内容
録画容量を制限	カメラごとに録画画像の容量を制限する場合は[録画容量を制限]にチェックマークを入れて、[制限値]を設定します。 [録画時間]：録画できる録画時間を予測して表示します。
録画容量到達時の動作	制限値に達した場合の動作を設定します。([録画停止] (工場出荷値)、[古い録画画像に上書き録画])

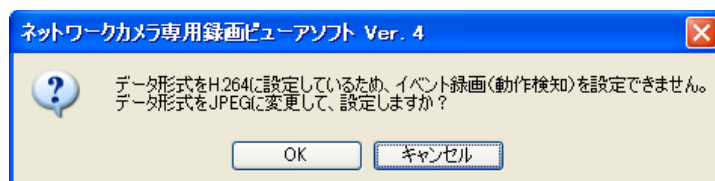
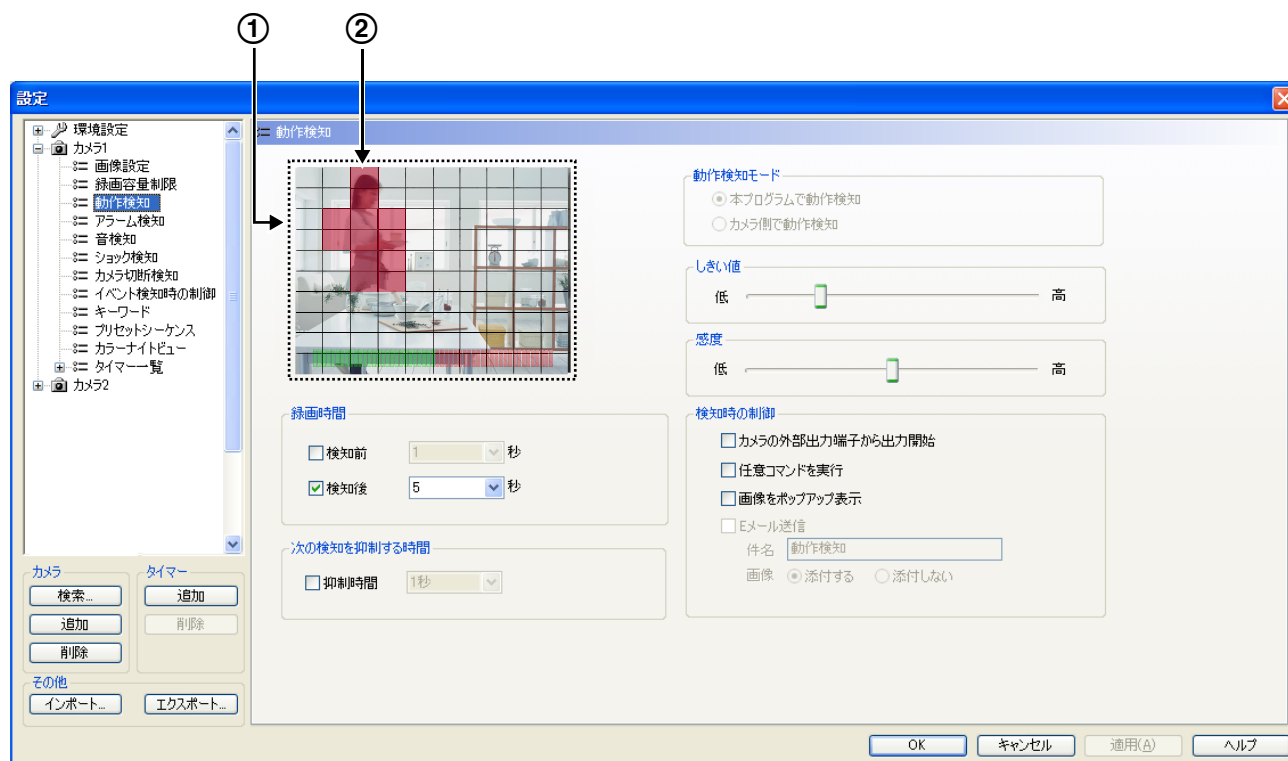
お知らせ

- 各カメラで録画容量の制限値の上限は500 GBです。
  [制限値]は1 GBから500 GBの範囲で設定してください。
  複数のカメラを登録している場合は、各カメラの[制限値]の合計は保存先のドライブ容量の90%までを上限としています。また安定的な動作のためには、保存先ドライブ容量の70%以内に設定することを推奨します。
  例えば保存先のドライブの容量が1 TBの場合、各カメラの[制限値]の合計は900 GBまでになります。
  カメラ1で制限値を500 GBに設定している場合、カメラ2の制限値の上限は400 GBです。
  各カメラで制限値の上限を超える値を設定するとエラー画面が表示されます。
  エラー画面には設定可能な制限値が表示されますので、表示される範囲内で設定し直してください。

- [古い録画画像に上書き録画]を選択して、録画容量制限値を変更した場合、設定した値がすでに録画している容量より小さい場合は、古い録画画像から差分を削除します。
(例：すでに録画画像が250 GBある状態で、録画容量制限値を200 GBに変更すると50 GBの録画画像を古い録画画像から削除します。)
- 環境設定で録画容量を制限することもできます。(→ 14 ページ)
ただし環境設定とカメラ設定の[録画容量を制限]は同時に設定できません。
環境設定で[録画容量を制限]を設定している場合は、以下の画面を表示します。
[OK]ボタンをクリックすると、環境設定の[録画容量を制限]を解除します。

動作検知録画を設定する

動作検知録画を開始する検知レベル、録画時間などを設定します。

お知らせ

- 画像設定でデータ形式を[JPEG]に設定しているカメラのみ設定できます。(→ 29 ページ)
[MPEG-4]、[H.264]に設定している場合は、エラー画面が表示されます。
[OK]をクリックするとデータ形式を[JPEG]に変更します。

データ形式を[H.264]に設定している場合

動作検知画面

①	**動作検知用モニタリング画面** 動作検知の様子をモニタリングできます。
②	動作検知した矩形は赤で表示します。

設定項目	設定内容
動作検知モード	DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラは、動作検知を選択できます。(→159 ページ) BBシリーズネットワークカメラ（BB-Sシリーズネットワークカメラを除く）では、グレー表示になります。
しきい値	画像を100個の矩形にわけて、動きを検知した矩形の数が設定した値（しきい値）を超えると、録画を開始します。 しきい値が低いほど、小さな動きに反応します。
感度	ひとつの矩形の中での動きの感度を設定します。
録画時間	動作検知前後の録画秒数を指定します。
次の検知を抑制する時間	不要な連続検知を防ぐには、[抑制時間]にチェックマークを入れて次回検知まで動作しない時間を設定します。

設定項目	設定内容
検知時の制御	動作検知時に実行するコマンドを指定します。 各コマンドの詳細は[イベント検知時の制御]画面で設定します。 (→ 44 ページ) – カメラの外部出力端子から出力開始 検知時にカメラに接続した外部機器にコマンド ([開放]/[短絡]) を実行します。 – 任意コマンドを実行 検知時に実行するコマンドを任意で選択します。 – 画像をポップアップ表示 検知時に検知した画像をポップアップ表示します。(→ 37 ページ) – Eメール送信 検知時に指定したあて先にメールを送信します。(→ 20 ページ) • 件名：通知Eメールの件名を入力します（全角22文字以内、半角44文字以内)。半角カタカナ、["] は使えません。 • 画像：[添付する]を選択すると検知時のカメラ画像（JPEG）を､Eメールの添付ファイルとして送信します。

お知らせ

- 動作検知は画像を比較して動きを検知します。比較する画像と画像の間隔は0.5秒です。
  カメラ側に搭載されている動き検出機能は使用していません。
- 各設定値は、動作検知用モニタリング画面で動作検知を確認して調整してください。
- パン／チルト、ズーム動作中は動作検知しません。
- 動作検知用モニタリング画面で右クリックすると、クリック＆センタリング動作(→ 71 ページ)をします。
- 送信するＥメールの内容はカメラ名、検知の種類、タイムスタンプです。
  タイムスタンプは[年/月/日 時:分:秒]で表示します。
  たとえば、[2010/1/1 15:20:55]の場合は、2010年1月1日15時20分55秒を表します。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラでは一部仕様が異なります。詳細は159 ページを参照してください。

無効領域を設定する

動作検知を設定しない場所 (無効領域) を設定できます。無効領域を設定するには、動作検知画面の動作検知用モニタリング画面で矩形をクリックしてください。
無効領域を設定した矩形は半透明の黒で表示します。
無効領域は複数設定できます。

無効領域を設定する矩形をクリックする

- 選択した矩形は半透明の黒で表示します。

無効領域は、複数設定できます。

- 設定する矩形をクリックしてください。

ドラッグ (マウスの左ボタンを押しながら移動) すると、マウスがとおった箇所を選択します。

ドロップ (左ボタンを離す) すると、無効領域を設定します。

無効領域を解除する

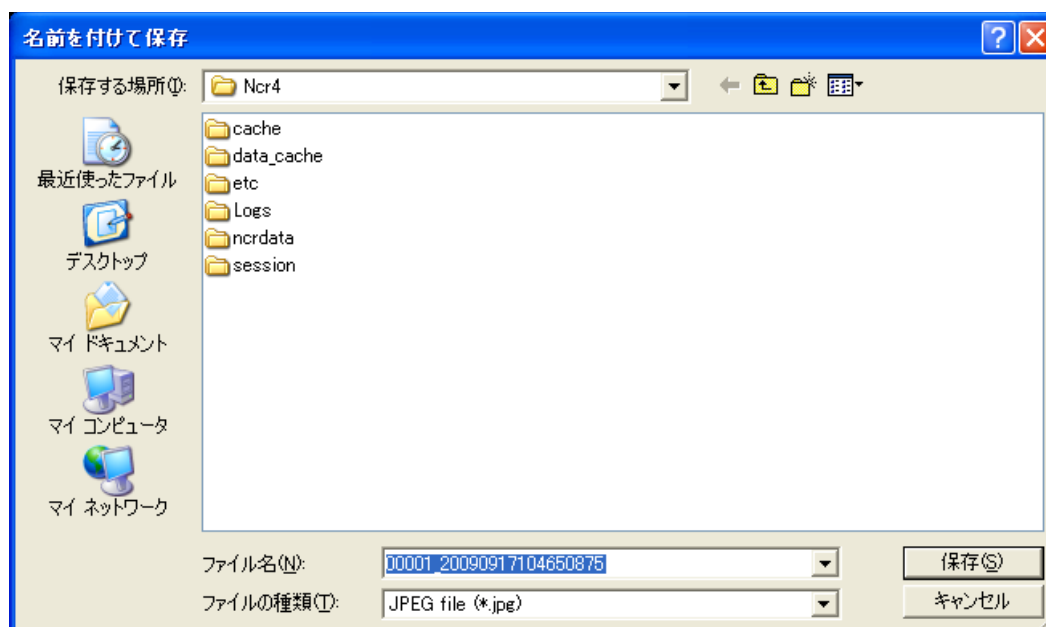
無効領域内で、矩形をクリックすると無効領域を解除します。

お知らせ

- カメラ本体側の設定で、カメラの画像に日付、時刻を表示している場合は、動作検知しないように表示部分を無効領域に設定してください。

ポップアップ表示について

[検知時の制御]で[画像をポップアップ表示]にチェックマークを入れると、動作検知時に検知した画像をポップアップ表示します。

- ポップアップ画像を保存する
  [保存]をクリックすると[名前を付けて保存]画面が表示されます。
  画像ファイルを保存する場所、ファイル名、ファイルの種類を指定して[保存]をクリックしてください。

- クリップボードにコピーする
  [クリップボードにコピー]をクリックするとポップアップ画像をクリップボード[*1]にコピーします。

*1 クリップボードとは、パソコン上で、カット (またはコピー) & ペーストを行う際にデータを一時的に保存する場所のことです。クリップボードにコピーされた画像は、Microsoft ペイントなどのプログラムにペーストして使用できます。

お知らせ

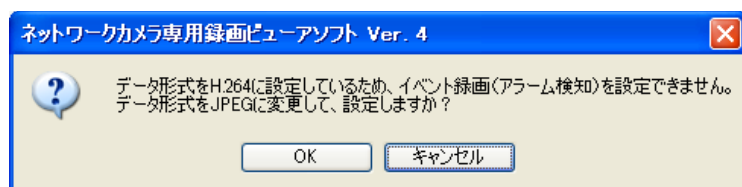
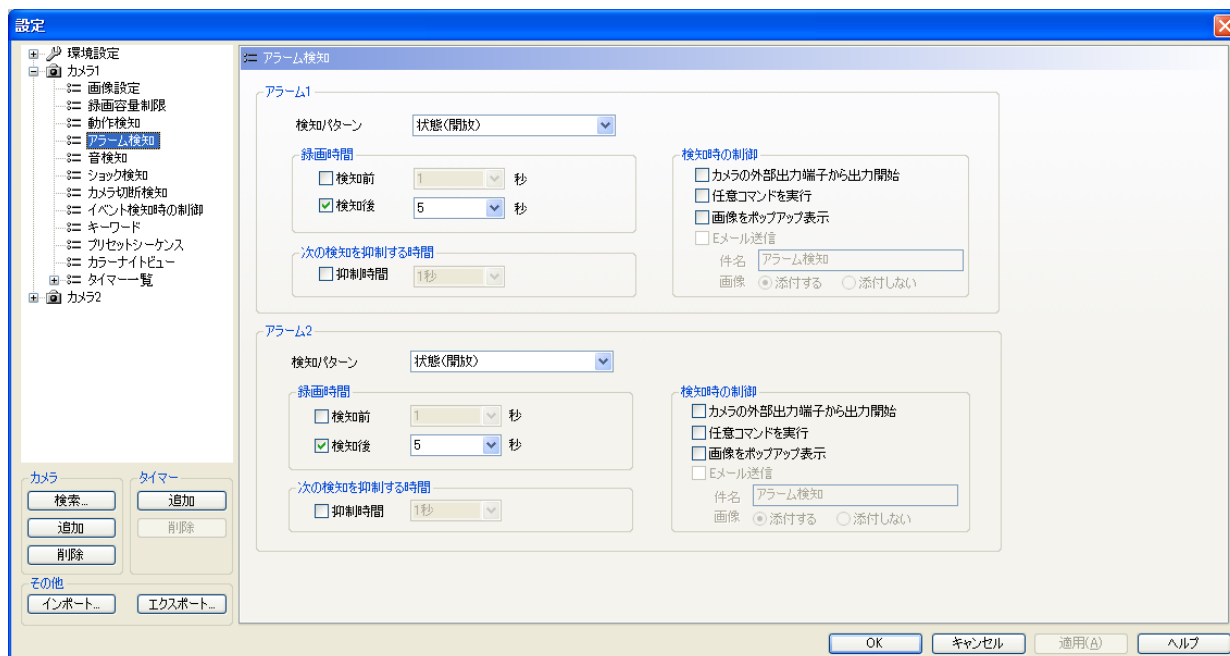
- ファイル名はデフォルトでカメラIDとタイムスタンプから生成されます。 たとえばカメラIDが[00001]、タイムスタンプが[2010年1月1日9時30分20秒500ミリ秒]の画像は[00001_20100101093020500.jpg]となります。
- スクリーンセーバー動作中も動作を検知すると画像をポップアップ表示します。
- ポップアップ画像の表示時間は指定することができます。(→ 44 ページ)

アラーム検知録画を設定する

カメラにアラームを取り付けたときの、検知パターン、録画時間などを設定します。

お知らせ

- 画像設定でデータ形式を[JPEG]に設定しているカメラのみ設定できます。(→ 29 ページ)
[MPEG-4]、[H.264]に設定している場合は、エラー画面が表示されます。
[OK]をクリックするとデータ形式を[JPEG]に変更します。

データ形式を[H.264]に設定している場合

アラーム検知画面

設定項目	設定内容
検知パターン	検知する信号 ([状態(開放)]、[状態(短絡)]、[立上り(開放)]、[立下り(短絡)]、[立上り(開放)、立下り(短絡)]) を指定します。検知する信号は、使用するアラームの仕様に合わせて指定してください。

設定項目	設定内容
録画時間	アラーム検知前後の録画する時間を指定します。
次の検知を抑制する時間	不要な連続検知を防ぐには、[抑制時間]にチェックマークを入れて次回検知まで動作しない時間を設定します。
検知時の制御	アラーム検知時に実行するコマンドを指定します。 各コマンドの詳細は[イベント検知時の制御]画面で設定します。 (→ 44 ページ) – カメラの外部出力端子から出力開始 検知時にカメラに接続した外部機器にコマンド ([開放]/[短絡]) を実行します。 – 任意コマンドを実行 検知時に実行するコマンドを任意で選択します。 – 画像をポップアップ表示 検知時に検知した画像をポップアップ表示します。(→ 37 ページ) – Eメール送信 検知時に指定したあて先にメールを送信します。(→ 20 ページ) • 件名：通知Eメールの件名を入力します（全角22文字以内、半角44文字以内)。半角カタカナ、["] は使えません。 • 画像：[添付する]を選択すると検知時のカメラ画像（JPEG）を､Eメールの添付ファイルとして送信します。

お知らせ

- 送信するＥメールの内容はカメラ名、検知の種類、タイムスタンプです。
  タイムスタンプは[年/月/日 時:分:秒]で表示します。
  たとえば、[2010/1/1 15:20:55]の場合は、2010年1月1日15時20分55秒を表します。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラのアラーム設定は一部仕様が異なります。詳細は160 ページを参照してください。

お願い

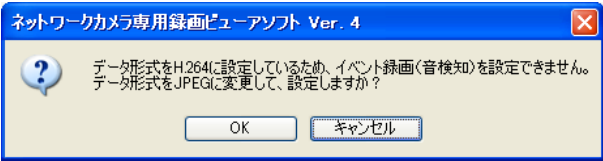
- アラーム検知はカメラにアラームを取り付けた後に設定してください。アラームを取り付けずに設定した場合は、誤動作の原因となります。

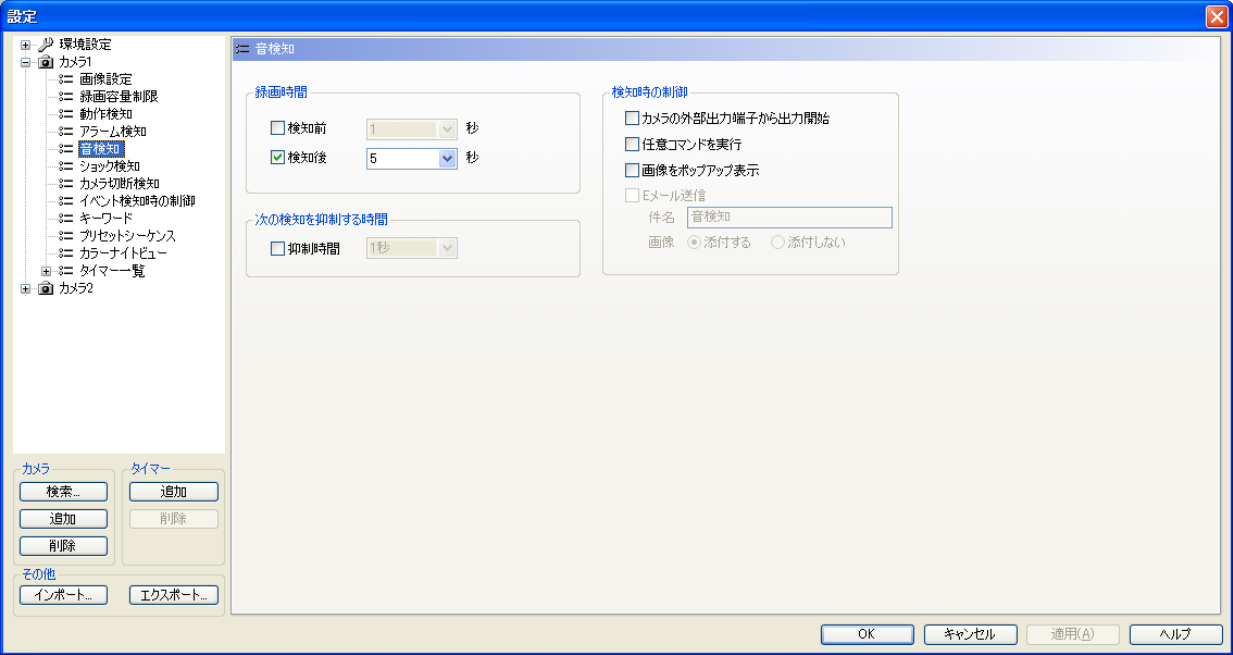
音検知録画を設定する（音検知機能対応のカメラのみ）

音検知録画では、カメラが音を検知すると録画を開始します。
本プログラムでは音検知録画の録画時間などを設定します。

お知らせ

- 画像設定でデータ形式を[JPEG]に設定しているカメラのみ設定できます。(→ 29 ページ)
  [MPEG-4]、[H.264]に設定している場合は、エラー画面が表示されます。
  [OK]をクリックするとデータ形式を[JPEG]に変更します。

データ形式を[H.264]に設定している場合

- 音検知の感度は、カメラ本体側の設定画面で設定してください。

音検知画面

設定項目	設定内容
録画時間	音検知前後の録画する時間を指定します。
次の検知を抑制する時間	不要な連続検知を防ぐには、[抑制時間]にチェックマークを入れて次回検知まで動作しない時間を設定します。

設定項目	設定内容
検知時の制御	音検知時に実行するコマンドを指定します。 各コマンドの詳細は[イベント検知時の制御]画面で設定します。 (→ 44 ページ) – カメラの外部出力端子から出力開始 検知時にカメラに接続した外部機器にコマンド ([開放]/[短絡]) を実行します。 – 任意コマンドを実行 検知時に実行するコマンドを任意で選択します。 – 画像をポップアップ表示 検知時に検知した画像をポップアップ表示します。(→ 37 ページ) – Eメール送信 検知時に指定したあて先にメールを送信します。(→ 20 ページ) • 件名：通知Eメールの件名を入力します（全角22文字以内、半角44文字以内)。半角カタカナ、["] は使えません。 • 画像：[添付する]を選択すると検知時のカメラ画像（JPEG）を､Eメールの添付ファイルとして送信します。

お知らせ

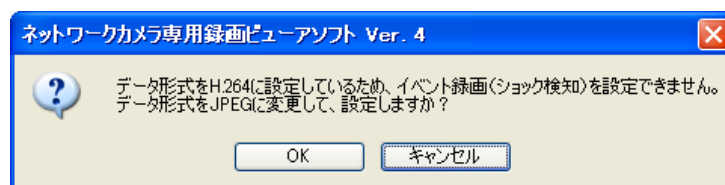
- 送信するＥメールの内容はカメラ名、検知の種類、タイムスタンプです。
  タイムスタンプは[年/月/日 時:分:秒]で表示します。
  たとえば、[2010/1/1 15:20:55]の場合は、2010年1月1日15時20分55秒を表します。

ショック検知録画を設定する(ショック検知機能対応のカメラのみ)

ショック検知録画では、カメラがショックを検知すると録画を開始します。
本プログラムではショック録画の録画時間などを設定します。

お知らせ

- 画像設定でデータ形式を[JPEG]に設定しているカメラのみ設定できます。(→ 29 ページ)
  [MPEG-4]、[H.264]に設定している場合は、エラー画面が表示されます。
  [OK]をクリックするとデータ形式を[JPEG]に変更します。

  データ形式を[H.264]に設定している場合

- ショック検知の感度は、カメラ本体側の設定画面で設定してください。

ショック検知画面

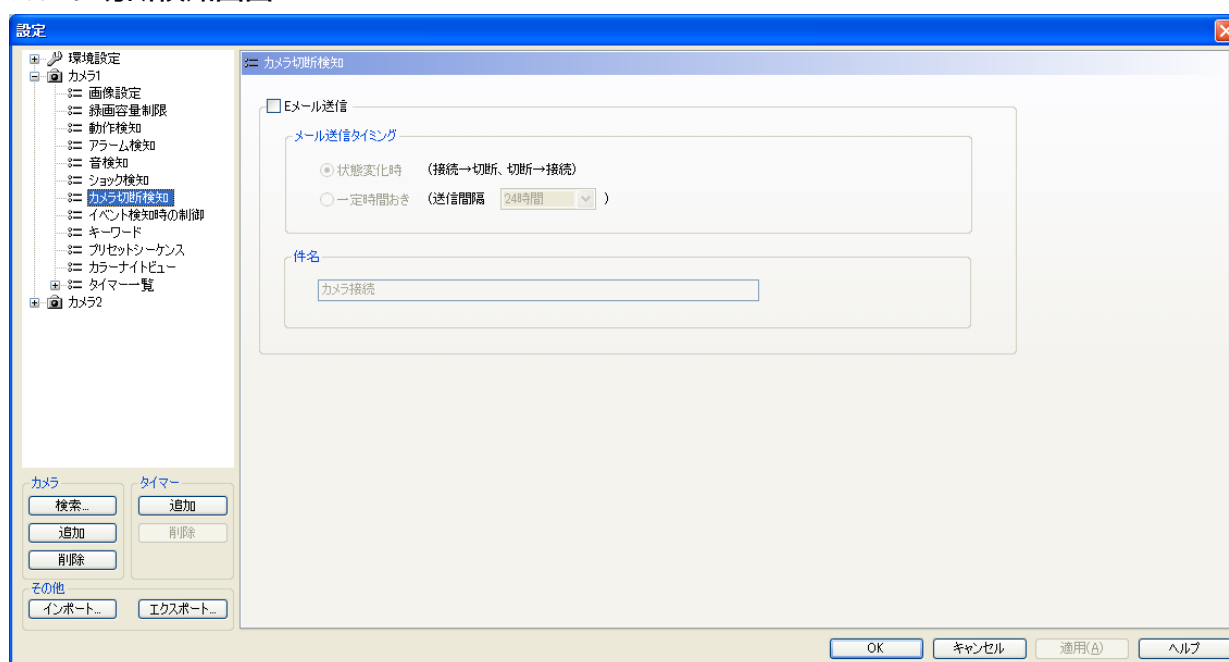
設定項目	設定内容
録画時間	ショック検知前後の録画する時間を指定します。
次の検知を抑制する時間	不要な連続検知を防ぐには、[抑制時間]にチェックマークを入れて次回検知まで動作しない時間を設定します。
検知時の制御	ショック検知時に実行するコマンドを指定します。 各コマンドの詳細は[イベント検知時の制御]画面で設定します。 (→ 44 ページ) – カメラの外部出力端子から出力開始 検知時にカメラに接続した外部機器にコマンド ([開放]/[短絡]) を実行します。 – 任意コマンドを実行 検知時に実行するコマンドを任意で選択します。 – 画像をポップアップ表示 検知時に検知した画像をポップアップ表示します。(→ 37 ページ) – Eメール送信 検知時に指定したあて先にメールを送信します。(→ 20 ページ) • 件名：通知Eメールの件名を入力します（全角22文字以内、半角44文字以内)。半角カタカナ、["] は使えません。 • 画像：[添付する]を選択すると検知時のカメラ画像（JPEG）を、Eメールの添付ファイルとして送信します。

お知らせ

- 送信するＥメールの内容はカメラ名、検知の種類、タイムスタンプです。
  タイムスタンプは[年/月/日 時:分:秒]で表示します。
  たとえば、[2010/1/1 15:20:55]の場合は、2010年1月1日15時20分55秒を表します。

カメラ切断検知を設定する

ネットワークの異常などによりカメラとパソコンの通信が切断された場合などカメラ接続の状態が変化したとき（接続→切断、切断→接続）、または一定時間おきにカメラの接続状況を指定したあて先 (→20 ページ) にお知らせします。
事前に20 ページを参照して、Eメールの設定を行ってください。

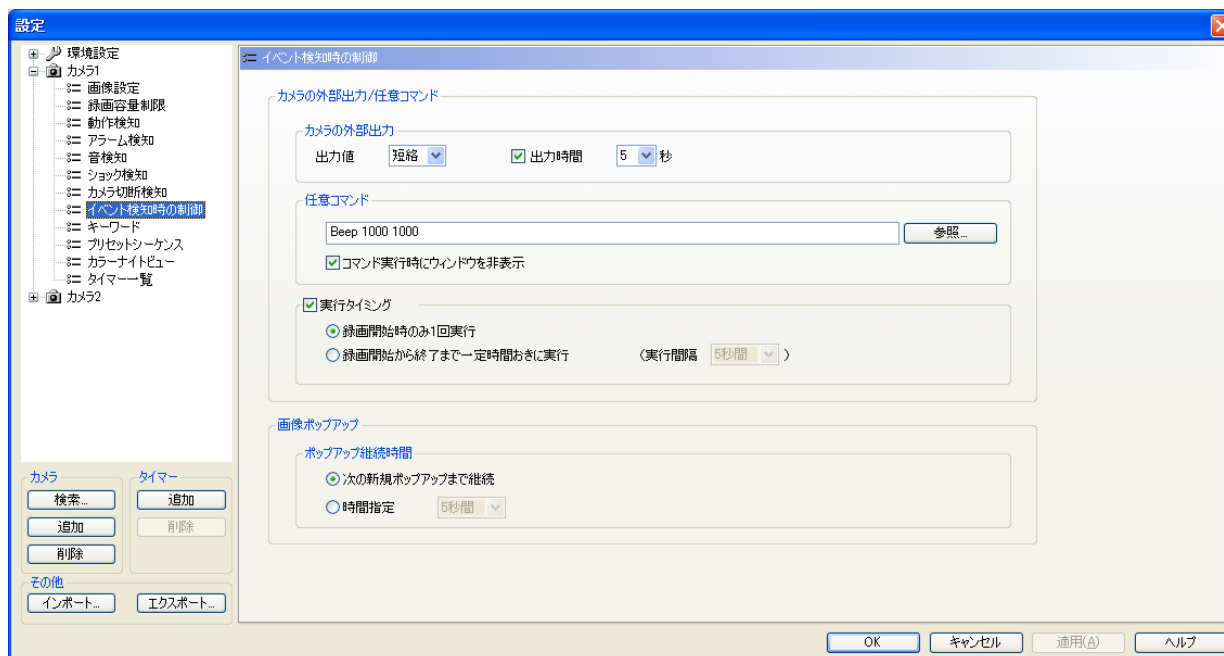
カメラ切断検知画面

設定項目	設定内容
Eメール送信	カメラ接続状況をメールで通知するには、[Eメール送信]にチェックマークを入れてください。
メール送信タイミング	• 状態変化時：カメラとパソコンの通信が切断したとき、ならびに再接続したときにメールでお知らせします。 • 一定時間おき：指定した時間おきにカメラの接続状況をメールでお知らせします。またカメラ接続状態変化時にもメールでお知らせします。状態変化が発生した場合は、そこから送信間隔をカウントしなおします。
件名	通知Eメールの件名を入力します（全角22文字以内、半角44文字以内）。半角カタカナ、["] は使えません。

お知らせ

- 送信するＥメールの内容はカメラ名、接続状態（カメラ接続／カメラ切断）、タイムスタンプです。
  タイムスタンプは[年/月/日 時:分:秒]で表示します。
  たとえば、[2010/1/1 15:20:55]の場合は、2010年1月1日15時20分55秒を表します。
- 10分毎にカメラとの接続状況を確認します。したがってカメラとの接続状況が変化してメールが送信されるまでに最大約10分のずれが発生する場合があります。

イベント検知時の制御を設定する

各種検知 (動作検知、アラーム検知、音検知、ショック検知)でのイベント検知時に実行するコマンドの詳細を設定します。

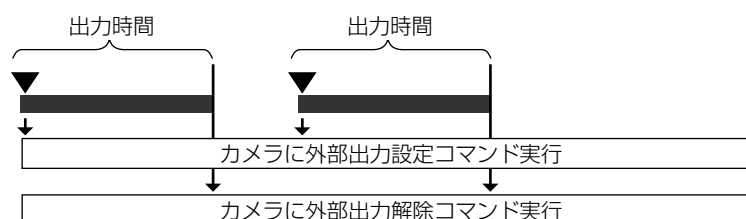
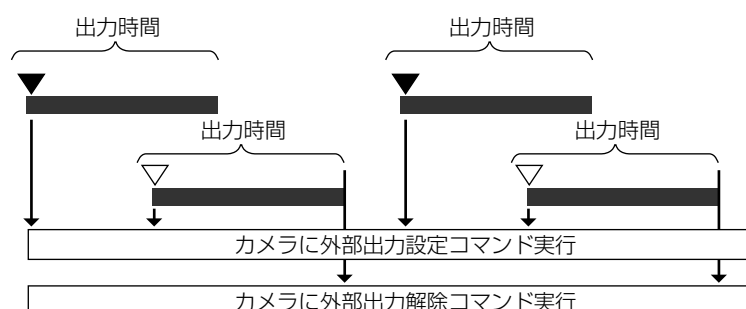
イベント検知時の制御画面

設定項目	設定内容
カメラの外部出力	検知時にカメラに接続した外部機器が実行するコマンドを設定します。 ([短絡] (工場出荷値)、[開放]) [出力時間]にチェックマークを入れて時間を設定すると、設定時間後に[出力値]に設定したコマンドと逆の設定（外部出力解除）を行います。 (→ 45 ページ)
任意コマンド	検知時に実行するコマンドを任意で選択します。工場出荷値は、Beep 1000 1000[*1]です。 パス名、ファイル名に空白を含む場合は、" "でくくって入力してください。引数は" "の外側です。 例) "C:￥Program Files￥Beep.exe" 1000 1000
実行タイミング	チェックマークを入れるとコマンド実行のタイミングを設定できます。 ([録画開始時のみ1回実行] (工場出荷値)、[録画開始から終了まで一定時間おきに実行]) (→ 46 ページ)

設定項目	設定内容
ポップアップ継続時間	検知時に表示するポップアップ画像 (→ 37 ページ)の更新間隔を設定します。 • 次の新規ポップアップまで継続 (工場出荷値) 次の検知まで検知画像をポップアップ表示します。 • 時間指定 検知画像をポップアップ表示する時間を指定します。 指定時間の間はポップアップ表示の検知画像は更新されません。

[*1] Beepは、本プログラムとともにインストールされるプログラムです。[Beep 1000 1000]は、パソコンのビープ音を1000 Hz 1000ミリ秒で鳴らすコマンドです。コマンドはユーザー作成のコマンドを設定することもできます。ただし、コマンドの内容により、録画動作に影響を与える場合が考えられますので、十分検証を行った上でご利用ください。コマンドのご利用による録画画像の欠落などの保証はいたしかねます。Beepは、Windows の64bit CPU対応版では動作しません。

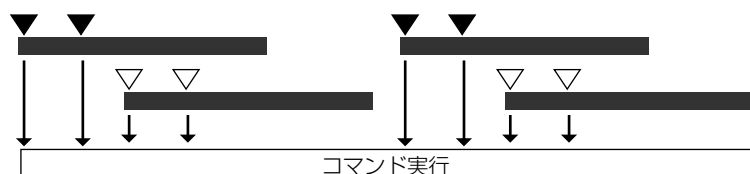
カメラの外部出力の出力時間を設定した場合

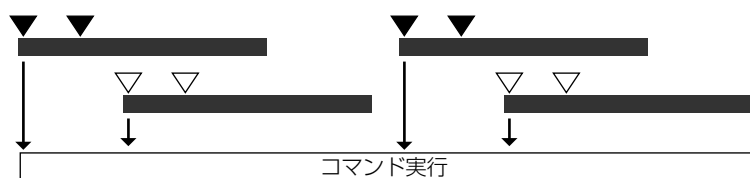
▼: 動作検知　▽: アラーム検知　■: 録画画像

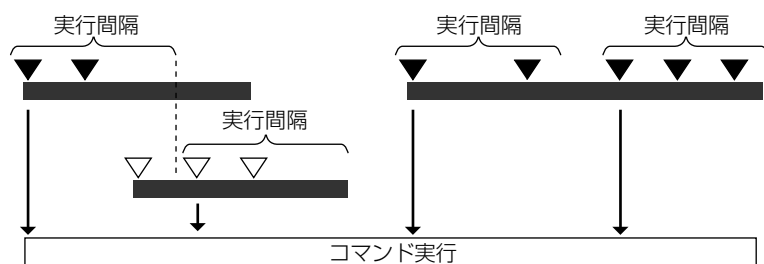
- 設定した時間に外部出力を解除します。

- 出力時間内に検知した場合は、検知をした時から出力時間分、解除を延長します。

コマンドの実行タイミングついて

[実行タイミング]を設定しない場合

▼: 動作検知　▽: アラーム検知　▬: 録画画像

- 検知ごとにコマンドを実行します。

[録画開始時のみ1回実行]を設定した場合

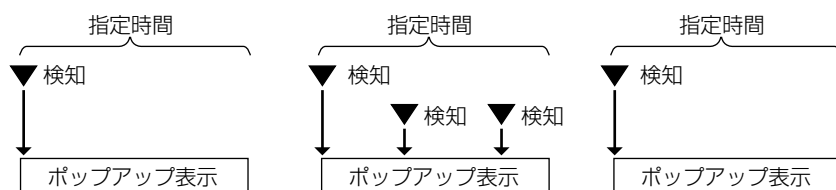
- 検知録画を開始するときのみコマンドを実行します。

[録画開始から終了まで一定時間おきに実行]を設定した場合

- コマンドの実行間隔を秒数で指定できます。検知後、実行間隔内に検知をしてもコマンドを実行しません。

ポップアップ継続時間について

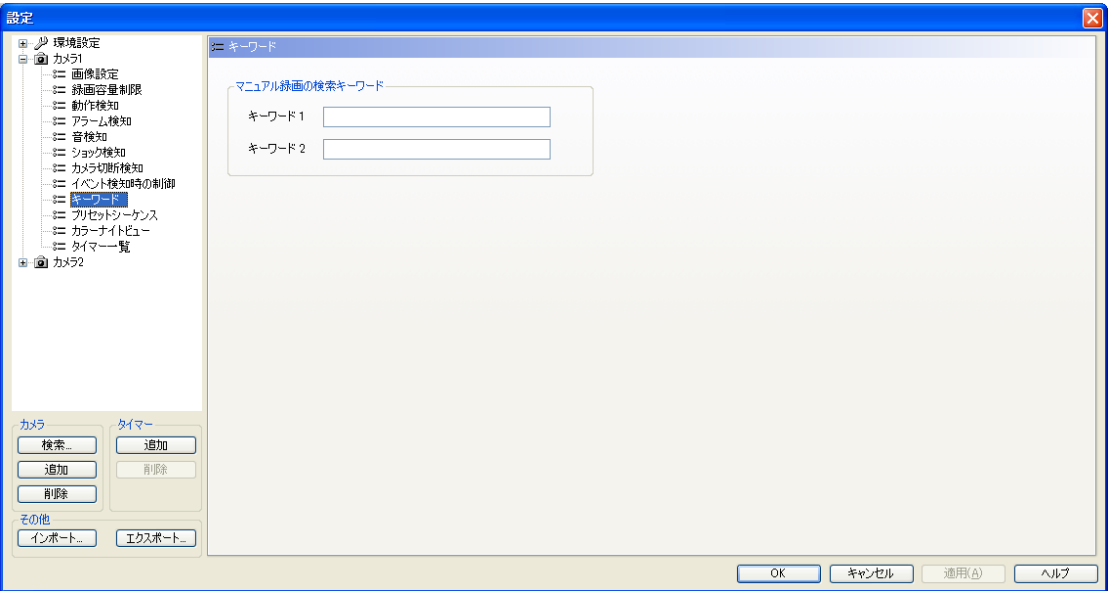
[次の新規ポップアップまで継続]を選択した場合

動作を検知するとポップアップ画像を更新します。

[時間指定]を選択した場合

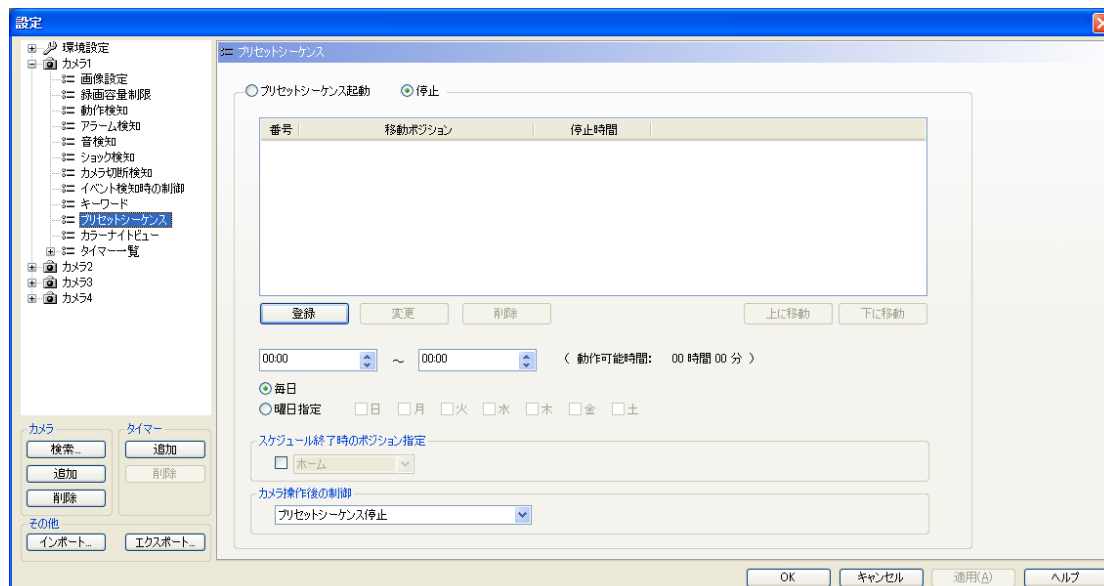
指定時間内に動作を検知してもポップアップ画像は更新されません。
指定時間が過ぎるとポップアップ画像の表示は消えます。

録画画像に検索用キーワードを設定する

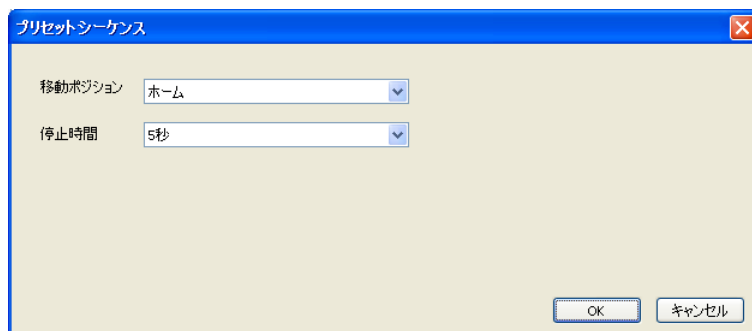
マニュアル録画で録画する画像にキーワードを設定します。
キーワードを設定すると、設定したキーワードで録画画像を検索できます。

キーワード画面

設定項目	設定内容
キーワード1／キーワード2	録画画像に検索用のキーワードを設定します。(半角40文字、全角20文字まで) キーワードは2つ設定できます。

プリセットシーケンスを設定する（プリセット機能対応のカメラのみ）

カメラのプリセットに登録されている場所を定期的に巡回して表示します。

プリセットシーケンス画面

プリセットを登録／変更／削除／移動する

- 新規で登録する場合
  [登録]をクリックして表示される画面で各項目を設定して[OK]をクリックしてください。

設定項目	設定内容
移動ポジション	移動するプリセットを指定します。
停止時間	停止時間を設定します。（次のプリセット位置に移動するまでの時間を含みます。）

- 変更する場合
  変更する[番号]を選択して[変更]をクリックしてください。
  表示される画面で[移動ポジション]、[停止時間]を変更後、[OK]をクリックしてください。
- 削除する場合
  削除する[番号]を選択して[削除]をクリックしてください。

- 表示順序を変更する場合
  表示は番号順に移動します。変更する場合は、[番号]を選択して[上に移動]／[下に移動]で変更してください。

プリセットのスケジュールを設定する

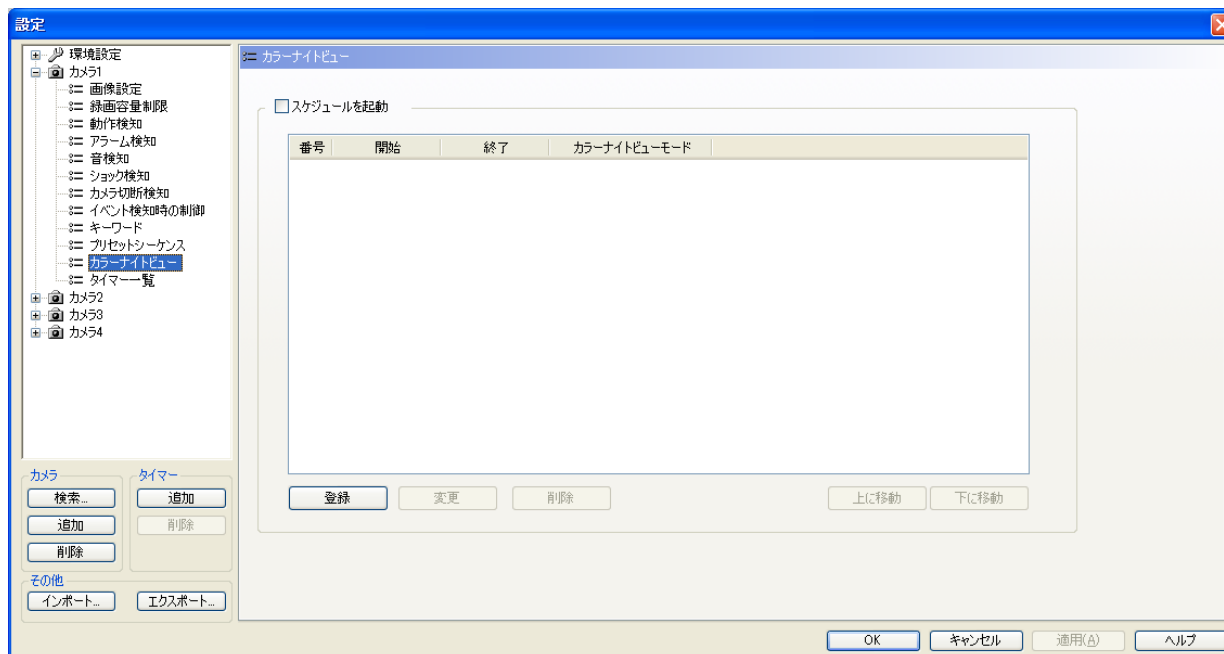
設定項目	設定内容
プリセットシーケンス起動／停止	プリセットシーケンスを実行するには[プリセットシーケンス起動]、実行しないときは[停止] (工場出荷値)を設定してください。
開始時刻／終了時刻、曜日指定	プリセットシーケンスを開始する時刻、終了する時刻、実行する曜日を指定します。
スケジュール終了時のポジション指定	スケジュール終了時に表示するプリセット位置を指定するには、チェックマークを入れてプリセットを指定してください。
カメラ操作後の制御	プリセットシーケンス動作中にマルチモニタリング画面でカメラ操作（パン／チルト、ズーム）を行うと、プリセットシーケンスは停止します。停止した後のプリセットシーケンスの動作を設定します。[プリセットシーケンス停止] (工場出荷値)

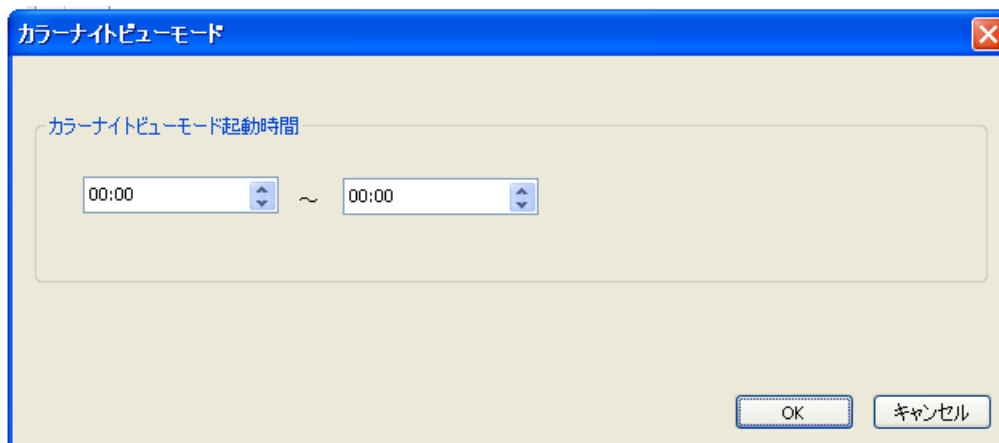
<u>お知らせ</u>

- プリセットは30個まで登録できます。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラでは、移動ポジションがプリセット番号で表示される場合があります。また、全方位ネットワークカメラで撮像モードが４画PTZの場合は、左上の画面のみプリセット移動を実行します。
- 停止時間を短くするとカメラの駆動系の寿命に影響を与えますので、プリセットシーケンスの動作可能時間は停止時間の設定に応じて制限しています。（例：BB-HCM735の場合、静止時間5秒で40分、1分で8時間、3分で24時間）
  DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラではプリセットシーケンスの動作可能時間の制限がない機種があります。
- タイマー設定でポジション指定をしている時間と重複するときは、設定できません。（→ 82 ページ）
- プリセットシーケンスは でも開始できます。（→ 73 ページ）
- カメラがプリセット位置に移動している間は、動作検知しません。
- プリセットシーケンス動作中にマルチモニタリング画面でカメラ操作（パン／チルト、ズーム）を行うと、プリセットシーケンスは停止します。
- 本プログラムのプリセットシーケンス動作中は、カメラ本体側のプリセット機能を使用しないでください。

カラーナイトビューを設定する(カラーナイトビュー機能対応のカメラのみ)

カラーナイトビューの開始時刻と終了時刻をスケジュールに登録できます。

カラーナイトビュー画面

カラーナイトビューを登録／変更／削除／移動する

- 新規で登録する場合
  [登録]をクリックして表示される画面で開始時刻と終了時刻を設定して[OK]をクリックしてください。

- 変更する場合
  変更する[番号]を選択して[変更]をクリックしてください。
  表示される画面で開始時刻と終了時刻を変更後、[OK]をクリックしてください。
- 削除する場合
  削除する[番号]を選択して[削除]をクリックしてください。
- スケジュールを変更する場合
  スケジュールは開始時間順に実行します。

カラーナイトビューのスケジュールを起動する

スケジュールを起動するには[スケジュールを起動]にチェックマークを入れてください。

お知らせ

- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラでは、「カラーナイトビュー」のことを「暗部補正」と呼んでいます。カメラ本体側で暗部補正が使用できないように設定されている場合、本プログラムにてその設定画面が表示されず、使用することはできません。詳しくはカメラの取扱説明書を参照してください。

2.3 画面について

2.3.1 各種画面について

フルスクリーンモード

マルチモニタリング画面／マルチ再生画面で をクリックすると画面は**フルスクリーンモード** (ディスプレイ全体に画面を表示) に切り替わります。
本プログラムはワイド画面表示にも対応しています。

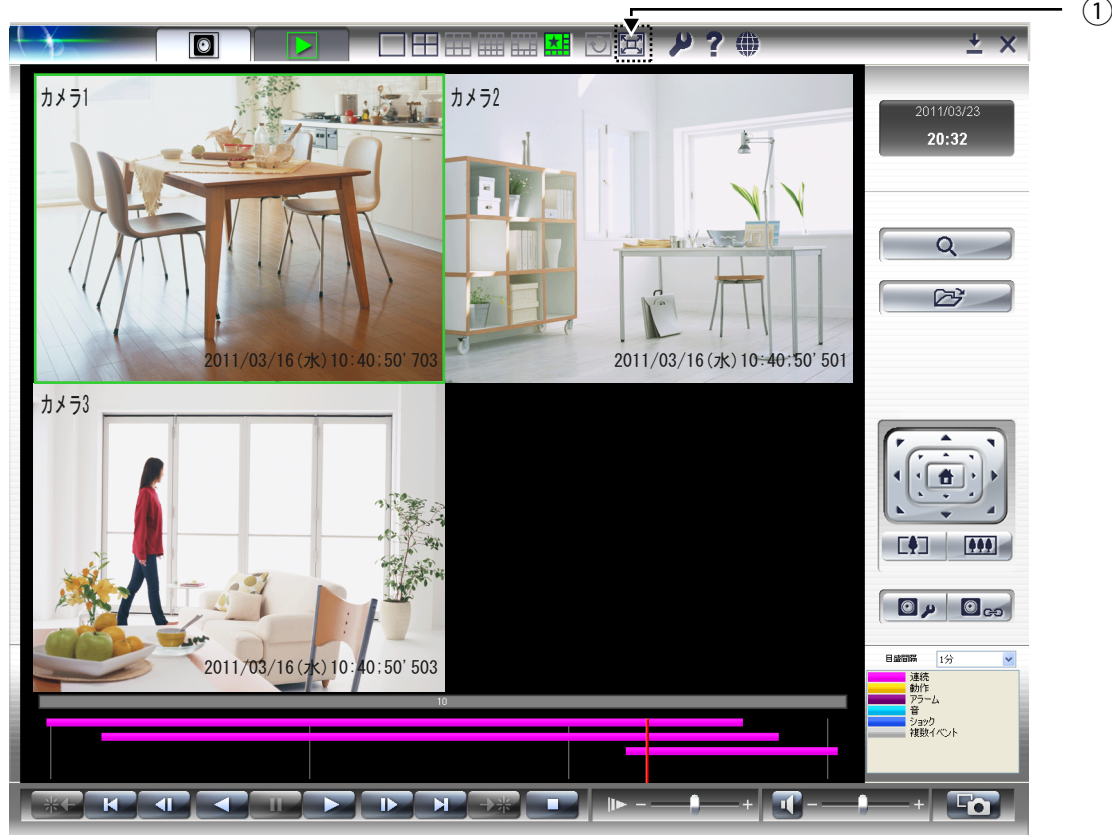
マルチモニタリング画面

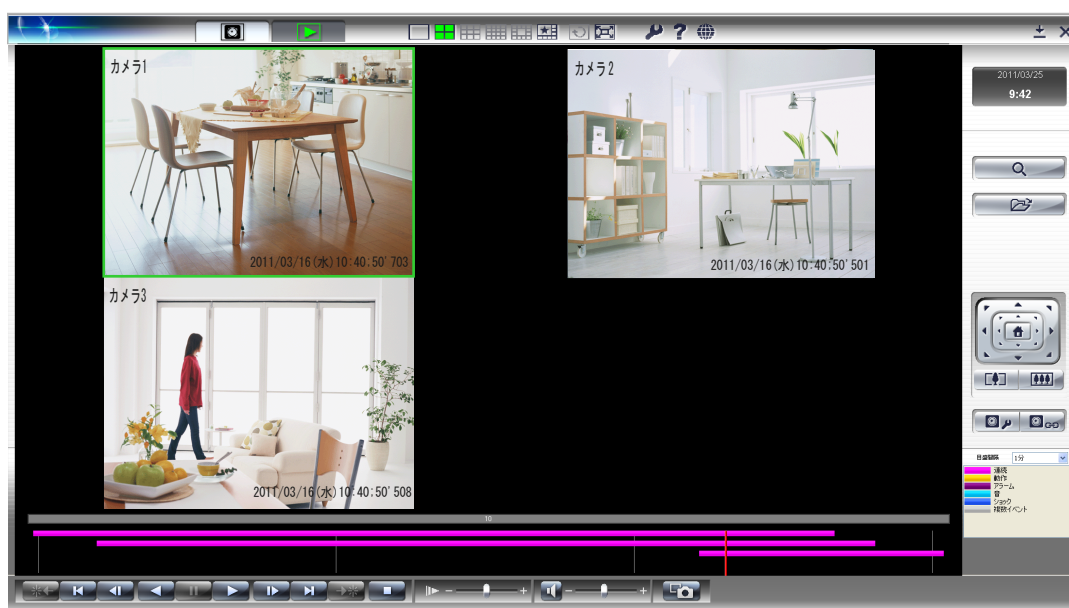
①	フルスクリーンモードに切り替えます。

ワイド画面でマルチモニタリング画面を表示した場合

お知らせ

- 上記の画面はワイド画面で表示したマルチモニタリング画面の一例です。ワイド画面の比率によっては、ボタン表示が画面に収まりきらない場合があります。その場合はスクロールバーが表示されます。

マルチ再生画面

①	フルスクリーンモードに切り替えます。

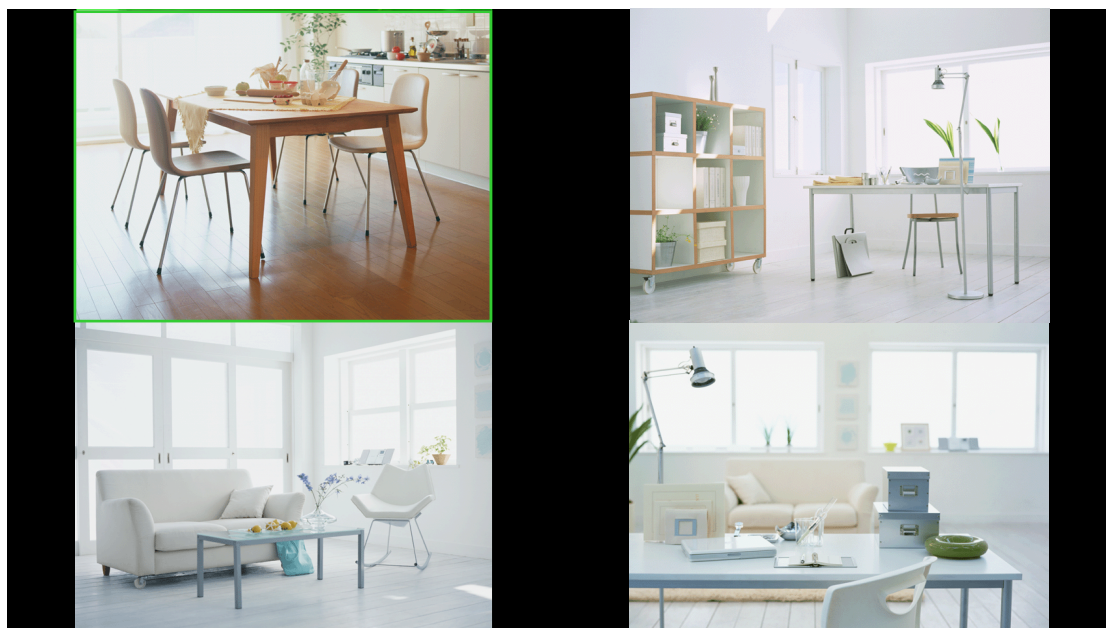
ワイド画面でマルチ再生画面を表示した場合

お知らせ

- 上記の画面はワイド画面で表示したマルチ再生画面の一例です。ワイド画面の比率によっては、ボタン表示が画面に収まりきらない場合があります。その場合はスクロールバーが表示されます。

フルスクリーンモードの画面（マルチモニタリング画面／マルチ再生画面）

お知らせ

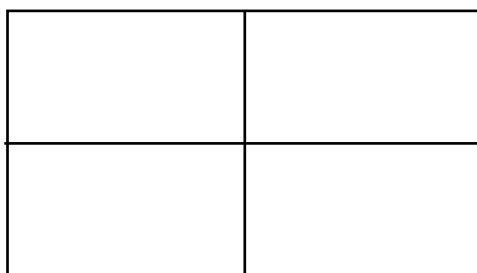
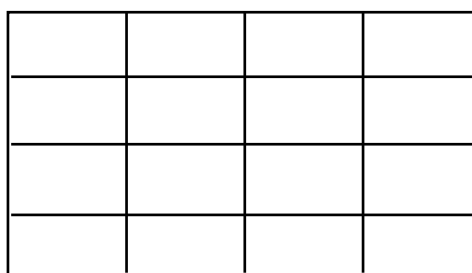
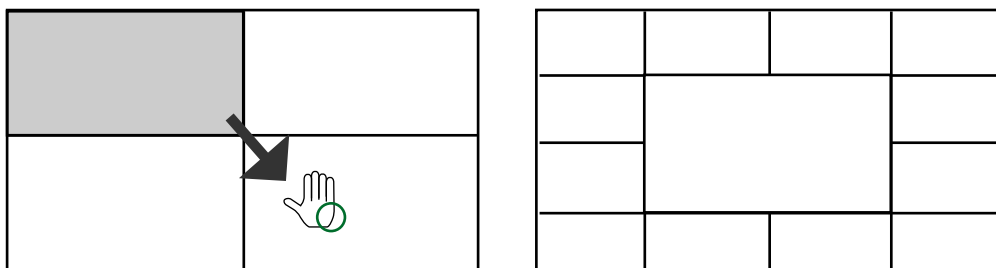
- 通常の画面表示に戻るにはパソコンのEscキーを押してください。

ワイド画面でフルスクリーンモードの画面（マルチモニタリング画面／マルチ再生画面）を表示した場合

マルチモニタリング画面

マルチモニタリング画面では登録しているカメラの画像を表示します。(→ 69 ページ)

1 をクリックする

- 表示するカメラの画面数は変更できます。(→ 104 ページ)
  工場出荷の状態では4画面 (2行×2列) 表示に設定しています。

4画面表示

16画面表示

- マルチモニタリング画面上で、カメラ画像の表示順序の入れ替えができます。
  (→ 108 ページ)
- カメラ画像の表示枠は、一部拡大して表示できます。 (→ 106 ページ)

お知らせ

- マルチモニタリング画面上で、カメラの画像をダブルクリックすると、シングルモニタリング画面に切り替わります。シングルモニタリング画面上でダブルクリックすると、マルチモニタリング画面に戻ります。
- キーボードの[Ctrl]キーを押しながら[Tab]キーを押すと、[マルチモニタリング]→[マルチ再生]の順番で表示画面を移動します。

シングルモニタリング画面

シングルモニタリング画面では、選択カメラの画像を1画面で表示します。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

- 選択カメラの画像を1画面で表示します。

お知らせ

- マルチモニタリング画面上で、カメラの画像をダブルクリックすると、シングルモニタリング画面に切り替わります。シングルモニタリング画面上でダブルクリックすると、マルチモニタリング画面に戻ります。
- カメラの画像をダブルクリックするときに、カメラのクリック&センタリング機能が働き、表示場所が移動することがあります。
- シングルモニタリング画面は自動巡回 (→ 107 ページ) できません。
  マルチモニタリング画面で自動巡回中にシングルモニタリング画面に切り替えると、自動巡回を停止しま す。
  をクリックして、環境設定で設定しているレイアウトのマルチモニタリング画面に戻ると、自動巡回を再開します。

検索画面

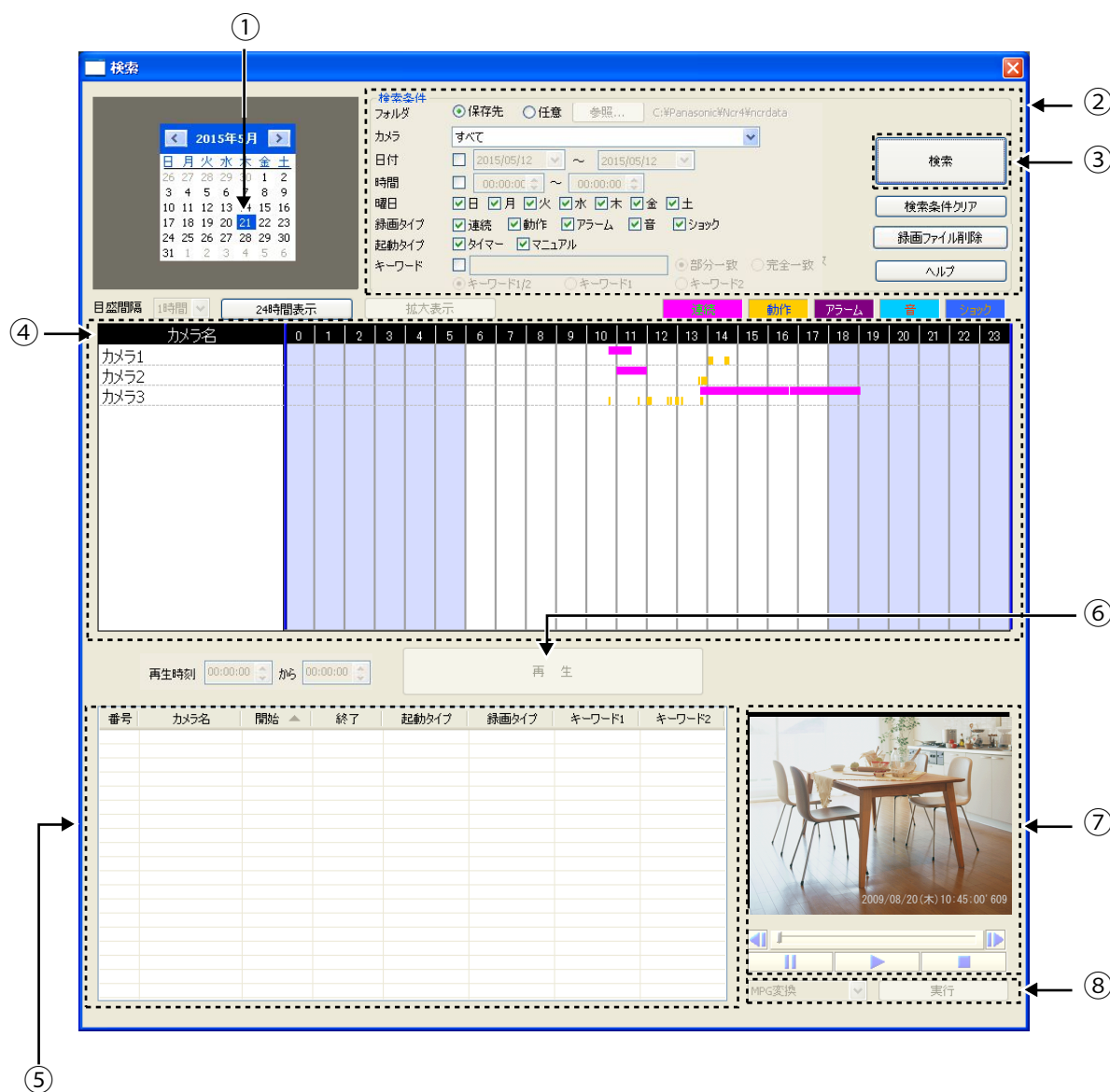
検索画面では、録画画像の一覧をグラフィックに表示します。
カメラ名、録画時間帯ならびに録画方法を一目で確認できます。
また、録画画像の検索、再生、録画画像のファイル変換などの操作を行います。

1 をクリックする

- マルチ再生画面が表示されます。(→ 60 ページ)

2 をクリックする

3 [検索]をクリックする

- 最新の録画画像がある日にちの録画画像の一覧を表示します。

①	最新の録画画像がある日にちを選択します。
②	**検索条件** 録画画像を検索する条件を設定します。 (→ 88 ページ)
③	**[検索]ボタン** 設定した条件で録画画像を検索します。

④	**グラフィック録画画像一覧** (→ 91 ページ) 検索した録画画像の一覧をグラフィックに表示します。 カメラ名順に検索結果が表示されます。キーボードの[Ctrl]キーを押しながら一覧表の左上の「カメラ名」のところをクリックすると、検索順を変えることができます。 • カメラ名（昇順）＜初期状態＞ • カメラ名（降順） • カメラID順
⑤	**再生一覧** グラフィック録画画像一覧で選択した録画画像の一覧を表示します。(→ 95 ページ)
⑥	**[再生]ボタン** 再生一覧で選択した画像をマルチ再生画面で再生します。 (→ 95 ページ)
⑦	**再生画面** 再生一覧で選択している1つの録画画像を表示／再生します。 (→ 94 ページ)
⑧	表示中の録画画像の編集ができます。 (→ 114 ページ)

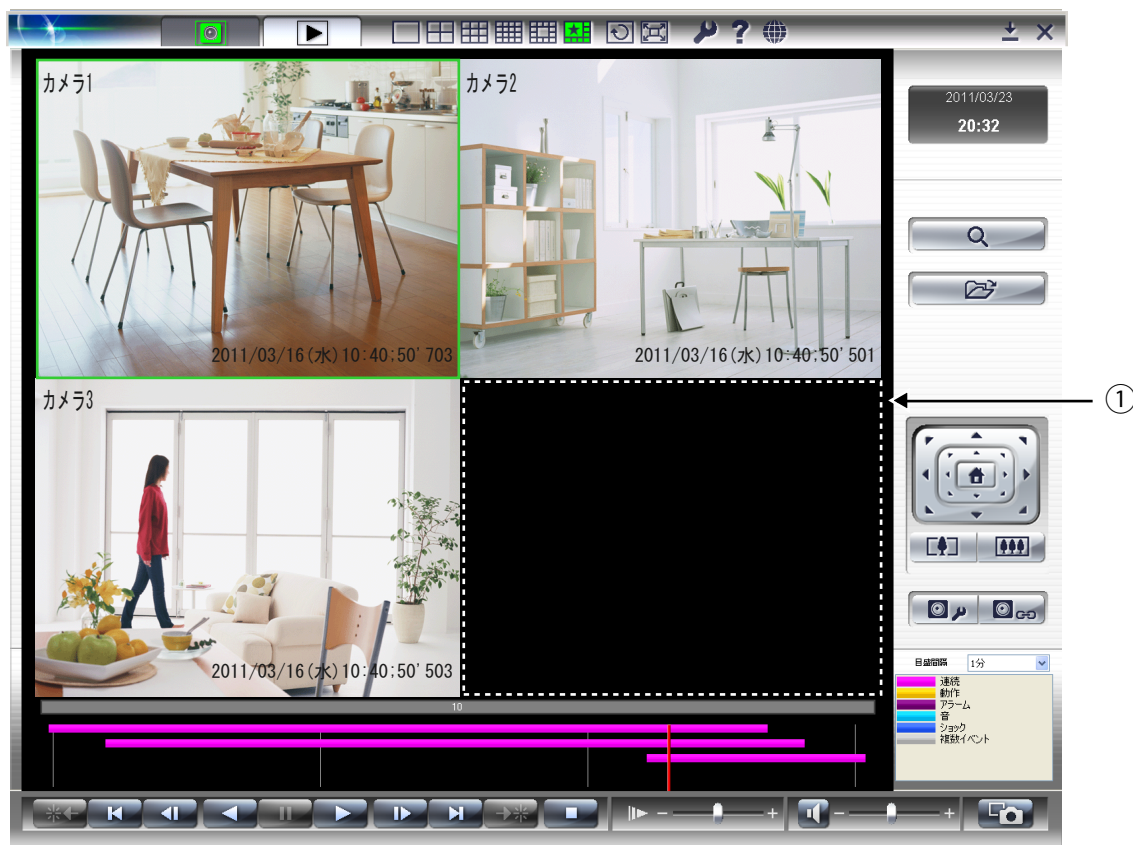
お知らせ

- [検索]ボタンをクリックすると、録画画像のある日にちをカレンダー上に太字で表示します。太字の日にちをクリックすると、その日に録画した画像の一覧を表示します。(→ 88 ページ)
- [グラフィック録画画像一覧]でカメラ名をクリックすると、選択したカメラで録画した画像の中で、先頭の画像の再生開始時刻と最後の画像の再生終了時刻に再生バーが移動します。(→ 92 ページ)

マルチ再生画面

マルチ再生画面では、再生一覧で選択した録画画像をカメラ単位で再生します。

1 [検索]画面の[再生一覧]で録画画像を選択して [再生]をクリックする

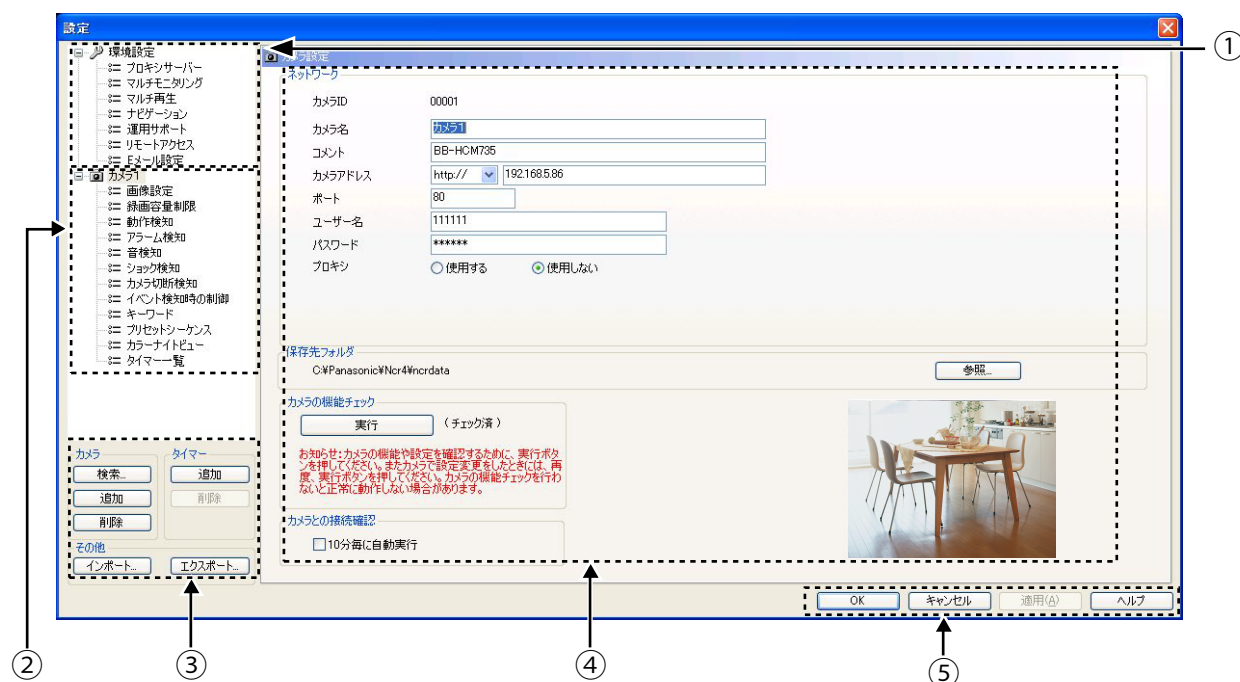
- 表示するカメラの画面数は変更できます。(→ 111 ページ)
  工場出荷の状態では4画面 (2行 × 2列) 表示に設定しています。
  4画面表示では、4台のカメラの録画画像を同時に再生できます。

①	設定した時間内に録画画像がない表示枠内は黒で表示します。

お知らせ

- キーボードの[Ctrl]キーを押しながら[Tab]キーを押すと、[マルチモニタリング]→[マルチ再生]の順番で表示画面を移動します。

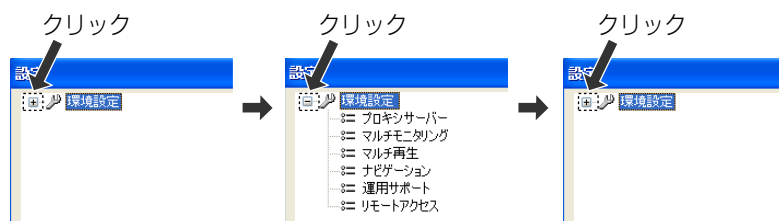
設定画面

設定画面では、環境設定、カメラの追加／削除、カメラの設定、タイマーの追加／削除などの操作を行います。

1 マルチモニタリング画面で [アイコン] または [アイコン] をクリックする

①	本プログラムの動作環境を設定します。 • 基本設定 (→ 14 ページ) • プロキシサーバー (→ 20 ページ) • マルチモニタリング (→ 103 ページ) • マルチ再生 (→ 111 ページ) • ナビゲーション (→ 151 ページ) • 運用サポート (→ 153 ページ) • リモートアクセス (→ 133 ページ) • Eメール設定 (→ 20 ページ)
②	登録カメラごとに設定をします。 (→ 25 ページ)
③	カメラの検索(→ 27 ページ)／追加 (→ 24 ページ)／削除 (→ 147 ページ)、 タイマーの追加 (→ 80 ページ)／削除 (→ 149 ページ) カメラ設定情報のインポート／エクスポート (→ 144 ページ) をします。
④	左で選択した項目の設定画面を表示します。
⑤	(→ 下記参照)

設定項目一覧の表示について

設定項目一覧はツリー形式で表示します。

[+] をクリックすると項目を展開、[−] をクリックすると項目を閉じます。

[OK]ボタン、[キャンセル]ボタン、[適用]ボタン、[ヘルプ]ボタンについて

[OK]　入力項目を設定後、設定画面を閉じます。

[キャンセル]　入力項目を設定しないで設定画面を閉じます。

[適用]　入力項目を設定しますが、表示画面は変わりません。
つづけて設定をする場合は[適用]ボタンをクリックしてください。
設定内容に変更がない場合は、無効表示 (グレー表示) になります。

[ヘルプ]　画面に対応したヘルプ画面を表示します。
操作方法がわからないときにお使いください。

設定変更時のアイコン表示について

設定値を変更すると、内容を変更した項目のアイコンにマークがつきます。
[OK]ボタン、または[適用(A)]ボタンのクリックで設定を確定すると、マークは消えます。

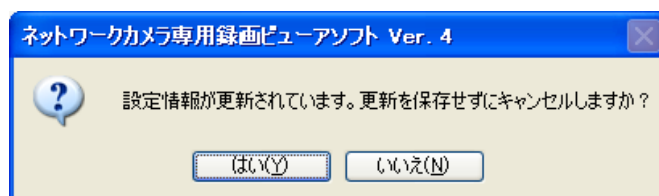
設定内容を変更したアイコンには、緑のマークがつきます。

設定内容を追加したアイコンには、青のマークがつきます。

設定内容を削除したアイコンには、赤のマークがつきます。

[OK]ボタンまたは[適用(A)]ボタンで設定内容を確定するとアイコンのマークは消えます。

お知らせ

- 設定項目にマークがついたままの状態で設定画面を閉じると、以下の画面が表示されます。
  [はい(Y)]をクリックすると設定は反映されません。

メニューボタンについて（マルチモニタリング画面）

メニューボタン（全カメラ）

登録カメラすべてに対応するメニューボタンです。

①	マルチモニタリングに移動	マルチモニタリング画面を表示します。マルチモニタリング画面を表示しているときは、ボタンが緑色になります。
②	マルチ再生に移動	マルチ再生画面を表示します。表示中の画面がマルチ再生画面を表示しているときは、ボタンが緑色になります。
③	レイアウト	画面を1×1、2×2、3×3、4×4、4×4変形に切り替えます。環境設定のレイアウト設定には反映されません。また、自動巡回は使用できません。表示中レイアウトのボタンは緑色になります。
④	レイアウト（環境設定）	環境設定で設定しているレイアウトに切り替えます。(→ 103 ページ) 環境設定のレイアウトで画面を表示しているときは、ボタンが緑色になります。

⑤	自動巡回	表示ページが複数ページある場合は、ボタンをクリックすると環境設定の自動巡回で指定した秒数ごとにページを自動で巡回します。 (→ 103 ページ) [1秒~60秒　工場出荷値は5秒] 自動巡回中にボタンをクリックすると自動巡回を停止します。 マルチモニタリング画面で、環境設定で設定しているレイアウト （ をクリック）を使用しているときのみ有効です。 自動巡回中はボタンが緑色になります。
⑥	フルスクリーン	画面をフルスクリーンモードに切り替えます。(→ 55 ページ) ウィンドウモードに戻るにはキーボードの[Esc]を押してください。
⑦	環境設定	[環境設定]の[マルチモニタリング]画面を表示します。
⑧	ヘルプ	ボタンをクリックするとメニュー画面を表示します。 ライセンスの登録(L)... 操作説明書を開く(H)... カメラのポータルサイト(C)... 製品情報(P)... サポート情報(S)... バージョン情報(A)...
⑨	言語	表示言語を切り替えます。ボタンをクリックするとメニュー画面を表示します。[日本語(工場出荷値)、英語]
⑩	最小化	本プログラムを最小化します。最小化すると本プログラムはタスクバーに表示されます。
⑪	閉じる	本プログラムの操作画面を終了します。(→ 10 ページ)
⑫	前ページを表示／次ページを表示	前／次ページのマルチモニタリング画面を表示します。 (前／次ページがあれば有効、なければ無効)
⑬	タイマー一覧	全カメラのタイマー設定（設定時間ならびに録画方法）の一覧を表示します。(→ 85 ページ)
⑭	全カメラのすべてのタイマー録画を停止	起動しているすべてのタイマー録画を停止します。
⑮	全カメラのすべてのタイマー録画を開始	停止しているすべてのタイマー録画を起動します。

メニューボタン（選択カメラ）

選択カメラに対応するメニューボタンです。

⑯	パン/チルト/ホームポジションボタン	外側のボタン：上下左右に大きく移動するときにクリックします。 内側のボタン：上下左右に小さく移動するときにクリックします。 ボタン：カメラ本体側で登録しているホームポジションを表示するときにクリックします。
⑰	テレ/ワイド	ズームを操作します。 ：拡大 (テレ)、 ：縮小 (ワイド)

⑱	カメラ設定情報の変更	選択カメラの設定画面を表示します。(→ 25 ページ)
⑲	カメラのポータルサイト	選択カメラのポータルサイトを表示します。 ネットワークビデオエンコーダーおよび全方位ネットワークカメラで表示モードが４ストリームの場合、必ずチャンネル１のカメラ画像を表示したポータル画面が開きます。
⑳	マニュアル録画	ボタンをクリックするとメニュー画面を表示します。 チェックマークを入れた録画方法で録画を開始／停止します。 また、全カメラのすべてのマニュアル録画を停止させることができます。
㉑	タイマー録画	ボタンをクリックするとメニュー画面を表示します。 チェックマークを入れたタイマーの開始時間/終了時間の設定にしたがい録画を開始/停止します。
㉒	スナップショット	選択カメラのスナップショットを撮ります。
㉓	音量調整（受話ボタン）	スピーカーのON／OFF、再生音量を調整します。(→ 110 ページ)
㉔	音量調整（送話ボタン）	マイクのON／OFF、再生音量を調整します。(→ 144 ページ)
㉕	カメラ操作ボタン	選択カメラの基本的な機能を操作します。(→ 73 ページ)

お知らせ

- カメラのアドレスをIPv6アドレスで設定した場合 (→ 25 ページ)、[カメラのポータルサイト]でカメラのポータルサイトは開けません。
  カメラのポータルサイトを開くには、カメラのアドレスにIPv6ドメイン名サービスで登録したホスト名を登録してください。

メニューボタンについて（再生画面）

①	マルチモニタリングに移動	マルチモニタリング画面を表示します。マルチモニタリング画面を表示しているときは、ボタンが緑色になります。
②	マルチ再生に移動	マルチ再生画面を表示します。マルチ再生画面を表示しているときは、ボタンが緑色になります。
③	レイアウト	画面を1×1、2×2に切り替えます。環境設定のレイアウト設定には反映されません。表示中レイアウトのボタンは緑色になります。
④	レイアウト（環境設定）	環境設定で設定しているレイアウトに切り替えます。(→ 111 ページ) 環境設定のレイアウトで画面を表示しているときは、ボタンが緑色になります。
⑤	フルスクリーン	画面をフルスクリーンモードに切り替えます。 ウィンドウモードに戻るにはキーボードの[Esc]を押してください。
⑥	環境設定	環境設定のマルチ再生設定画面を表示します。

⑦	ヘルプ	ボタンをクリックするとメニュー画面を表示します。 ライセンスの登録(L)... 操作説明書を開く(H)... カメラのポータルサイト(C)... 製品情報(P)... サポート情報(S)... バージョン情報(A)...
⑧	言語	表示言語を切り替えます。ボタンをクリックするとメニュー画面を表示します。[日本語(工場出荷値)、英語]
⑨	最小化	本プログラムを最小化します。最小化すると本プログラムはタスクバーに表示されます。
⑩	閉じる	本プログラムの操作画面を終了します。(→ 10 ページ)
⑪	検索	検索画面を表示します。(→ 88 ページ)
⑫	PNCファイルを再生	ネットワークカメラからダウンロードした録画画像やネットワークカメラのSDカードに保存した録画画像をパソコンで再生します。
⑬	パン/チルト/ホームポジションボタン	実画像の大きさが表示枠を越えたときに操作できます。 外側のボタン：上下左右に大きく移動するときにクリックします。 内側のボタン：上下左右に小さく移動するときにクリックします。 ボタン：センタリング表示するときにクリックします。
⑭	テレ	再生中の録画画像を拡大（テレ）表示（×10.0まで）します。 ボタンをクリックするたびに一定の段階で拡大します。
⑮	ワイド	再生中の録画画像を縮小（ワイド）表示（×1.0まで）します。 ボタンをクリックするたびに一定の段階で縮小します。
⑯	カメラ設定情報の変更	選択カメラの設定画面を表示します。(→ 25 ページ)
⑰	カメラのポータルサイト	選択カメラのポータルサイトを表示します。
⑱	再生操作ボタン	録画画像の再生を操作します。(→ 96 ページ)

2.4 カメラの画像を見る

2.4.1 マルチモニタリング画面について

カメラを登録すると、マルチモニタリング画面に登録したカメラの画像を表示します。

①	選択カメラ マルチモニタリング画面上で、クリックして選択したカメラを選択カメラといいます。 (→ 103 ページ)
②	カメラ名 (→ 25 ページ)を表示します。
③	ズーム倍率(→ 71 ページ)を表示します。
④	フレームレート(画面更新間隔) (→ 30 ページ)を表示します。
⑤	録画停止中のカメラ画像には を表示します。
⑥	モニタリング一時停止中のカメラの画像には、 を表示します。 (→ 73 ページ)

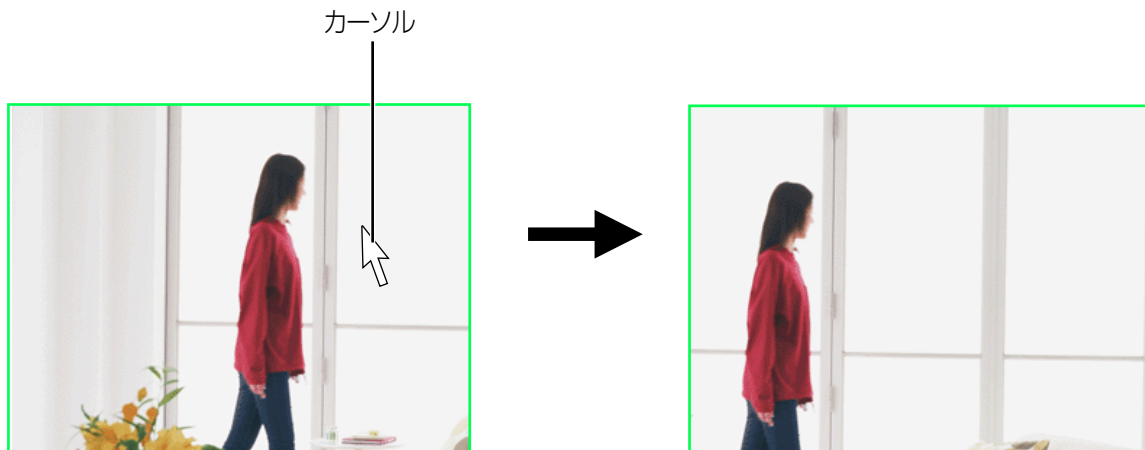
お知らせ

- 登録したカメラの画像は、登録した順番に、4画面 (2行×2列) で表示します。レイアウトは[環境設定]の[マルチモニタリング]で変更できます。(→ 104 ページ)

- カメラ追加により登録カメラの台数が、1画面に表示する画面数より多くなった場合は、台数に応じてページを自動で作成します。
- マルチモニタリング画面上に、カメラ名、フレームレートを表示するには、[環境設定]の[マルチモニタリング]で[カメラ名]、[フレームレート]にチェックマークを入れてください。(→ 104 ページ)
- モニタリング中に音声が途切れたり、画像が静止したりすることもあります。
- データ形式をMPEG-4/H.264に設定して複数のカメラをモニタリングすると、表示の負荷が増大して最大表示能力を超える場合があります。その場合には、以下のメッセージを表示します。
  [OK]をクリックすると、表示画像のデータ形式をJPEGに切り替えます。
  JPEGに対応していないカメラの場合、モニタリングのフレームレートを1枚/秒に自動で変更します。

  このとき、録画のフレームレートが低下する場合があります。
- カメラに同時に接続できる最大接続数は、データ形式や画像サイズにより異なります。
  詳しくはカメラの取扱説明書を参照してください。
  録画で使用するカメラは、パフォーマンス維持のため接続数を限定することをお薦めします。
- 音声は、選択中のカメラの音声を再生します。音量の調整はスライダーバーで調整できます。(→ 111 ページ)
- 音声付きカメラのモニター中には、ご使用のパソコンの性能およびネットワークの環境によっては、音声が途切れることがあります。その場合は、カメラ本体側のネットワークの設定画面で通信帯域制限をより小さい値に設定してみてください。
- パソコンの性能やネットワークなど、ご使用の環境によっては従来品[BB-HNP11]、[BB-HNP15]やブラウザでのモニタリング画像に比べて、画像の表示が遅れる場合があります。
- モニタリング中にDG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラ本体の設定画面で画像に関する設定（解像度など）を変更すると、本プログラムとの通信がいったん遮断されるため、モニタリング中の画像は一時途切れます。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラにおいて、4つのカメラ画像を1つのカメラ画像に合成するモードを設定した場合、選択カメラを示す緑線の中に画像選択用の赤線が表示されます。
- JPEGやH.264など異なるデータ形式の設定で映像を同時に表示させる場合、映像圧縮処理の関係で音声ならびに映像がずれて表示される場合があります。

マウスでクリックした位置を画面の中央にもってくる（クリック&センタリング機能）

選択カメラの画面上で、見たいところにカーソルを移動してクリックすると、クリックした位置が画面の中央に移動します。

選択カメラの画面上でカーソルを移動して、センターに表示する位置をクリックする。

クリックした位置が画面の中央に移動します。

お知らせ

- 位置によっては、クリックした位置が画面の中心から多少ずれる場合があります。
- パン/チルト機能対応のカメラ、および本プログラムにてズームしている場合に使用できます。

カメラ画像を拡大する

ズーム機能には、カメラのズーム機能(光学ズーム／Exズーム／デジタルズーム)と本プログラムのデジタルズームがあります。選択しているカメラにズーム機能がある場合はカメラのズーム機能が動作し、ズーム機能がない場合には本プログラムのズーム機能が動作します。カメラの機種により使用できるズーム、最大倍率は異なります。

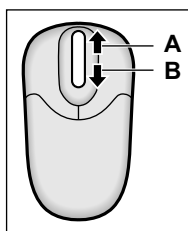
操作ボタンでズーム機能を使う

ズームを操作します。(→ 64 ページ)

：拡大（テレ）、 ：縮小（ワイド）

マウス操作でズーム機能を使う

マウスのホイール部または右ボタンでズームを操作します。

- **ホイール部による操作**
  画像上にマウスのカーソルを移動して、ホイールを前後に回転させます。前方向に回転させると、被写体を拡大表示し、後方向に回転させると被写体を縮小表示します。

A. 拡大 (テレ)
B. 縮小 (ワイド) (×1.0まで)

お知らせ

- ズーム機能は、ホイールのスクロール操作の量に従って動作します。ホイールのスクロール操作については、お使いのパソコンでマウスのホイール動作を設定してください。
- デジタルズームで拡大表示した画像は、画質が低下します。
- 本プログラムのデジタルズームを使って拡大、縮小表示した場合のみ、マルチモニタリング画面上にズーム倍率が表示されます。

エラーカメラの表示色

接続エラーなどの原因で接続できないカメラ、カメラを登録してない表示枠内の色は以下のようになります。

①	カメラを登録していない表示枠 • 黒で表示されます。
②	接続エラーをおこしているカメラ • 黒で表示され、「接続中」と表示されます。

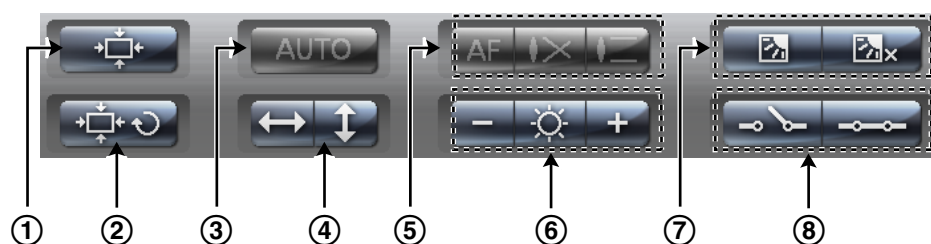
高負荷時のモニタリング停止画面

CPU高負荷（CPU使用率が80%以上）時にモニタリングを一時停止します。一時停止中は、モニタリング画面上に を表示します。

一時停止中は、モニタリング画面は停止直前のモニタリング画面を、録画中の場合は、停止直前の録画のアイコンを表示します。

①	モニタリング一時停止中に表示します。

2.4.2 カメラを操作する

マルチモニタリング画面上でカメラの基本的な機能を操作できます。

①	プリセット	ボタンをクリックするとカメラ本体に登録しているプリセットリストを表示します。リストを選択すると、登録されている位置を表示します。 • 本プログラム起動中に、カメラ本体側でプリセットを変更した場合、その変更は、表示されません。 • カメラによっては、プリセットリストは表示されません。 • DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラでは、プリセットリストにプリセット番号が表示される場合があります。

②	プリセットシーケンス	カメラ本体側で登録しているプリセットの場所を定期的に巡回して見ることができます。(→ 48 ページ) ボタンをクリックして表示されるメニューで[プリセットシーケンスの起動]、[プリセットシーケンスの停止]を選択します。
③	自動モード	自動モード機能を有するカメラ（ネットワークビデオエンコーダーを含む）を選択するとボタンが有効表示になります。 AUTO ボタンをクリックして表示されるメニューで[自動追従を開始]、[オートパンを開始]、[プリセットシーケンス（カメラ側）を開始]、[パトロール１を開始]、[パトロール２を開始]、[パトロール３を開始]、[パトロール４を開始]、[停止]を選択します。 • カメラが自動モードに対応しているかどうかについては、カメラの取扱説明書をお読みください。 • それぞれの設定はカメラ側で行ってください。詳細についてはカメラの取扱説明書を参照してください。 • 自動モードのプリセット機能はカメラ側で設定する機能です。本プログラムのプリセットシーケンス(→ 48 ページ)とは異なります。 • パン、チルト、ズーム、フォーカスの操作を行った場合、選択した動作は終了します。
④	パンスキャン／チルトスキャン	水平方向 (左、右) または垂直方向 (上、下)で全域移動後、現在位置でとまります。
⑤	フォーカス	フォーカス機能を有するカメラを選択するとボタンが有効表示になります。焦点距離を調整します。 AF：自動で焦点を調整します。（オートフォーカス） ：近距離の焦点を調整します。 ：遠距離の焦点を調整します。
⑥	暗くする/標準の明るさに戻す/明るくする	画像の明るさを9段階（標準を含む）で調節します。 ：暗くなる、：標準 (工場出荷値)、：明るくなる
⑦	逆光補正ON/逆光補正OFF	逆光補正のON／OFFを設定します。
⑧	カメラの外部出力を開放/カメラの外部出力を短絡	カメラに接続した外部機器を遠隔で制御します。 接続する外部機器に合わせて設定してください。 ：開放、：短絡

お知らせ

- カメラの機種により使用できる機能は異なります。
  使用できないボタンは、無効表示 (グレー表示) します。
- カメラ本体側の設定で、変更禁止にしている場合は、操作できません。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラは一部仕様が異なります。詳細は157 ページを参照してください。

2.5 カメラの画像を録画する

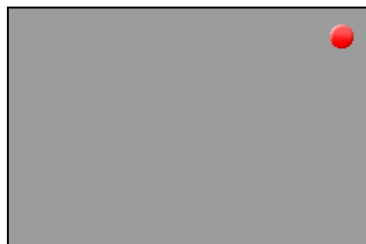
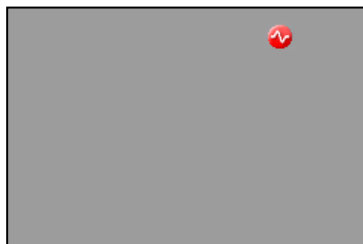
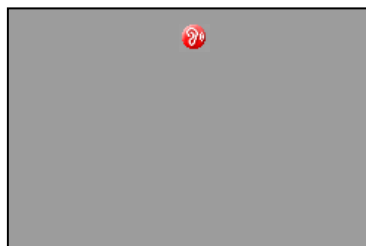
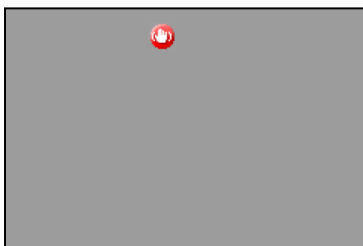
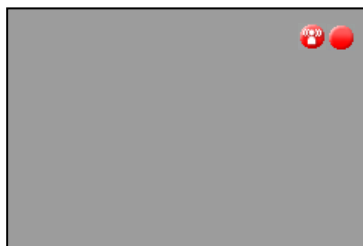
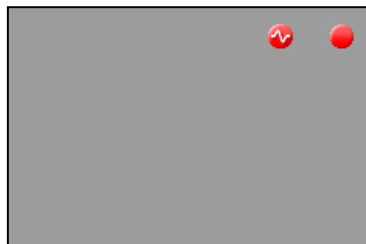
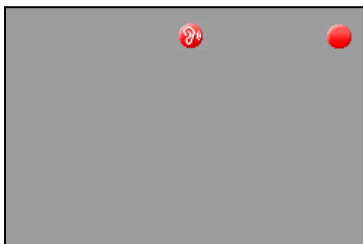
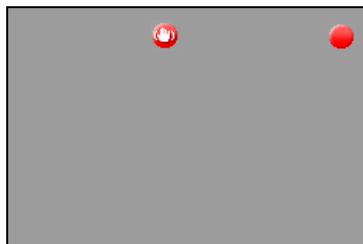
お知らせ

- 正常に動作していても、本プログラム以外のプログラムが動作するなどパソコンに負荷がかかった場合、録画が１分程度途切れる場合があります。
- パン／チルト／ズーム機能がないカメラの場合でも、マルチモニタリング画面にて本プログラムのパン／チルト／ズーム機能を使用して画像を見ることができますが、録画する場合はカメラから送られてくる画像、つまりパン／チルト／ズームしていない画像となります。

2.5.1 録画方法について

録画方法には下記の5種類があります。
手動で録画を開始するには、録画するカメラを選択して、マルチモニタリング画面で をクリックして表示されるメニューから録画方法を選択してください。

- 連続録画する (→ 76 ページ)
  [連続録画を開始]を選択すると、選択したカメラの画像を連続録画します。
- 動作検知録画する (→ 77 ページ)
  [動作検知録画を開始]を選択すると、選択したカメラの動作検知録画を開始します。
  設定した動作検知の[しきい値]を超えると、検知した画像を録画します。
- アラーム検知録画する (→ 78 ページ)
  [アラーム1検知録画を開始]／[アラーム2検知録画を開始]を選択すると、選択したカメラのアラーム検知録画を開始します。
  設定したアラーム信号を検出すると、検知した画像を録画します。
- 音検知録画する (→ 79 ページ)
  [音検知録画を開始]を選択すると、選択したカメラの音検知録画を開始します。
  設定した検知音を検出すると、検知した画像を録画します。
- ショック検知録画する (→ 80 ページ)
  [ショック検知録画を開始]を選択すると、選択したカメラのショック検知録画を開始します。
  設定したショックを検出すると、検知した画像を録画します。

録画中は、マルチモニタリング画面上に録画アイコンを表示します。

2.5.2 連続録画する

選択したカメラの画像を連続録画します。録画は29 ページの画像設定画面で設定した形式で録画します。

1 マルチモニタリング画面で録画するカメラを選択する

- 選択したカメラの画像は緑枠になります。

2 をクリックして表示されるメニューで[連続録画を開始]を選択する

- 選択したカメラ画像の連続録画を開始します。
- 録画を停止するときは、録画を停止するカメラを選択して をクリックして表示されるメニューで[連続録画を停止]を選択してください。

お知らせ

- 録画画像ファイルサイズの目安は18 ページを参照してください。
- 録画中に で操作画面を閉じても, 録画は停止しません。

  タスクバーに 表示中は, 操作画面が起動していなくても, プログラムは起動しています。
  (→ 10 ページ)

- 録画中に接続が遮断された場合, 録画アイコンを表示したままで待機状態になります。接続が復帰した時点で録画を再開します。
- 録画中にDG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラの設定画面で画像に関する設定（解像度など）を変更すると、本プログラムとの通信がいったん遮断されるため、録画が途切れます。

2.5.3 動作検知録画する

カメラに設定した動作検知の[しきい値]を超えると、動作検知録画を開始します。[しきい値]は、カメラごとに設定してください。(→ 34 ページ)
動作検知録画は、JPEG形式で接続するカメラにのみ設定できます。データ形式をMPEG-4／H.264に設定しているカメラは、JPEGに変更してください。(→ 29 ページ)

1 マルチモニタリング画面で動作検知録画するカメラを選択する

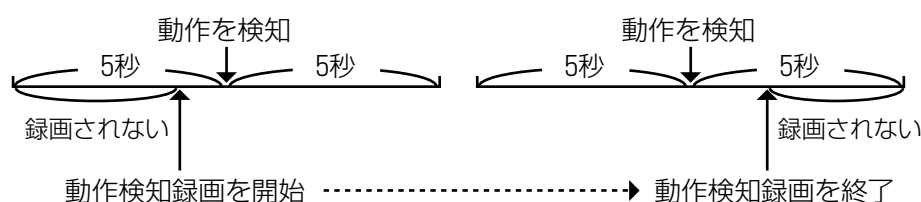
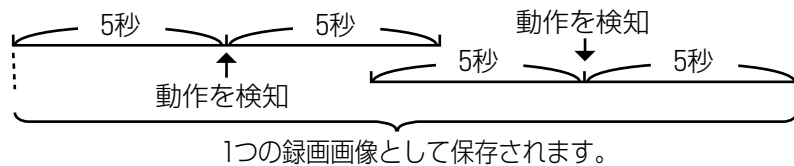
- 選択したカメラの画像は緑枠になります。

2 をクリックして表示されるメニューで[動作検知録画を開始]を選択する

- 選択したカメラ画像の動作検知録画を開始します。
- 録画を停止するときは、録画を停止するカメラを選択して をクリックして表示されるメニューで[動作検知録画を停止]を選択してください。

お知らせ

- 録画中に で操作画面を閉じても、録画は停止しません。
  タスクバーに 表示中は、操作画面が起動していなくても、プログラムは起動しています。
  (→ 10 ページ)
- 動作検知は、解像度、画質、被写体の状況により、設定したときの検知レベルで動作しないことがあります。
  動作検知画面の動作検知用モニタリング画面 (→ 34 ページ) で、意図した動作検知ができることを十分に確認を行ったうえで、動作検知録画を設定してください。
- 動作検知時にコマンドを指定して実行することができます。 (→ 33 ページ)
- 動きがあったときの前後の秒数を指定して、録画することができます。 (→ 34 ページ)
- タイマー録画設定で指定した開始時刻の直後や終了時刻の直前に動作検知をした場合、録画時間が短くなることがあります。また、手動で動作検知を開始した直後や、停止直前に動作検知をした場合、録画時間が短くなることがあります。

  例）動作検知で、検知前、検知後の録画時間を５秒に設定している場合
  検知前１秒で動作検知録画を開始し、検知後２秒で動作検知録画を終了した場合は、最初の検知前４秒と最後の検知後３秒の画像は録画されません。

- 検知後と、検知前の録画が重なった場合は、連続して録画します。
  例) 動作検知で、前後5秒間を録画するに設定している場合

- 検知のお知らせ、ならびに検知時の画像をメールに添付して指定したアドレスに送ることができます。
  (→ 20 ページ)

2.5.4 アラーム検知録画する

カメラに取り付けたアラームの信号を検出するとアラーム検知録画を開始します。
アラームの検出方法は、カメラごとに設定してください。(→ 38 ページ)
アラーム検知録画は、JPEG形式で接続するカメラにのみ設定できます。
データ形式をMPEG-4／H.264に設定しているカメラは、JPEGに変更してください。(→ 29 ページ)

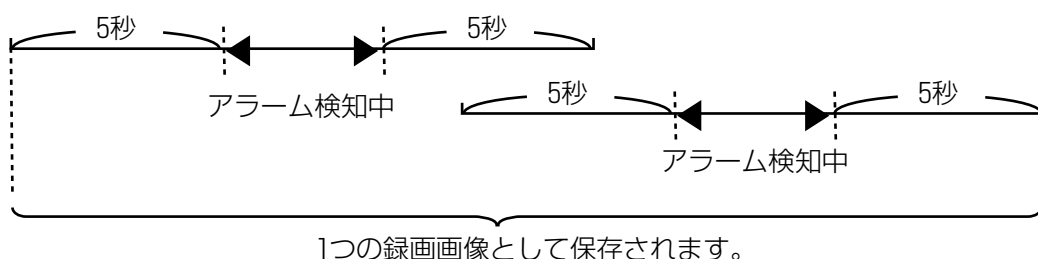
1 マルチモニタリング画面でアラーム検知録画するカメラを選択する

- 選択したカメラの画像は緑枠になります。

2 をクリックして表示されるメニューで[アラーム1検知録画を開始]／[アラーム2検知録画を開始]を選択する

- 選択したカメラ画像のアラーム検知録画を開始します。
- 録画を停止するときは、録画を停止するカメラを選択して をクリックして表示されるメニューで[アラーム1検知録画を停止]／[アラーム2検知録画を停止]を選択してください。

お知らせ

- 録画中に で操作画面を閉じても、録画は停止しません。
  タスクバーに 表示中は、操作画面が起動していなくても、プログラムは起動しています。
  (→ 10 ページ)
- アラーム信号を検出した前後の秒数を指定して, 録画できます。
  実際にアラーム検知録画を行って, 意図したアラーム検知録画ができることを十分に確認を行ったうえで設定を行ってください。
- アラーム検知時にコマンドを指定して実行することができます。(→ 38 ページ)
- アラーム検出後と検出前の録画が重なった場合は、連続して録画します。
  例) アラーム検知で、前後5秒間を録画するに設定している場合

- アラーム1録画とアラーム2録画で検知前後が重なった場合は、別の録画画像として保存されます。

- 検知のお知らせ、ならびに検知時の画像をメールに添付して指定したアドレスに送ることができます。(→ 20 ページ)
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラのアラーム設定は一部仕様が異なります。詳細は160 ページを参照してください。

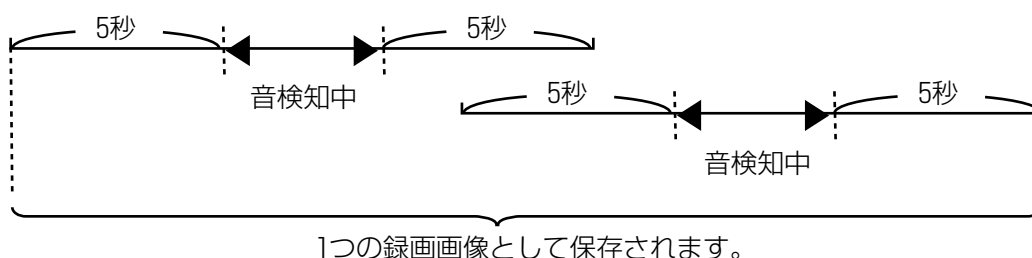
2.5.5 音検知録画する

カメラで音を検知すると音検知録画を開始します。
音検知録画の録画時間などは、カメラごとに設定してください。(→ 39 ページ)
音検知録画は、JPEG形式で接続するカメラにのみ設定できます。
データ形式をMPEG-4/H.264に設定しているカメラは、JPEGに変更してください。(→ 29 ページ)

1 マルチモニタリング画面で音検知録画するカメラを選択する
- 選択したカメラの画像は緑枠になります。

2 をクリックして表示されるメニューで[音検知録画を開始]を選択する
- 選択したカメラ画像の音検知録画を開始します。
- 録画を停止するときは、録画を停止するカメラを選択して をクリックして表示されるメニューで[音検知録画を停止]を選択してください。

お知らせ

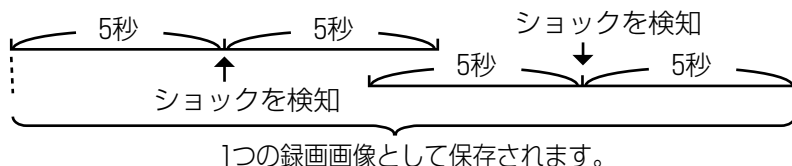
- 音検知の感度は、カメラ本体側で設定してください。
- 録画中に で操作画面を閉じても、録画は停止しません。
  タスクバーに 表示中は、操作画面が起動していなくても、プログラムは起動しています。
  (→ 10 ページ)
- 音を検出した前後の秒数を指定して, 録画できます。
  実際に音検知録画を行って, 意図した音検知録画ができることを十分に確認を行ったうえで設定を行ってください。
- 音検知時にコマンドを指定して実行することができます。(→ 39 ページ)
- 音検出後と検出前の録画が重なった場合は、連続して録画します。
  例) 録画時間で、前後5秒間を録画するに設定している場合

- 検知のお知らせ、ならびに検知時の画像をメールに添付して指定したアドレスに送ることができます。(→ 20 ページ)

2.5.6 ショック検知録画する

カメラでショックを検知するとショック検知録画を開始します。
ショック検知録画の録画時間などは、カメラごとに設定してください。(→ 41 ページ)
ショック検知録画は、JPEG形式で接続するカメラにのみ設定できます。
データ形式をMPEG-4/H.264に設定しているカメラは、JPEGに変更してください。(→ 29 ページ)

1 マルチモニタリング画面でショック検知録画するカメラを選択する
- 選択したカメラの画像は緑枠になります。

2 をクリックして表示されるメニューで[ショック検知録画を開始]を選択する
- 選択したカメラ画像のショック検知録画を開始します。
- 録画を停止するときは、録画を停止するカメラを選択して をクリックして表示されるメニューで[ショック検知録画を停止]を選択してください。

お知らせ
- ショック検知の感度は、カメラ本体側で設定してください。
- 録画中に で操作画面を閉じても、録画は停止しません。
  タスクバーに 表示中は、操作画面が起動していなくても、プログラムは起動しています。
  (→ 10 ページ)
- ショックを検出した前後の秒数を指定して, 録画できます。
  実際にショック検知録画を行って, 意図したショック検知録画ができることを十分に確認を行ったうえで設定を行ってください。
- ショック検知時にコマンドを指定して実行することができます。(→ 41 ページ)
- ショック検出後と検出前の録画が重なった場合は、連続して録画します。
  例) 録画時間で、前後5秒間を録画するに設定している場合

- 検知のお知らせ、ならびに検知時の画像をメールに添付して指定したアドレスに送ることができます。
  (→ 20 ページ)

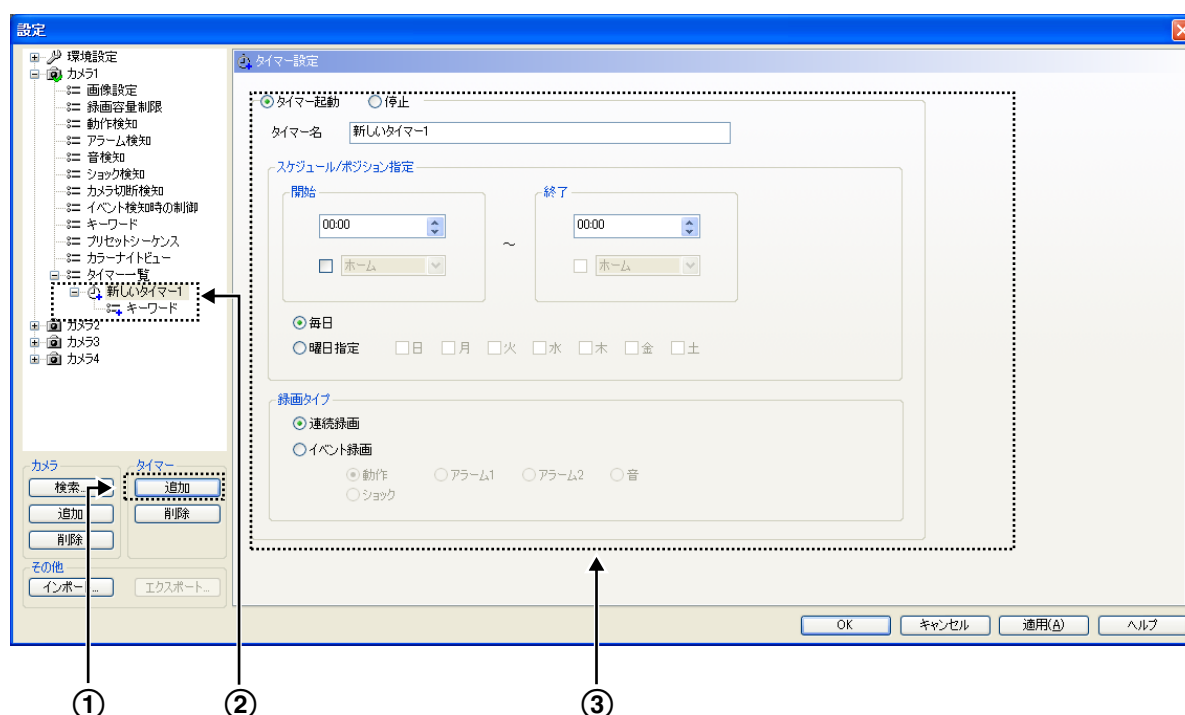
2.5.7 タイマー録画する

録画開始および録画停止を曜日と時刻でタイマー設定できます。
1台のカメラごとに、タイマーは10個まで設定できます。

タイマーを設定する

1 マルチモニタリング画面でタイマーを設定するカメラを選択して をクリックする

2 [追加] (タイマー) をクリックする

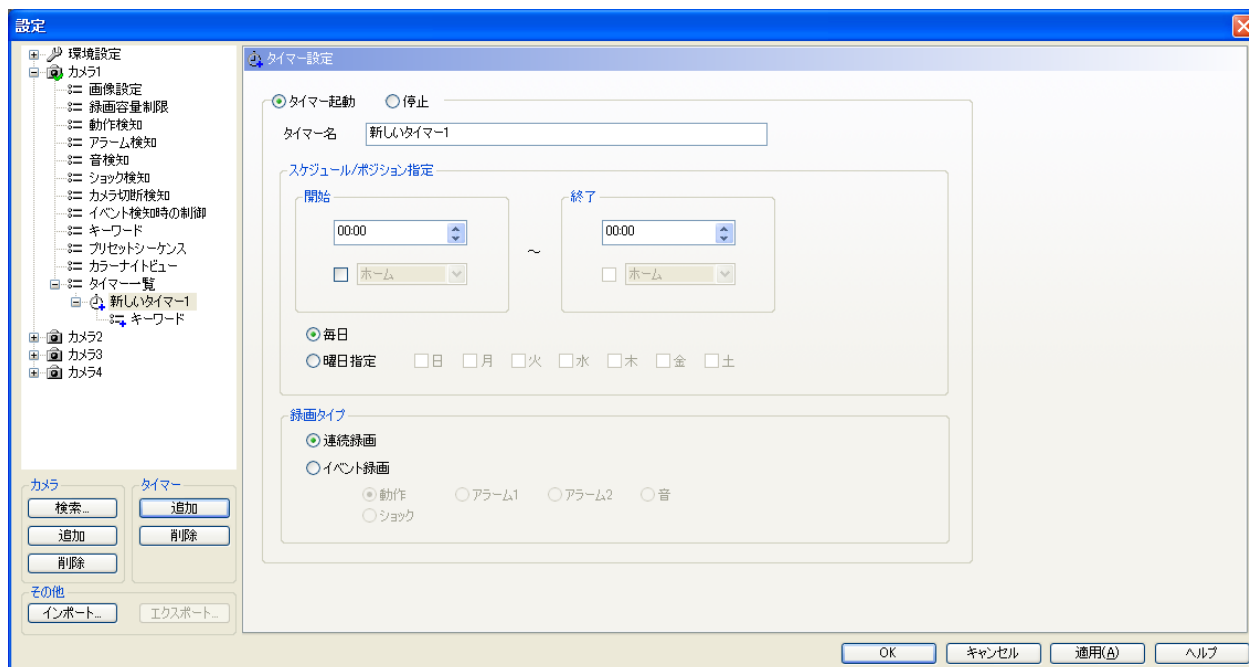
- 選択したカメラのタイマー一覧に[新しいタイマー]を追加します。

①	[追加] (タイマー)ボタン
②	[追加] (タイマー)ボタンをクリックすると[新しいタイマー]の設定項目を追加します。
③	選択したタイマーの設定画面を表示します。

お知らせ

- タイマー名は、デフォルトで[新しいタイマー]のあとに自動で番号を付けて設定します。
  他の設定項目には、デフォルト値を設定します。

3 各設定を行い[OK] または[適用(A)]をクリックする

- [OK]ボタンをクリックすると設定画面を閉じます。つづけて別のタイマーを登録する場合は、[適用(A)]ボタンをクリックしてください。
- 録画画像に検索用のキーワードを設定する場合は、キーワード設定画面で設定をしてください。(→ 84 ページ)

タイマー設定画面

設定項目	設定内容
タイマー起動／停止	設定したタイマーの起動／停止を設定します。 • タイマーは[タイマー起動]のときのみ録画します。 [停止]に設定した場合は、録画されません。
タイマー名	タイマー名を設定します。(半角24文字、全角12文字) タイマー一覧には、設定したタイマー名を表示します。

設定項目	設定内容
スケジュール／ポジション指定	タイマー予約する録画開始時刻、終了時刻、ポジション、曜日を設定します。 • 開始／終了時刻に表示するプリセット位置を指定できます。(プリセットシーケンス機能対応のカメラのみ) ポジションを指定すると開始／終了時刻に指定したプリセット位置を表示します。 • DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラでは、ポジションにプリセット番号が表示される場合があります。 全方位ネットワークカメラで撮像モードが４画PTZの場合は、左上の画面のみプリセット動作をします。 • [毎日]にチェックを入れると毎日指定した時間帯にタイマー予約が実行されます。 • [曜日指定]にチェックを入れ録画曜日を指定すると、指定した曜日の指定した時間帯にタイマー予約が実行されます。 (曜日は複数選択可) → 録画する曜日にチェックが入っていない場合は、実行できません。 • 一日中録画する場合は、開始時刻、終了時刻とも同じ時刻を設定してください。開始時刻、終了時刻を同じに設定すると、日をまたいで次の日の終了時刻まで実行されます。
録画タイプ	予約時間中すべて録画するか、イベント検知時にのみ録画するかを選択します。 • [連続録画]：予約時間中すべて録画します。（工場出荷値） • [イベント録画]：検知録画の検知方法を選択します。 カメラが対応している機能のみ表示されます。（動作、アラーム１／アラーム2、音、ショック） 各検知方法の詳細は設定画面で設定します。(→ 34 ページ、 38 ページ、40 ページ、 42 ページ)

お知らせ

- タイマー録画中に ボタンで操作画面を閉じても、タイマー録画は中止されません。途中で、録画を中止する場合は、タイマーを[停止]に設定してください。
- マルチモニタリング画面のカメラ画像上の右クリックで表示されるメニューの[選択カメラのすべてのタイマー録画を開始する]／[選択カメラのすべてのタイマー録画を停止する]で選択中のカメラに登録しているすべてのタイマー録画を開始／停止することもできます。
- 日をまたいだ録画の場合は、00:00:00直前までと00:00:00以降で、2つのファイルを作成します。
- タスクバーに 表示中は、操作画面が起動していなくても、プログラムは起動しています。タイマー録画を設定している場合は、動作します。(→ 10 ページ)
- タイマー録画中に接続が遮断された場合、録画中のアイコン は表示されたままで待機状態になります。接続が復帰した時点で録画を再開します。

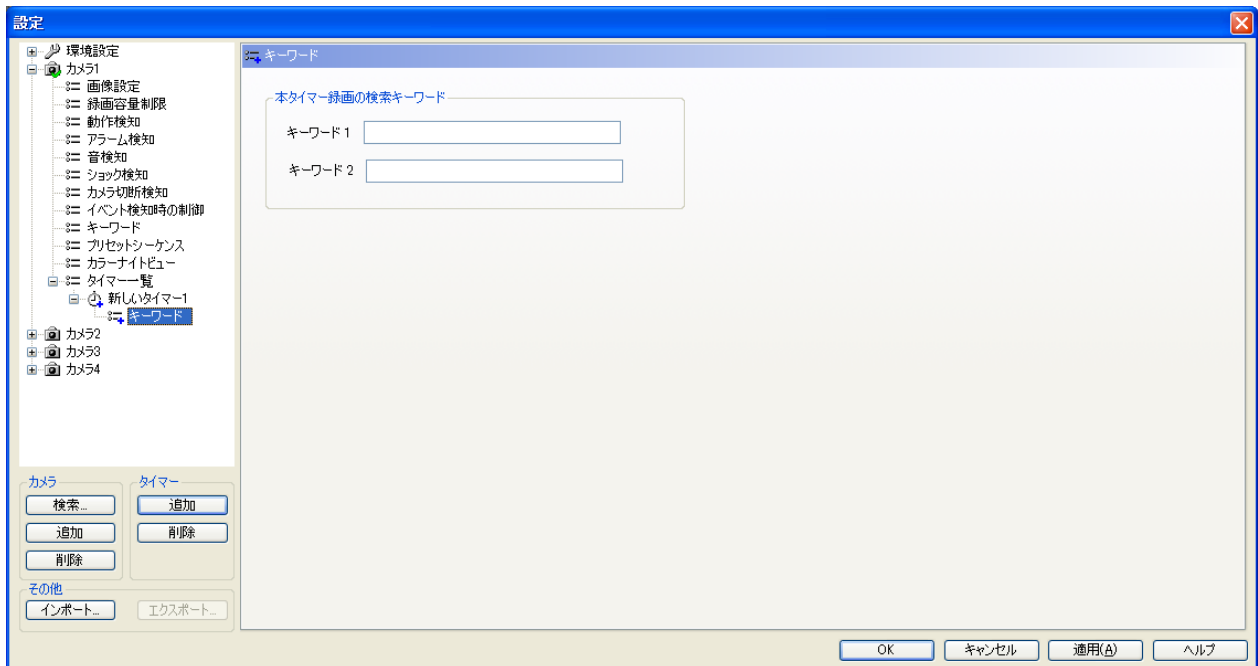
- 設定したタイマーを削除するには、削除するタイマーを選択して[削除] (タイマー)をクリックしてください。(→ 149 ページ)

タイマー録画で録画する画像に検索用キーワードを設定する

設定したタイマーごとに、録画画像にキーワードを設定できます。
キーワードを設定すると、設定したキーワードで録画画像を検索できます。

1 キーワードを設定するタイマーの[キーワード]をクリックする

2 キーワードを設定して[OK]をクリックする

キーワード設定画面

お知らせ

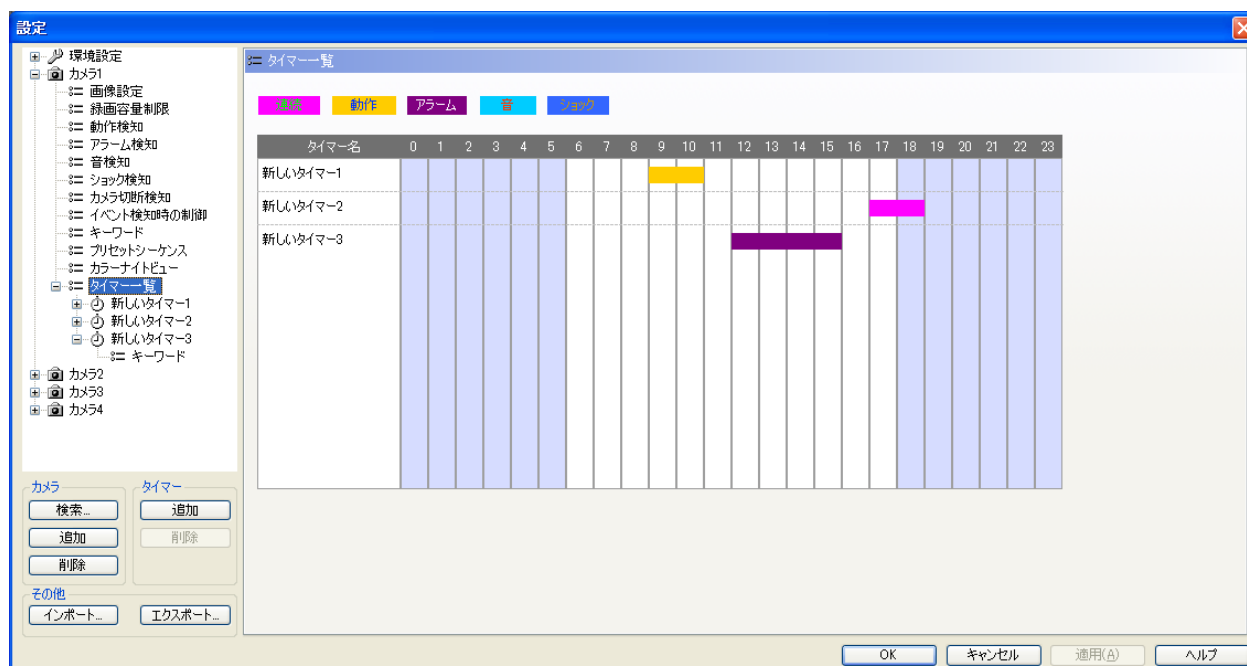
- キーワードは2つ設定できます。(半角40文字、全角20文字まで)

タイマー一覧を表示する(カメラごと)

登録カメラごとに、設定しているタイマーのスケジュールをグラフィックに表示します。

1 マルチモニタリング画面でタイマー一覧を表示するカメラを選択して をクリックする

2 [タイマー一覧]をクリックする

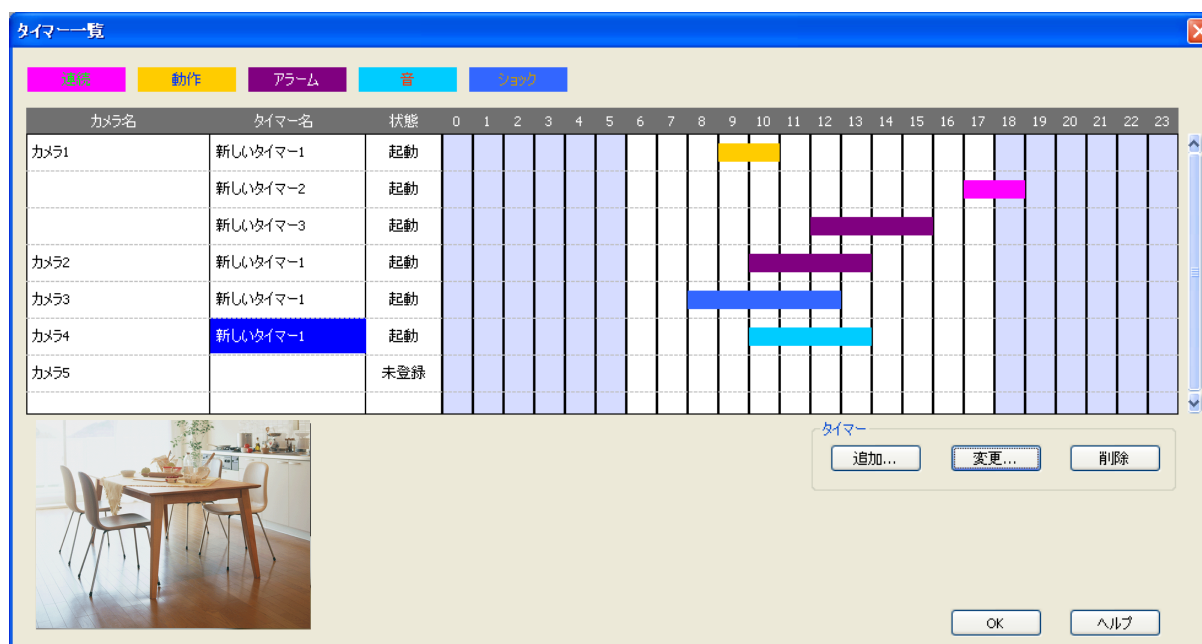
タイマー一覧画面

お知らせ

- 録画タイプの色は[環境設定]の[マルチ再生]画面で変更できます。(→ 111 ページ)

タイマー一覧を表示する(全カメラ)

全登録カメラに設定しているタイマーのスケジュールをグラフィックに表示します。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

タイマー一覧画面

- [追加]ボタンをクリックすると選択しているタイマーに[新しいタイマー]を追加できます。
- [変更]ボタンをクリックすると選択しているタイマーを変更できます。
- [削除]ボタンをクリックすると選択しているタイマーを削除します。

お知らせ

- 録画タイプの色は[環境設定]の[マルチ再生]画面で変更できます。(→ 111 ページ)
- 登録したカメラの画像は画面の左下に表示します。(一部の機種では静止画表示になります。)

2.6 録画画像を再生する

録画した画像を再生するまでの流れは以下のとおりです。

再生する録画画像を選択する

1 再生する録画画像を検索する (→ 88 ページ)

- 検索した録画画像がある日にちをカレンダー上に太字で表示します。

2 再生する録画画像がある日にちを選択する (→ 91 ページ)

- [グラフィック録画画像一覧]に録画画像の一覧を表示します。

3 録画画像を再生するカメラを選択する (→ 92 ページ)

- カメラ名をクリックすると、選択したカメラで録画した画像の中で、先頭の画像の再生開始時刻と最後の画像の再生終了時刻に再生バーが移動します。

4 再生バーをドラッグして再生する時間を選択する(→ 92 ページ)

- 選択した時間内の録画画像の一覧を[再生一覧]に表示します。

再生画面で録画画像を確認する(→ 94 ページ)

- [再生一覧]で選択した録画画像を再生画面で確認できます。

マルチ再生画面で録画画像を再生する(→ 95 ページ)

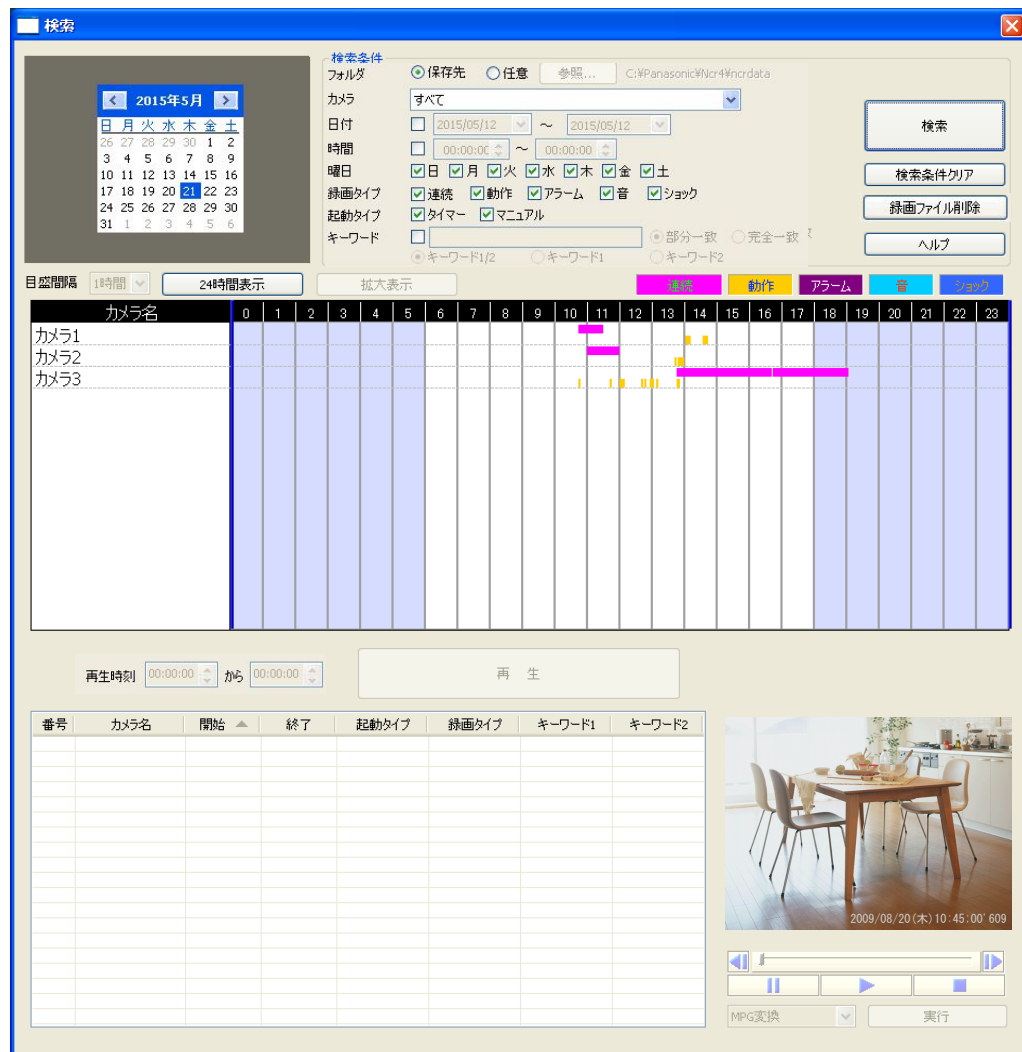
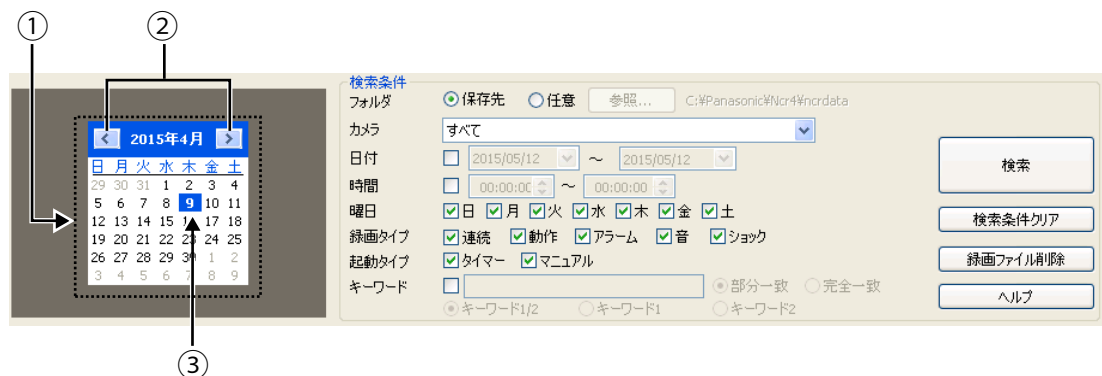
- [再生]ボタンをクリックすると対象の録画画像をマルチ再生画面で再生します。

2.6.1 再生する録画画像を選択する

再生する録画画像を検索する

1 ［▶］をクリックする

- マルチ再生画面が表示されます。
- 同時に初期状態の検索条件で自動検索された検索結果が表示されます。
【初期状態の検索条件】
＜カメラ＞：「すべて」
＜日付＞：未選択
＜時間＞：未選択
＜曜日＞：全選択
＜録画タイプ＞：全選択
＜起動タイプ＞：全選択
＜キーワード＞：未選択

- 検索条件を変えて再検索する場合は、検索条件を設定して[検索]をクリックしてください。

- 条件に該当する録画画像がある日にちを、カレンダー上に太字で表示します。

①	条件に該当する最新の録画画像がある月のカレンダーを表示します。

②	表示月を移動します。
③	表示月の中で最新の録画画像がある日にちを選択して表示します。

- 検索条件

フォルダ	検索対象のフォルダを選択してください。 任意でフォルダを選択する場合は、[任意]にチェックマークを入れて、[参照]でフォルダを選択してください。 • 保存先として起動ドライブのProgram Filesのパスを指定した場合、Windows Vista、Windows 7ではOSの仕様(UAC:ユーザーアカウント制御)により、録画した画像は自動的に別フォルダに保存されます。 C:¥Program Files¥Panasonic¥Ncr4にインストールした場合、 Vista、Windows 7の保存先フォルダは C:¥ユーザー¥<ユーザー名>¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files¥Panasonic¥Ncr4¥ncrdataです。 この[AppData]フォルダのパスを直接検索先フォルダとして設定しないでください。
カメラ	検索対象のカメラを選択してください。
日付	日付を指定する場合は、チェックマークを入れて指定する日付を入力してください。
時間	時間帯を指定する場合は、チェックマークを入れて指定する時間を入力してください。
曜日	曜日を指定する場合は、指定する曜日にチェックマークを入れてください。
録画タイプ	録画タイプを指定する場合は、指定する録画タイプにチェックマークを入れてください。
起動タイプ	起動タイプ（タイマー、マニュアル）を指定する場合は、指定する起動タイプにチェックマークを入れてください。
キーワード	チェックマークを入れるとキーワードが有効になります。 録画画像に検索用のキーワードを設定している場合は、キーワードを入力してください。 部分一致：キーワードが含まれる検索用キーワードを検索します。 完全一致：キーワードと完全に一致する検索用キーワードを検索します。 キーワード1/2：検索用キーワード1と検索用キーワード2の両方を検索します。 キーワード1：検索用キーワード1のみ検索します。 キーワード2：検索用キーワード2のみ検索します。

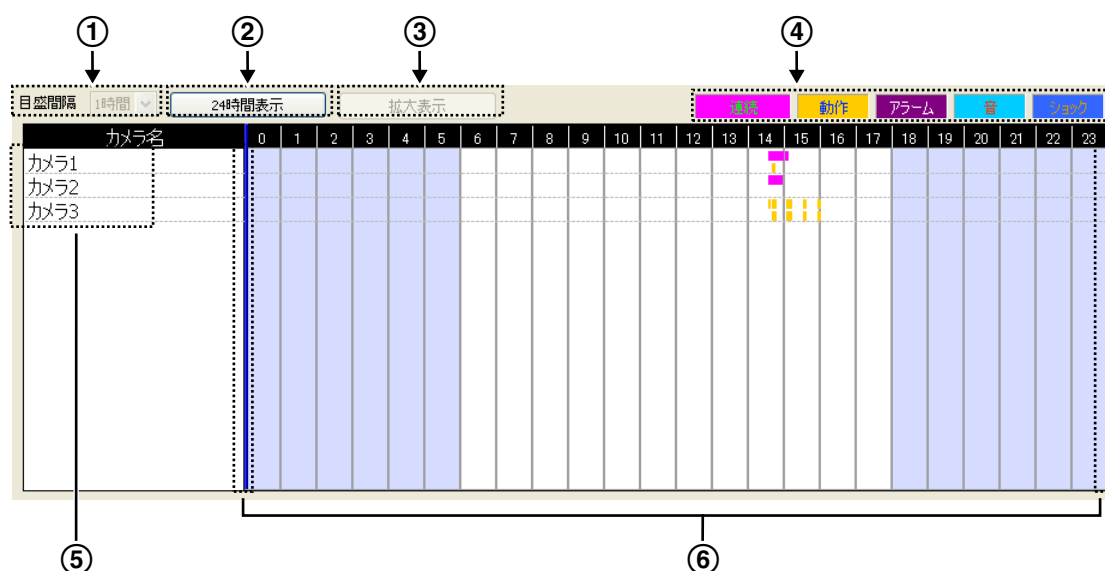
- [検索条件クリア]をクリックすると、検索条件を初期状態に戻します。
  すべての録画画像を検索する場合は、[検索条件クリア]をクリックしてから[検索]ボタンをクリックしてください。
- 表示月を移動すると、同じ条件で検索した結果を表示します。

再生する録画画像がある日にちを選択する

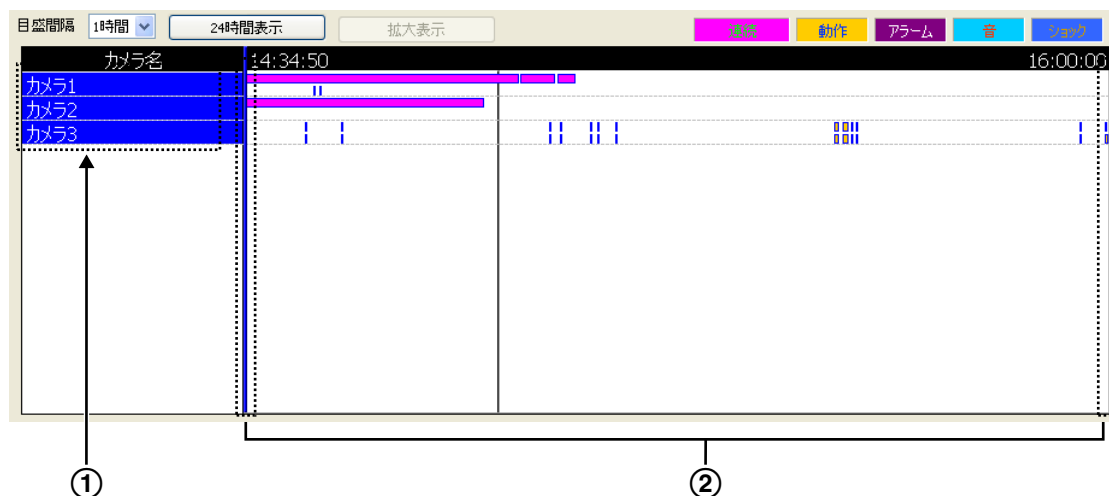
1 カレンダー上で再生する録画画像がある日にちをクリックする

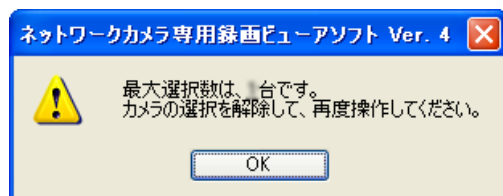
- カレンダー上で太字の日にちをクリックすると、グラフィック録画画像一覧に、その日に録画した録画画像の一覧をカメラごとに表示します。

グラフィック録画画像一覧

グラフィック録画画像一覧には一日単位 (00:00:00から00:00:00の直前)で表示します。

①	再生バーで選択した範囲を拡大表示したときに表示する目盛りの単位を選択します。
②	24時間で表示します。
③	再生バーで選択した範囲を拡大して表示します。
④	録画画像は、録画方法により色分けして表示されます。 録画タイプの色は[環境設定]の[マルチ再生]画面で変更できます。(→ 111 ページ)
⑤	録画画像はカメラごとに表示します。 カメラはカメラ名順に表示されます。 例) 1Fカメラ、2Fカメラ、3Fカメラのようにカメラ名をつけると、この順番に上から表示されます。 タイマー録画で録画した画像は、設定しているタイマー名ごとに表示します。
⑥	**再生バー** 再生開始時刻と再生終了時刻を設定します。

録画画像を再生するカメラを選択する

1 グラフィック録画画像一覧で録画画像を再生するカメラを選択する

①	再生するカメラを選択します。
②	**再生バー** カメラ名をクリックすると、選択したカメラで録画した画像の中で、先頭の画像の再生開始時刻と最後の画像の再生終了時刻に再生バーが移動します。

- カメラは環境設定のマルチ再生で設定している画面数分、選択できます。(→ 111 ページ)
  設定画面数以上のカメラを選択すると、以下の画面を表示します。

再生バーをドラッグして再生する時間を選択する

1 再生バーをドラッグして再生開始時刻と再生終了時刻を設定する

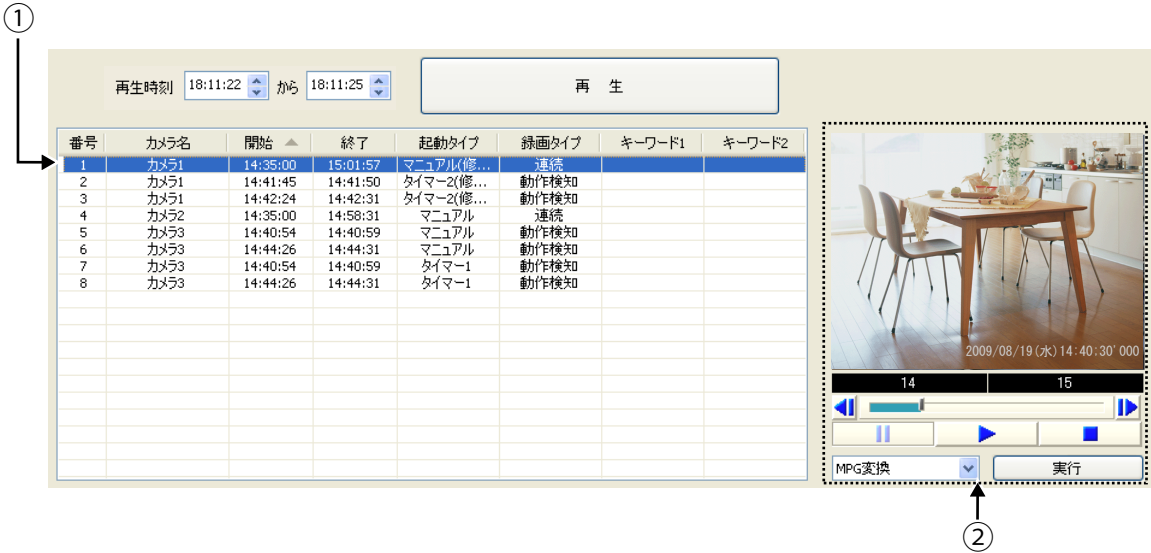
- 再生バーは任意の位置にスライド移動できます。録画画像ごとにジャンプするように移動するには、キーボードの［Shift］キーを押しながら移動してください。

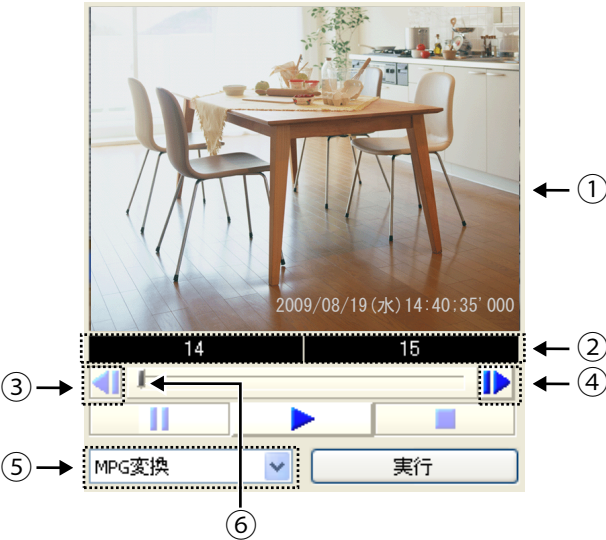
- 再生バーで囲まれた録画画像の一覧を[再生一覧]に表示します。

①	**再生バー/再生時刻** 再生開始時刻と再生終了時刻を設定します。
②	**再生一覧** 再生バーで囲まれた録画画像の一覧を表示します。

2.6.2 再生画面で録画画像を確認する

マルチ再生画面で再生する録画画像を再生画面で確認できます。

1 [再生一覧]で録画画像を選択する

①	確認する録画画像を選択します。 ダブルクリックすると、[再生画面]で再生を開始します。
②	**再生画面** 再生一覧で選択した録画画像の再生開始時刻の静止画像を表示します。

2 [再生画面]で録画画像を確認する

①	**再生画面** 再生一覧で選択した録画画像を再生します。

②	再生する時間帯を1時間単位のボタンで表示します。ボタンをクリックすると指定した時間帯から、録画画像を再生できます。
③	停止位置から1枚前の画像を表示します。
④	停止位置から1枚次の画像を表示します。
⑤	**編集メニュー** 表示している画像を編集します。(→ 114 ページ)
⑥	**スライダーバー** カーソルをドラッグして、再生位置を指定できます。

画像を再生します。

画像再生を停止し、再生位置を先頭に戻します。

再生を一時停止します。停止中は表示が に切り替わります。

- 一時停止した場所から再生を再開するには、 をクリックします。

2.6.3 マルチ再生画面で録画画像を再生する

マルチ再生画面では複数 (最大4台) のカメラで録画した録画画像を同時に再生します。

1 [再生一覧]で録画画像を選択する

①	再生する録画画像を選択します。キーボードの[Shift]または[Ctrl]キーを押しながら選択すると複数選択できます。 [Shift]：連続している複数の録画画像を選択します。 [Ctrl]：連続していない複数の録画画像を選択します。
②	**[再生]ボタン** 再生一覧で選択した録画画像を[マルチ再生]画面で再生します。

2 [再生]をクリックする

- [マルチ再生]画面で録画画像を再生します。(→ 96 ページ)
- 検索画面の[再生一覧]で選択した録画画像をカメラ単位にまとめて、表示枠の左上、右上、左下、右下の順番に表示します。
- 設定時間に録画画像がないカメラの表示枠内は、黒で表示されます。

マルチ再生画面

①	カメラ名を表示します。
②	録画画像を再生します。
③	録画時刻を表示します。
④	マルチ再生画面をフルスクリーンで表示します。(→ 55 ページ)
⑤	ジャンプボタン 再生する時間帯を1時間単位のボタンで表示します。ボタンをクリックすると指定した時間帯から、録画画像を再生できます。

⑥	再生する録画画像を、録画モードにより色分けして表示します。複数の録画モードが重なっている場合はグレーで表示します。 録画タイプの色は[環境設定]の[マルチ再生]画面で変更できます。(→ 111 ページ)
⑦	カーソル 再生を開始する位置を設定します。
⑧	操作パネル(→ 97 ページ)
⑨	マウスをグラフにあわせると、カメラ名を表示します。
⑩	速度スライダーバー 再生速度を調整します。
⑪	再生の音量を調整します。
⑫	再生画像のスナップショットを撮ります。
⑬	表示する目盛りの単位を選択します。

操作パネルについて

(前の検知位置へ)　前の検知箇所を表示します。

(開始時刻へ)　再生開始時刻の画像を表示します。

(一枚戻る)　停止位置から1枚前の画像を表示します。

(逆再生)　画像を逆再生します。

(一時停止)　再生を一時停止します。停止中は表示が に切り替わります。
- 一時停止した場所から再生を再開するには、 をクリックします。

(再生)　画像を再生します。

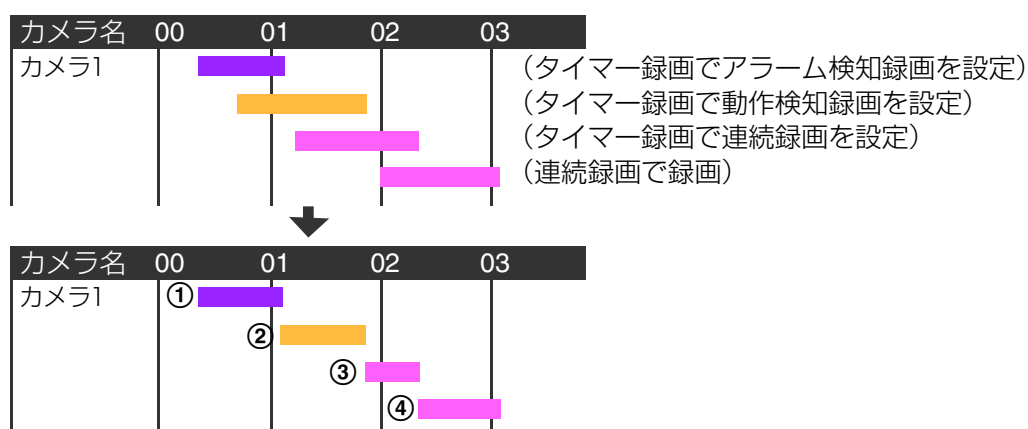
(一枚進む)　停止位置から1枚次の画像を表示します。

(終了時刻へ)　再生終了時刻の画像を表示します。

(次の検知位置へ)　次の検知箇所を表示します。

(停止)　画像再生を停止します。

お知らせ

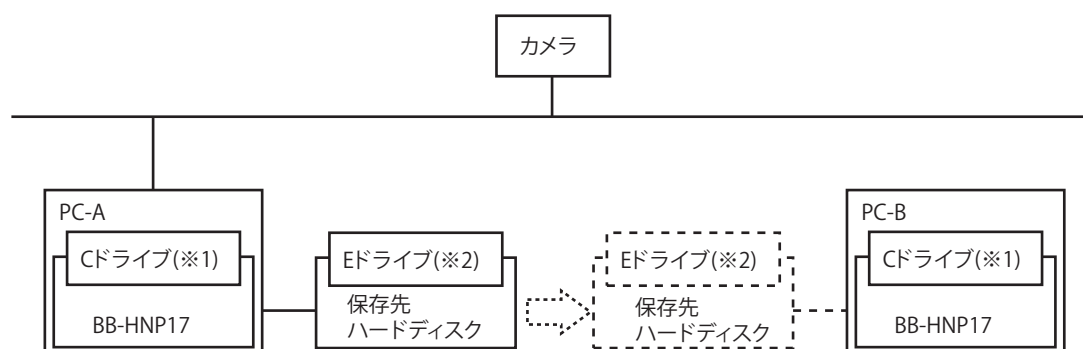
- マルチ再生画面上で画像再生の表示枠をドラッグ＆ドロップすると、順番を入れ替えることができます。(→ 108 ページ)
  ただし、本プログラム再起動後は、もとの表示順序に戻ります。
- カメラ名、録画時刻、フレームレートの表示／非表示、1画面に表示する画面数の設定など、マルチ再生画面のレイアウト設定は、環境設定の[マルチ再生]画面で設定できます。(→ 111 ページ)
- データ形式がMPEG-4/H.264の複数の録画データを同時再生すると、表示の負荷が増大して最大表示能力を超える場合があります。その場合には、その再生フレームレートを 1 枚/秒に自動で変更します。最大表示能力を超えないようにするためには、同時再生する録画データの数を減らしてください。それでも超えてしまう場合にはレイアウトを 1 x 1 に変更して再生してください。
- 録画容量制限を[古い録画画像に上書き録画]に設定している場合、古い録画画像の先頭を削除するため画像が表示されないことがあります。
- 同一のカメラで、同じ時間帯に再生する録画画像が重なっている場合は、録画時刻が早い方から順番に再生します。

①→②→③→④の順番で再生します。

- 再生画面で録画画像を右クリックすると、編集メニューを表示します。
- や をクリックしたとき、カーソルを実際の画像の時刻と合わせるため、ジャンプするような動きをすることがあります。

2.7 ＰＣ本体を変更する

- 本プログラムのVer4.05以降で搭載された機能です。
  （バージョンが古い場合は、Ver4.05以降にバージョンアップすると利用できます）
- 保存先が、USB接続の１台のハードディスクドライブである事が必要です。

構成図

PC-A：今まで本プログラムを使用していたPC
PC-B：これから本プログラムを使用するPC
PC-Aの保存先：外付けUSBハードディスクを使用し、Ｅドライブに割り当て（E:\ncrdata）

PC-Aでの操作手順

1 本プログラムを終了させる。(→ 10 ページ)

2 本プログラムをアンインストールする

3 Windowsをシャットダウンする

4 LANケーブルを抜き、ネットワークからはずす

5 保存先ハードディスクをはずす

PC-Bでの操作手順

1 LANケーブルを挿し、ネットワークに接続する

2 Windowsを起動する

3 保存先ハードディスクを接続し、Ｅドライブに割り当てる

4 本プログラムをインストールする

*1 本プログラムのインストール先はPC-AとPC-Bで同じドライブ、フォルダとしてください。（この例ではCドライブ）

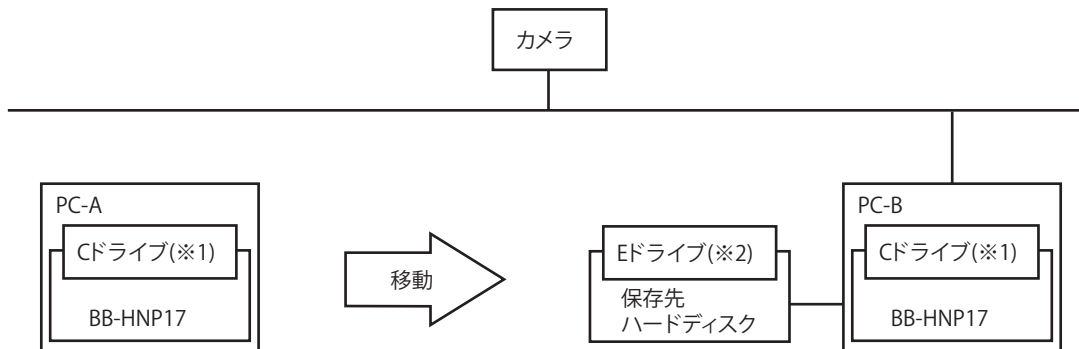
*2 保存先ハードディスクのドライブレターはPC-AとPC-Bで同じとなるように設定ください。（この例ではEドライブ）

5 本プログラムを起動する

6 保存先をE:\ncrdataに設定する

- 以前のPC-Aの設定をそのまま使う時はカメラ登録をしないでください。

7 ハードディスク内の保存先フォルダにある設定ファイルをインポートするダイアログが表示されるので「はい」を押すと自動的にカメラ情報、録画情報が取り込まれたあと本プログラムが自動で再起動し、インポートが完了します

8 PC-Bにて再生する（→ 87 ページ）

*1 本プログラムのインストール先はPC-AとPC-Bで同じドライブ、フォルダとしてください。（この例ではCドライブ）

*2 保存先ハードディスクのドライブレターはPC-AとPC-Bで同じとなるように設定ください。（この例ではEドライブ）

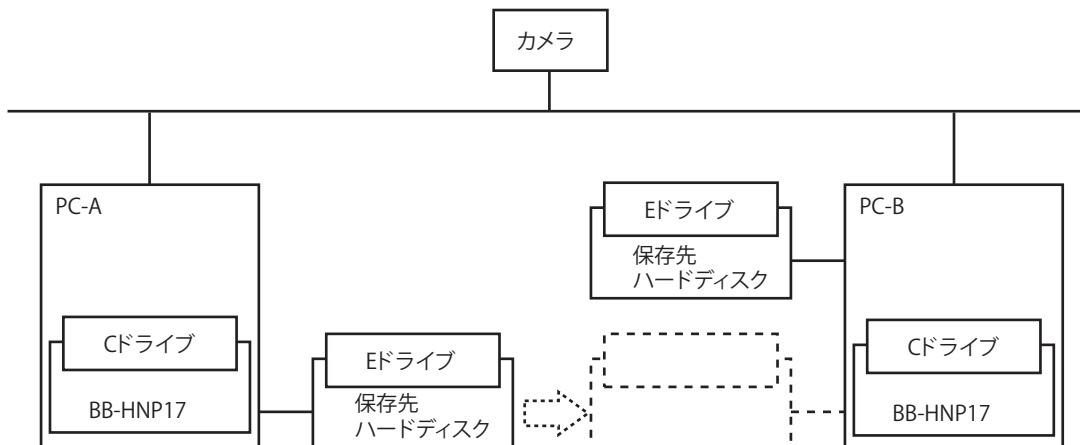
お知らせ

- PC-Aのハードディスクを外すときは、必ず本プログラムを終了させたあとに外してください。
- PC-AおよびPC-Bの本プログラムとも、Ver4.05以降のバージョンを使用してください。
- PC-Aの設定を取り込まなかった場合、検索結果のカメラ名が正しく表示されない場合があります。
- 保存先ハードディスクが複数ある場合には対応していません。

2.8 保存した録画データを、別のPCで再生する

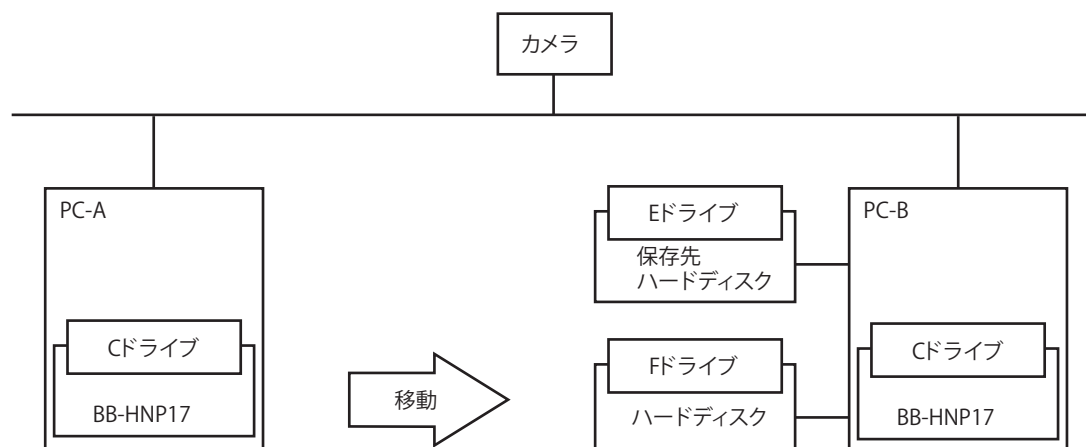
- 本プログラムのVer4.05以降で搭載された機能です。
  (バージョンが古い場合は、Ver4.05以降にバージョンアップすると利用できます)
- 保存先が、USB接続の１台のハードディスクドライブである事が必要です。
- PCを変えるのは前項と同じですが、PC-AおよびPC-Bの保存先は同じフォルダにしないでください。
  またPC-Bではハードディスクの再生のみを行い、ハードディスクに追加録画は決して行わないでください。

構成図

本プログラム（4.05以上）をインストールしたPCを2台用意します。
2台分の本プログラムのライセンスが必要です。
PC-A：録画用ＰＣ
PC-B：再生用ＰＣ
PC-Aの保存先：外付けUSBハードディスクを使用し、Ｅドライブに割り当て（E:\ncrdata）
PC-Bの保存先：外付けUSBハードディスクを使用し、Ｅドライブに割り当て（E:\ncrdata）

PC-Aでの操作手順

1 PC-Aで録画する
- 保存先ハードディスクに録画されます。

2 本プログラムを終了させる。(→ 10 ページ)

3 PC-Aの保存先ハードディスクをはずし、PC-Bに接続する

PC-Bでの操作手順

1 本プログラムを起動する

2 PC-Bにて再生する（→ 87 ページ）

- 検索画面の検索条件のフォルダにて任意フォルダを選択し、F:\ncrdataを指定して検索、再生します。

お知らせ

- PC-Aのハードディスクをはずすときは、必ず本プログラムを終了させたあとに外してください。
- PC-AおよびPC-Bの本プログラムとも、Ver4.05以降のバージョンを使用してください。
- PC-Bでは移動したハードディスクを保存先に設定し録画しないでください。ハードディスクをPC-Aに戻したとき再生できなくなります。
- PC-Bの保存先がEドライブのハードディスクだった場合、そのハードディスクを外してPC-Aのハードディスクを接続すると、同じEドライブとなり、保存先となってしまいます。PC-Bで保存先として使用しているハードディスクは決して外さず、PC-Aから移動してきたハードディスクを接続してください。

3 応用機能

3.1 各種画面を操作する

3.1.1 カメラを選択する

マルチモニタリング画面上で、クリックするとカメラが選択されます。本プログラムでは選択したカメラを選択カメラといいます。
本プログラム起動時には、先頭に登録されているカメラが選択カメラになります。

①	選択カメラ 緑枠で表示されます。
②	画面上で右クリックするとメニューを表示します。

お知らせ

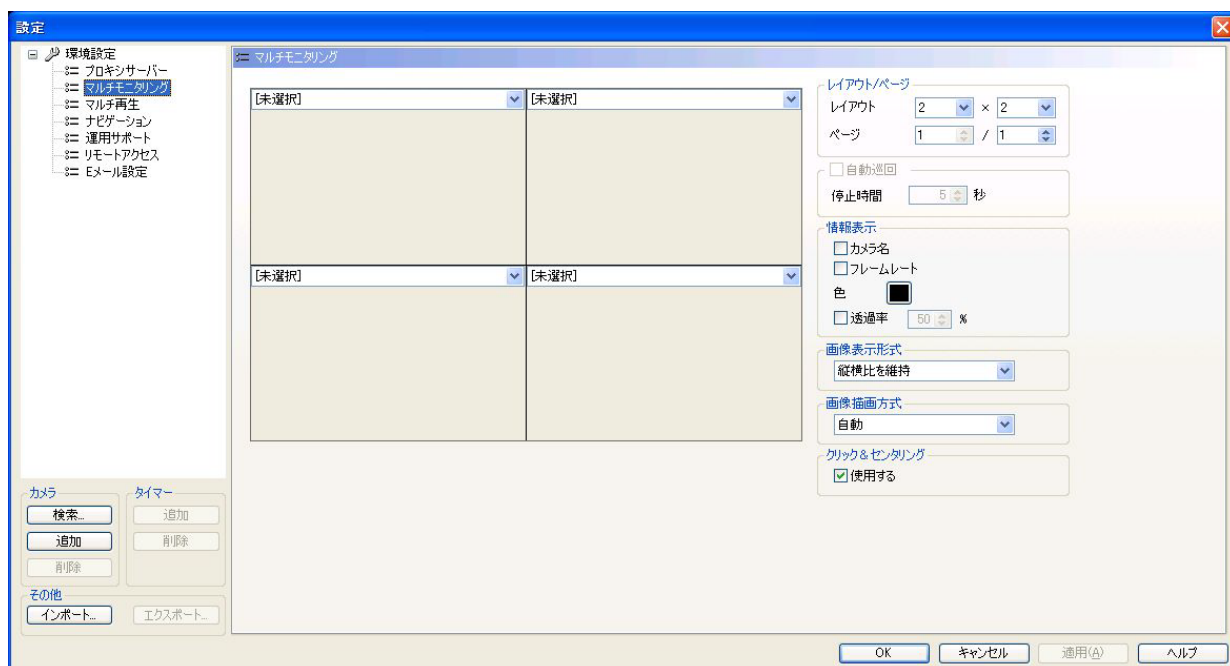
- 表示ページが複数ページある場合は、ページを移動すると選択位置は左上に移動します。

3.1.2 マルチモニタリング画面を設定する

マルチモニタリング画面のレイアウトを設定します。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

2 [マルチモニタリング]画面で各設定を行い[OK] をクリックする

マルチモニタリング画面

設定項目	設定内容
レイアウト	1画面に表示するカメラの台数を[行]×[列]で設定します。 最大16台のカメラの画像を同時表示して、モニタリングすることができます。レイアウト（行×列）は16以下で設定してください。 レイアウトは一部を拡大して表示することもできます。(→ 106 ページ)
ページ	登録しているカメラの数が、1画面に表示するカメラの台数より多い場合は、登録台数に応じてページを追加します。 最大ページ数は128／(行×列)です。 複数ページある場合は、レイアウトを設定するページを指定してください。
自動巡回	表示ページが複数ページある場合は、チェックマークを入れると、指定した秒数ごとにページを自動で巡回します。(→ 107 ページ) (1秒～60秒　工場出荷値は5秒) マルチモニタリング画面で、環境設定で設定しているレイアウト(をクリック)を使用しているときのみ有効です。
カメラ名／フレームレート	チェックマークを入れると、カメラ名やフレームレートをマルチモニタリング画面に表示します。 また表示する文字の色を設定できます。(→ 105 ページ)

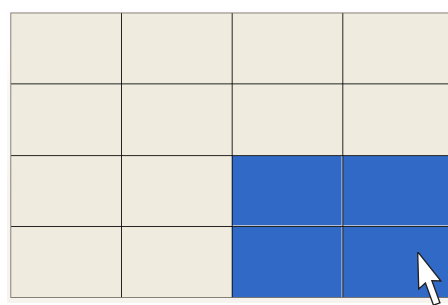
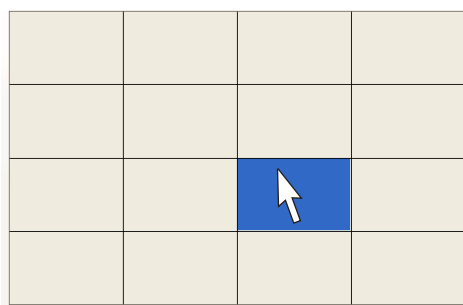
<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定内容</th></tr>
<tr><td>透過率</td><td>マルチモニタリング画面に表示する画像情報 (カメラ名、フレームレート、動作検知バー、録画アイコン) の透明度を指定できます。(50%：工場出荷値)
チェックマークなしのときの透過率は0%です。
画像描画方式が[GDI]のときだけ使用することができます。

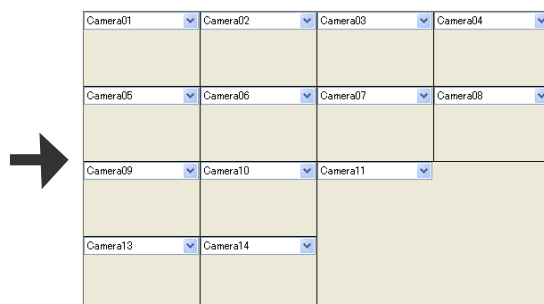
<u>お知らせ</u>
• DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラの動作検知設定で[カメラ側で動作検知]を選択しているときは、マルチモニタリング画面に動作検知バーは表示されません。</td></tr>
<tr><td>画像表示形式</td><td>表示するカメラの画像の縦横比を設定します。
縦横比を維持(工場出荷値)：カメラ画像の縦横比で表示します。
等倍表示：実画像の縦横比で表示枠にセンタリングして表示します。
表示領域にフィット：表示領域にあわせて表示します。キーボードで、CTRL+0で縦横比を維持、CTRL+1で等倍表示、CTRL+2で表示領域にフィットに変更できます。</td></tr>
<tr><td>画像描画方式</td><td>画像の描画方式を指定します。
自動（工場出荷値）：まずDirectX-Graphicsで表示を試み、表示に失敗したら次はDirectDrawで表示を試み、表示に失敗したらGDIで表示します。
DirectX-Graphics：DirectX-Graphics固定で表示します。
DirectDraw：DirectDraw固定で表示します。
GDI：GDI固定で表示します。</td></tr>
<tr><td>クリック&センタリング</td><td>クリック&センタリング機能を使用する／しないを選択できます。機能を使用しない場合はチェックマークをはずしてください。</td></tr>
</table>

色を変更する

カメラ名、フレームレートの文字の色を変更する場合は、[色]をクリックして表示される[色の設定]画面で変更する色を選択して、[OK]ボタンをクリックしてください。

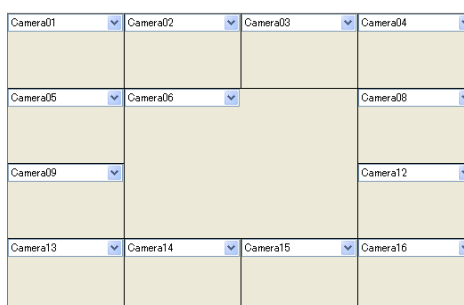
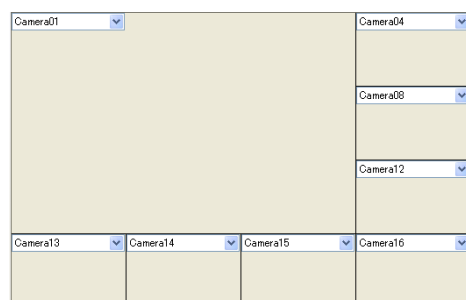
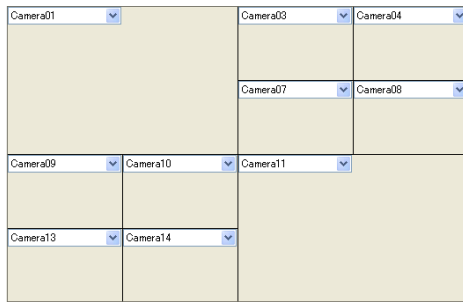
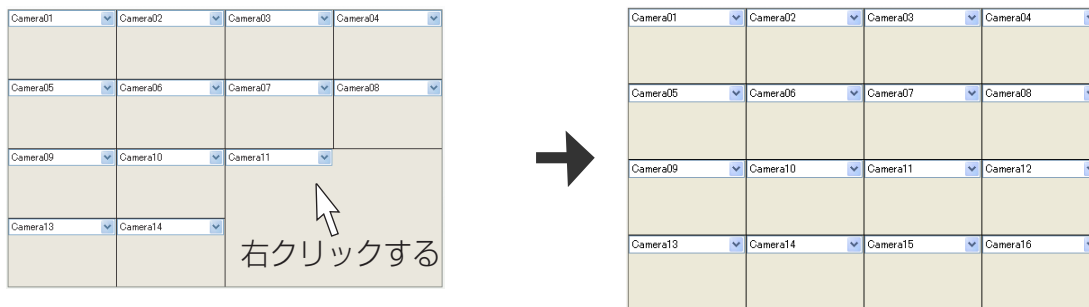
カメラ画像の表示枠を拡大する

縦横比が同じであれば、カメラの表示枠を拡大して表示することができます。

1. 拡大表示するカメラの表示枠をマウスでクリックする
   - 選択したカメラの表示枠内の色が青に変わります。

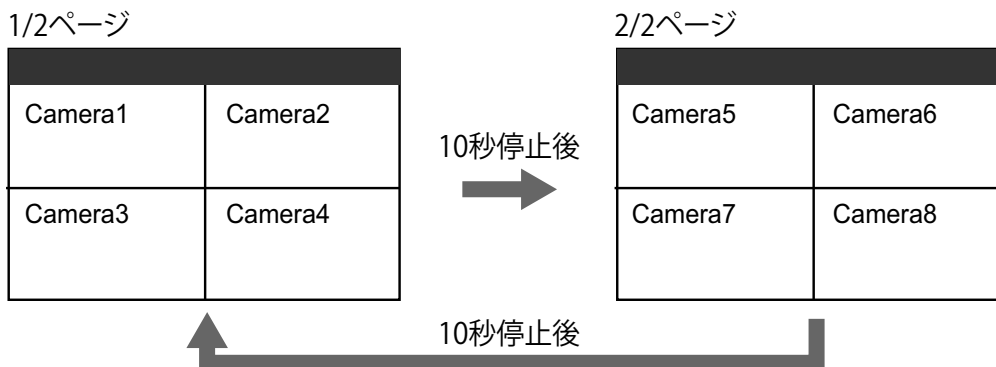
2. ドラッグ (マウスの左ボタンを押しながら移動) する
   - 同じ縦横比で選択枠が広がります。

3. ドロップ (マウスの左ボタンを離す) する
   - カメラの表示枠が広がります。

マルチモニタリング画面

マルチモニタリング画面に切り替えると表示枠を変更したカメラの画像を、拡大して表示します。

拡大表示例

拡大した画像の上で右クリックをすると、もとの大きさに戻ります。

自動巡回する

マルチモニタリング画面で表示ページが複数ある場合、[マルチモニタリング]画面の[自動巡回]にチェックマークを入れると、設定した秒数ごとにページ表示を自動で切り替えます。

例）表示ページが2ページ（停止時間10秒）の場合

お知らせ

- 巡回中にシングルモニタリング画面に切り替えると、巡回を停止します。
  をクリックして、環境設定で設定しているレイアウトのマルチモニタリング画面に戻ると、自動巡回を再開します。

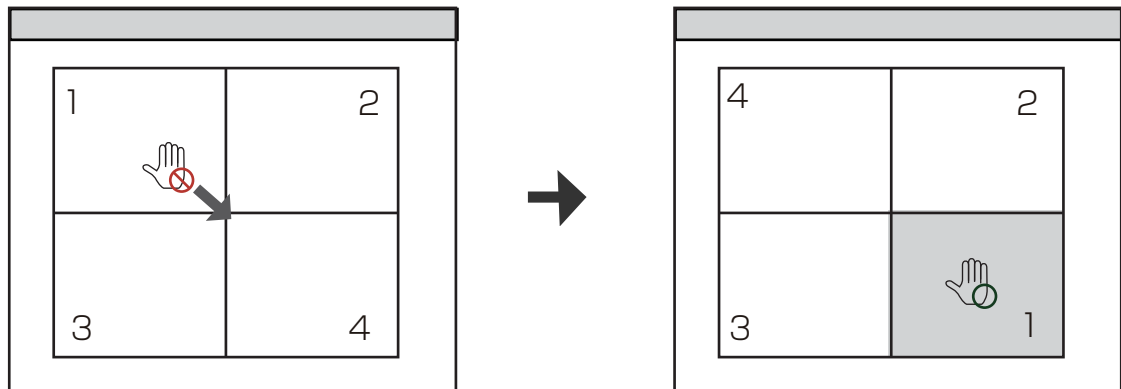
カメラ名、フレームレートの表示

設定したカメラ名やフレームレートをマルチモニタリング画面上に表示します。
カメラ名、フレームレートの表示／非表示、文字の色、文字の透明度は環境設定の[マルチモニタリング]設定で設定します。(→ 103 ページ)

①	登録したカメラ名を表示します。
②	フレームレート(画面更新間隔) を表示します。

カメラ画像の表示順序を入れ替える

マルチモニタリング画面上で、カメラ画像の表示順序の入れ替えができます。

1. カメラの画像を選択してドラッグする(マウスの左ボタンを押しながら移動)
   - マウスアイコンが に変わります。
2. 画像を入れ替えたい場所でドロップ する (マウスの左ボタンをはなす)
   - アイコン表示が に変わった箇所で左ボタンを離してください。(移動可能な領域でアイコンは に変わります。)
   - 画像が入れ替ります。

お知らせ

- 表示ページが複数ある場合は、[PageDown]キーと[PageUp]キーでページを移動します。
  選択した画像を次ページのカメラ画像と入れ替える場合は、ドラッグした状態で[PageDown]キー(次ページの画像と入れ替え)、または[PageUp]キー(前ページの画像と入れ替え)を押して、入れ替えるカメラ画像の場所でドロップしてください。
- プログラム再起動後は、入れ替えた順序で表示します。
- マルチ再生画面でも、同様に再生画像の表示順序の入れ替えができます。

画面全体を移動、リサイズする

本プログラムの画面全体を移動、リサイズすることができます。
マルチモニタリング画面／マルチ再生画面上でカーソルはカメラの画面およびボタン以外の箇所では で表示されます。カーソルが に変わる箇所でドラッグ(マウスの左ボタンを押しながら移動)すると画面全体を移動できます。また、画面の外枠ではカーソルが矢印表示されます。そのままドラッグすると画面をリサイズできます。

例）マルチモニタリング画面の移動、リサイズ

お知らせ

- 画面を移動すると、画面の端が切れて表示されます。
- 移動した画面を元の位置に戻す、あるいはサイズを元に戻すにはカーソルが に変わる箇所でダブルクリックしてください。

3.1.3 再生音量を設定する

マルチモニタリング画面およびマルチ再生画面の音声再生／ミュート (音声再生停止)、音量調整は、メニューボタンの およびスライダーバーで行います。

お知らせ

- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラは一部仕様が異なります。詳細は157 ページを参照してください。

音声を再生する

をクリックして表示されるメニューで[選択カメラから受話開始]を選択する

- が に切り替わります。
- 選択したカメラの音声出力を開始します。
- すべてのカメラの音声出力を開始するときには、[モニタリング中のすべてのカメラから受話開始] を選択します。

音声再生を停止する (ミュートする)

をクリックして表示されるメニューで[選択カメラから受話停止]を選択する

- が に切り替わります。
- 選択したカメラの音声出力を停止します。
- すべてのカメラの音声出力を停止するときには、[モニタリング中のすべてのカメラから受話停止] を選択します。

再生音量を調整する

音量はスライダーで調整します。

3.1.4 マルチ再生画面を設定する

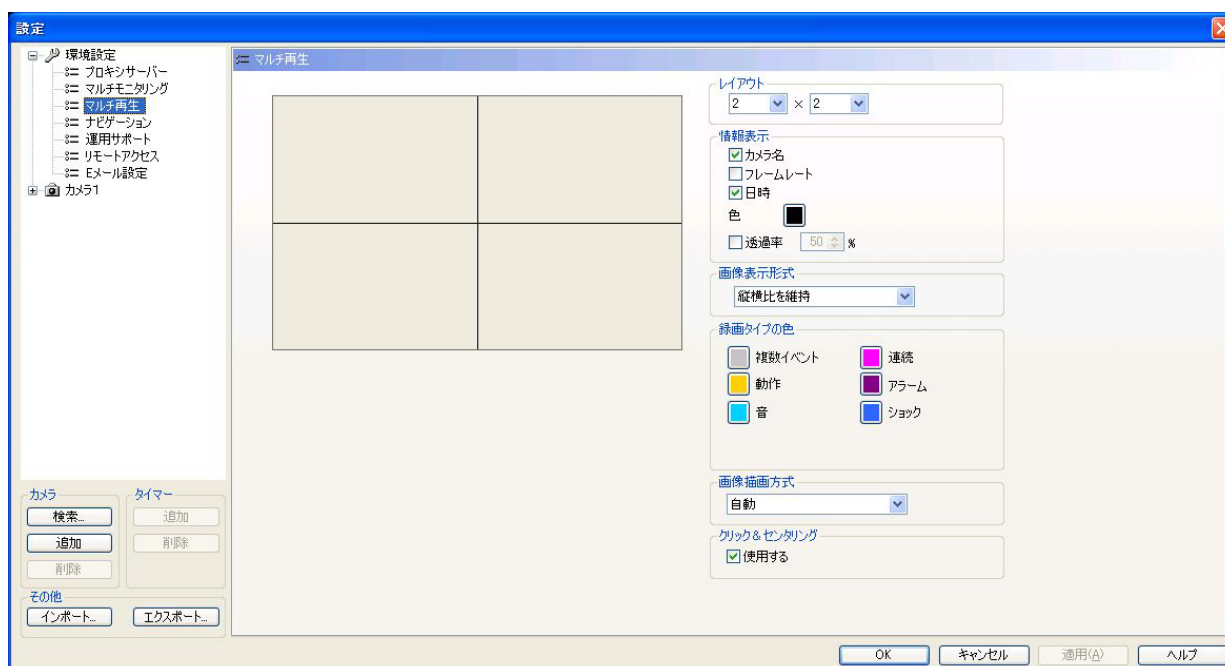
マルチ再生画面のレイアウトを設定します。

1 をクリックする

- マルチ再生画面が表示されます。(→ 60 ページ)

2 をクリックする

3 各設定を行い [OK] をクリックする

マルチ再生画面

設定項目	設定内容
レイアウト	1画面で再生するカメラの数を設定します。 [1×1、1×2、2×1、2×2 (工場出荷値)]
カメラ名／フレームレート／日時	チェックマークを入れると、カメラ名やフレームレート、日時をマルチ再生画面に表示します。
色	マルチ再生画面に表示する画像情報 (カメラ名、フレームレート、日時)の文字の色を設定します。(→ 105 ページ)
透過率	チェックマークを入れると、マルチ再生画面に表示する画像情報 (カメラ名、フレームレート、日時) の文字の透明度を設定できます。 (50%：工場出荷値) チェックマークなしのときの透過率は0%です。 画像描画方式が[GDI]のときだけ使用することができます。
画像表示形式	表示するカメラの画像の縦横比を設定します。 縦横比を維持(工場出荷値)：カメラ画像の縦横比で表示します。 等倍表示：実画像の縦横比で表示枠にセンタリングして表示します。 表示領域にフィット：表示領域にあわせて表示します。キーボードで、CTRL+0で縦横比を維持、CTRL+1で等倍表示、CTRL+2で表示領域にフィットに変更できます。
録画タイプの色	録画タイプの色を変更できます。色を変更する場合は、[色]をクリックして表示される[色の設定]画面で変更する色を選択して、[OK]ボタンをクリックしてください。(→ 105 ページ)

設定項目	設定内容
画像描画方式	画像の描画方式を指定します。 自動（工場出荷値）：まずDirectX-Graphicsで表示を試み、表示に失敗したら次はDirectDrawで表示を試み、表示に失敗したらGDIで表示します。 DirectX-Graphics：DirectX-Graphics固定で表示します。 DirectDraw：DirectDraw固定で表示します。 GDI：GDI固定で表示します。
クリック&センタリング	クリック&センタリング機能を使用する／しないを選択できます。機能を使用しない場合はチェックマークをはずしてください。

マルチ再生画面の表示順序を入れ替える (2画面、4画面表示のときのみ)

マルチ再生画面上で画像をドラッグして、入れ替える画像の位置でドロップすると再生画像の表示順序を入れ替えることができます。
表示順序の入れ替えかたは、マルチモニタリング画面での表示順序の入れ替え方と同じです。(→ 108 ページ)

お知らせ

- マルチ再生画面上で表示順序を入れ替えた画像は、本プログラム再起動後は、もとの表示順序に戻ります。

3.2 録画画像を編集する

録画画像の編集は、検索画面の[再生画面]で行います。
[再生画面]では、以下の操作ができます。

- 再生 (→ 94 ページ)
- 録画画像のファイル変換 (MPG／JPG／WAV／ASF／AVI変換) (→ 115 ページ)
- 録画画像の複製／削除 (→ 125 ページ、127 ページ)
- 録画画像のキーワード変更 (→ 128 ページ)
- 表示画像をクリップボードへコピー (→ 129 ページ)
- 表示画像のスナップショットをとる (→ 129 ページ)
- 録画情報の表示 (→ 131 ページ)

1 マルチ再生画面で をクリックする

2 編集する録画画像を検索する (→ 88 ページ、91 ページ)

3 [グラフィック録画画像一覧]で録画画像を編集するカメラを選択する
- [再生一覧]に選択したカメラの録画画像の一覧が表示されます。

4 [再生一覧]で録画画像を選択する
- 選択した録画画像の再生開始時刻の静止画を再生画面に表示します。

5 [再生画面]で録画画像を編集する

①	**再生一覧** 選択カメラと再生バーで囲まれた時間帯の録画画像の一覧を表示します。
②	**再生画面** 再生一覧で選択した録画画像を表示／編集します。 • [再生一覧]で変換する録画画像を選択して右クリックでも編集メニューが表示されます。(クリップボードへコピー、スナップショットは表示されません)

3.2.1 録画画像のファイル形式を変換する

録画画像のファイル形式はMPG/JPG/WAV/ASF/AVIファイルに変換できます。

お知らせ

- MPG/ASF/AVIファイル変換では多くのメモリーを使用する場合があります。そのためパソコンのメモリー容量が足りない場合や他のアプリケーションを起動している場合などメモリー不足となりファイル変換ができない場合があります。
- ファイル変換を実行するとCPUの負荷が上がり、フレームレートが低下するなど録画に影響を及ぼすことがあります。
  ファイル変換は、録画を停止させた状態で実行してください。

録画画像をMPG/WAV/ASF/AVIファイルに変換する

1つの録画画像を変換する

1 [再生一覧]で変換する録画画像を選択する

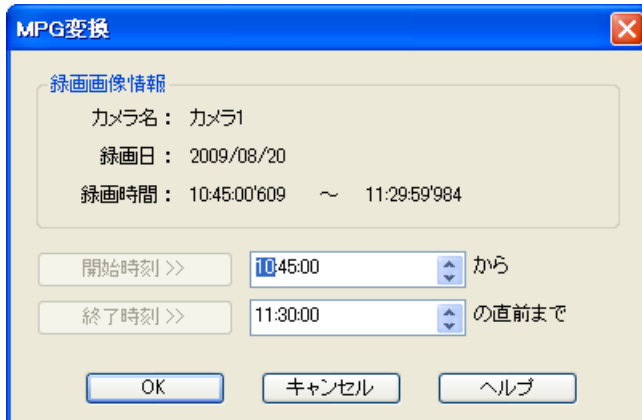
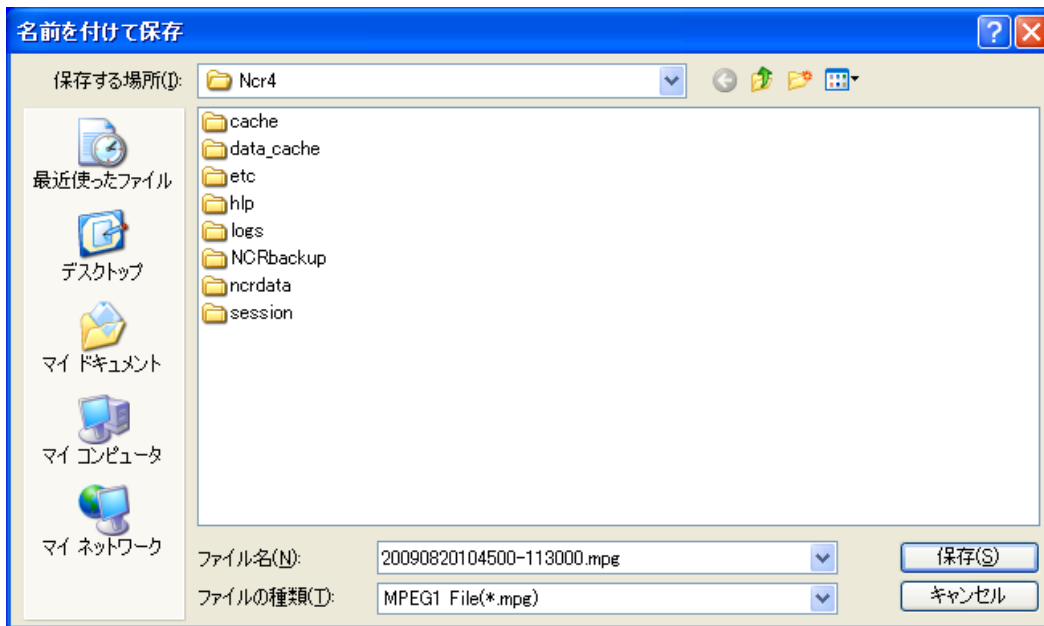
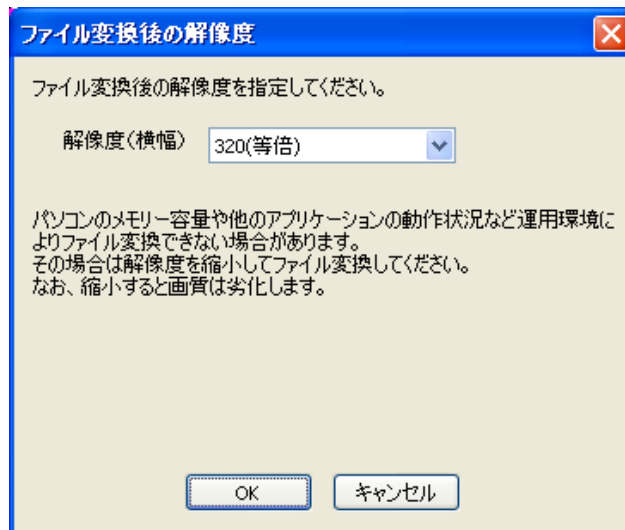
- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。

2 編集メニューで変換するファイル形式を選択して[実行]をクリックする

①	クリックすると編集メニューを表示します。

3 時間を指定して変換する場合は、開始時刻、終了時刻を指定して[OK]をクリックする

- 時刻を指定しなければ、指定した録画画像すべてを変換します。

例) MPGファイル変換を選択した場合

- [名前を付けて保存]画面を表示します。

4 保存先フォルダを選択し、ファイル名を設定して[保存(S)]をクリックする

5 ファイル変換後の解像度を選択して[OK]をクリックする

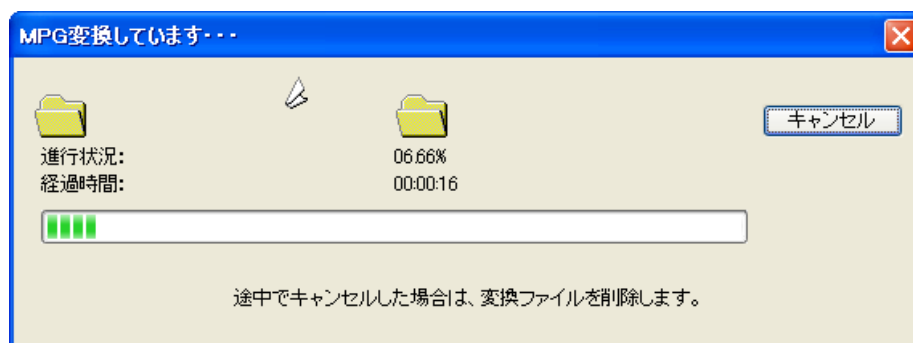
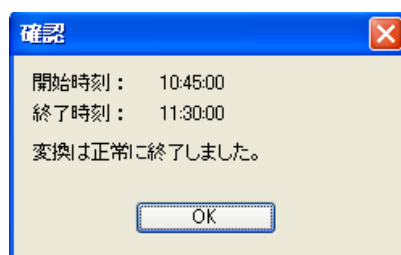
解像度（横幅）

等倍： 変換前の解像度と同じ解像度で変換します。

縮小： 変換前の解像度より小さい解像度で変換します。

お知らせ

- リストに表示される解像度は変換前の解像度により異なります。
- パソコンのメモリー容量や他のアプリケーションの動作状況など運用環境によりファイル変換できない場合があります。その場合は解像度を縮小してファイル変換してください。
- 解像度を縮小すると画質は劣化します。

- 変換を開始します。

- 変換が正常に終了すると、以下の画面を表示します。

お知らせ

- ファイル名はデフォルトで開始時刻、終了時刻で設定します。
- 同名のファイルがある場合は、上書き確認画面を表示します。
  上書きする場合は[はい]、上書きしない場合は[いいえ]をクリックして保存するファイル名を変更してください。
- 拡張子は変換したファイル形式 (mpg、wav、asf、avi) になります。
- 変換した画像はWindows Media Player (バージョン9.0以降) で再生できます。
- 途中でキャンセルした場合は、キャンセルした時点までの変換ファイルは保存されません。
- 3秒以下の録画画像ファイルは変換できません。
- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラの録画画像をMPG/ASF/AVIファイルに変換する場合、変換後の解像度が変更される場合があります。(→ 161 ページ)
- 長時間の録画画像をファイル変換する場合、変換後のファイルが自動的に分割される場合があります。
  MPG/ASF/AVIファイル変換のとき
  - 解像度が1280x720以上のときは、30分ごとに分割されます。
  - 上記以外のときは、120分ごとに分割されます。

  WAVファイル変換のとき
  - 120分ごとに分割されます。

  ファイルが分割された場合は、ファイル名のあとに_XXXを付けて保存します。XXXは001～999の3桁の半角数字です。

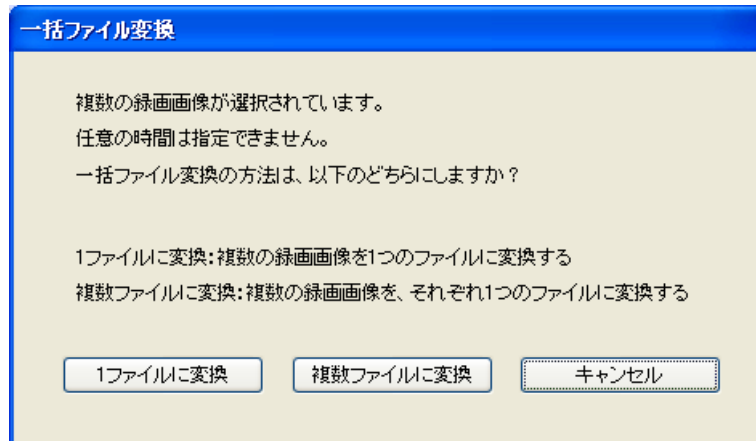
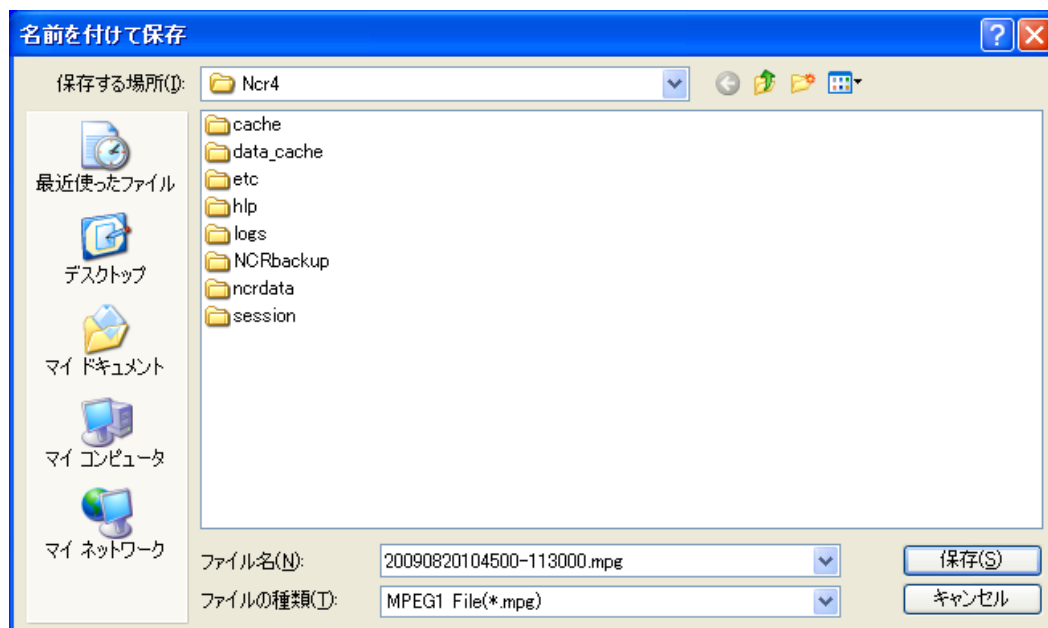
複数の録画画像を1ファイルに変換する

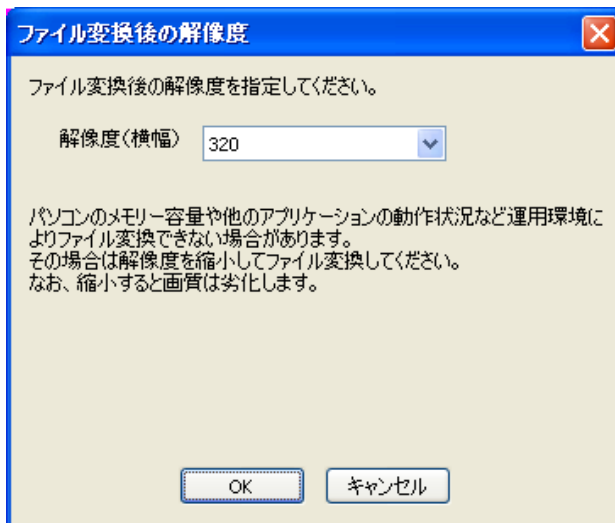
1 [再生一覧]で変換する録画画像を選択する

- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。
- 複数ファイルを選択するには、キーボードの[Shift]または[Ctrl]キーを押しながら選択してください。
  [Shift]：連続している複数の録画画像を選択します。
  [Ctrl]：連続していない複数の録画画像を選択します。

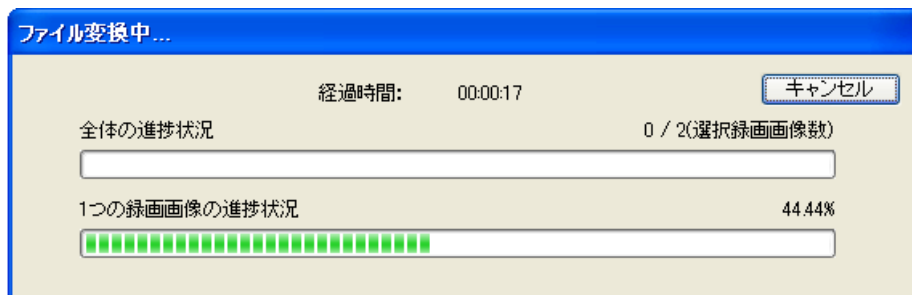
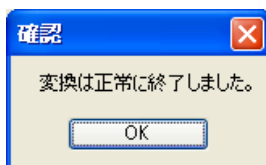
2 編集メニューで変換するファイル形式を選択して[実行]をクリックする

①	クリックすると編集メニューを表示します。

3 [1ファイルに変換]をクリックする

- [名前を付けて保存]画面を表示します。

4 保存先フォルダを選択し、ファイル名を設定して[保存(S)]をクリックする

5 ファイル変換後の解像度を選択して[OK]をクリックする

お知らせ

- リストに表示される解像度は変換前の解像度により異なります。
- パソコンのメモリー容量や他のアプリケーションの動作状況など運用環境によりファイル変換できない場合があります。その場合は解像度を縮小してファイル変換してください。
- 解像度を縮小すると画質は劣化します。

- 変換を開始します。

- 変換が正常に終了すると、以下の画面を表示します。

お知らせ

- ファイル名はデフォルトで先頭画像の開始時刻、終了時刻+1秒で設定します。
- 同名のファイルがある場合は、上書き確認画面を表示します。
  上書きする場合は[はい]、上書きしない場合は[いいえ]をクリックして保存するファイル名を変更してください。
- 拡張子は変換したファイル形式 (mpg、wav、asf、avi) になります。
- 変換した画像はWindows Media Player (バージョン9.0以降) で再生できます。

- 途中でキャンセルした場合は、キャンセルした時点までの変換ファイルは保存されません。
- 3秒以下の録画画像ファイルは変換できません。
- 長時間の録画画像をファイル変換する場合、変換後のファイルが自動的に分割される場合があります。
  MPG/ASF/AVIファイル変換のとき
  - 解像度が1280x720以上のときは、30分ごとに分割されます。
  - 上記以外のときは、120分ごとに分割されます。

  WAVファイル変換のとき
  - 120分ごとに分割されます。

  ファイルが分割された場合は、ファイル名のあとに_XXXを付けて保存します。XXXは001～999の3桁の半角数字です。

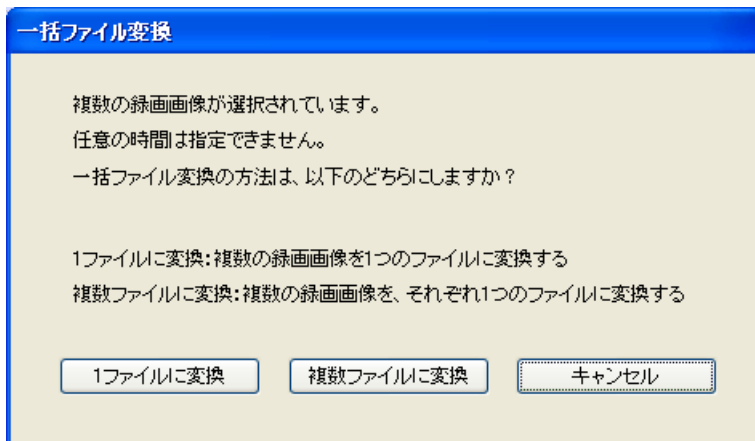
複数の録画画像を複数ファイルに変換する

1 [再生一覧]で変換する録画画像を選択する

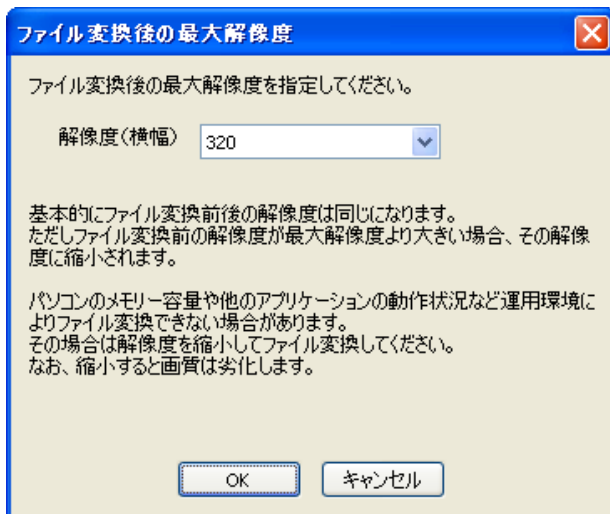
- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。
- 複数ファイルを選択するには、キーボードの[Shift]または[Ctrl]キーを押しながら選択してください。
  [Shift]：連続している複数の録画画像を選択します。
  [Ctrl]：連続していない複数の録画画像を選択します。

2 編集メニューで変換するファイル形式を選択して[実行]をクリックする

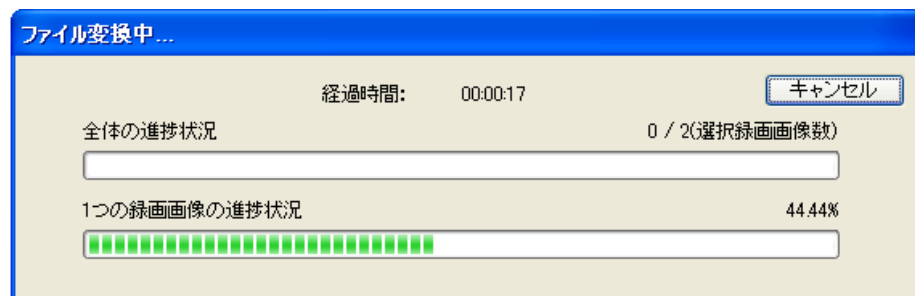
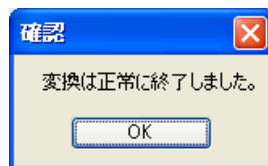
①	クリックすると編集メニューを表示します。

3 [複数ファイルに変換]をクリックする

- [フォルダの参照]画面を表示します。

4 保存先フォルダを選択して、[OK]をクリックする

5 ファイル変換後の最大解像度を選択して[OK]をクリックする

お知らせ

- リストに表示される解像度は変換前の解像度により異なります。
- 基本的にファイル変換前後の解像度は同じになります。ただしファイル変換前の解像度が最大解像度より大きい場合、その解像度に縮小されます。
- パソコンのメモリー容量や他のアプリケーションの動作状況など運用環境によりファイル変換できない場合があります。その場合は解像度を縮小してファイル変換してください。
- 解像度を縮小すると画質は劣化します。

• 変換を開始します。

• 変換が正常に終了すると、以下の画面を表示します。

お知らせ

- ファイル名は各々選択した画像の開始時刻、終了時刻+1秒で設定します。
- 同名のファイルがある場合は、ファイル名のあとに_XXXを付けて保存します。XXXは001～999の3桁の半角数字です。
- 拡張子は変換したファイル形式 (mpg、wav、asf、avi) になります。
- 変換した画像はWindows Media Player (バージョン9.0以降) で再生できます。
- 途中でキャンセルした場合は、キャンセルした時点までの変換ファイルを保存します。
- 3秒以下の録画画像ファイルは変換できません。
- 長時間の録画画像をファイル変換する場合、変換後のファイルが自動的に分割される場合があります。MPG/ASF/AVIファイル変換のとき
  – 解像度が1280x720以上のときは、30分ごとに分割されます。
  – 上記以外のときは、120分ごとに分割されます。

  WAVファイル変換のとき
  – 120分ごとに分割されます。

  ファイルが分割された場合は、ファイル名のあとに_XXXを付けて保存します。XXXは001～999の3桁の半角数字です。

録画画像をJPEGファイルに変換する

1つの録画画像を変換する

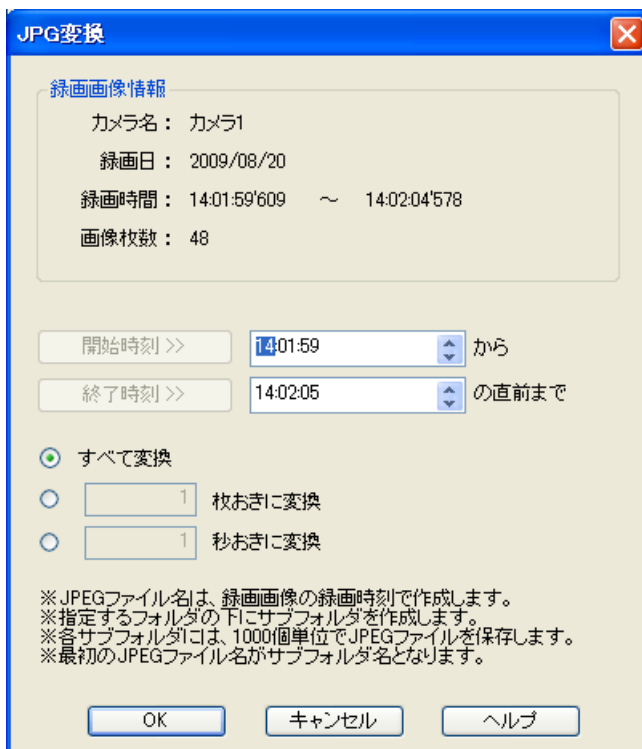
1 [再生一覧]で変換する録画画像を選択する

- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。

2 編集メニューでJPG変換を選択して[実行]をクリックする

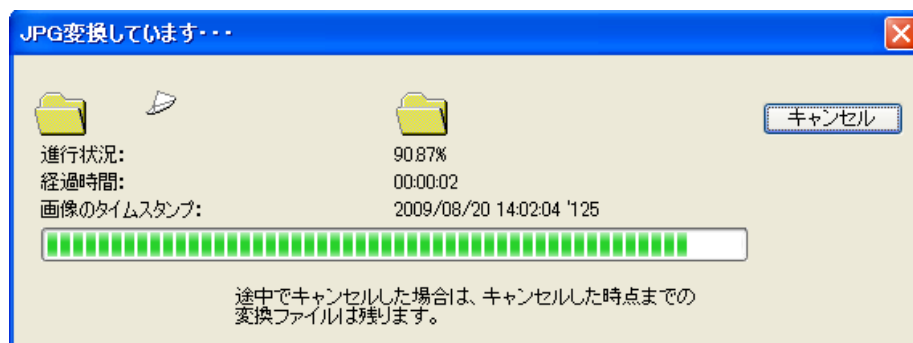
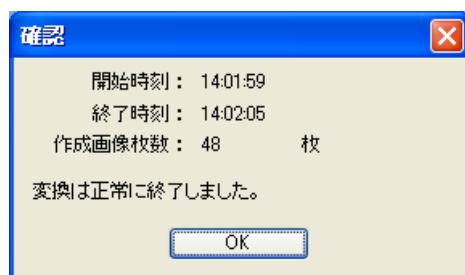
3 時間を指定して変換する場合は、開始時刻、終了時刻を指定する

- 時刻を指定しなければ、指定した録画画像すべてをJPEGファイルに変換します。

4 変換する画像枚数、または秒数を指定する

5 [OK]をクリックする

- フォルダの参照画面を表示します。

6 JPEGファイルの保存先フォルダを選択して、[OK]をクリックする

- JPG変換を開始します。

- JPG変換が正常に終了すると以下の画面を表示します。

複数の録画画像を変換する

[録画画像をMPG/WAV/ASF/AVIファイルに変換する]と操作手順は同じです。
121 ページを参照してください。

お知らせ

- 複数の録画画像をJPG変換する場合、[1ファイルに変換]はできません。
- JPEGに変換した画像は、指定したフォルダの下にフォルダを作成し(フォルダ名は録画開始時刻を使用)、JPEGファイルを1000個単位で保存します。
- 途中でキャンセルした場合は、キャンセルした時点までの変換画像を保存します。
- 3秒以下の録画画像ファイルは変換できません。

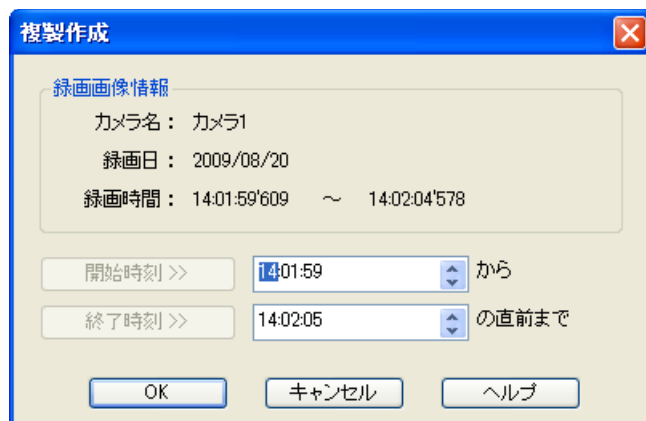
3.2.2 録画画像を複製する

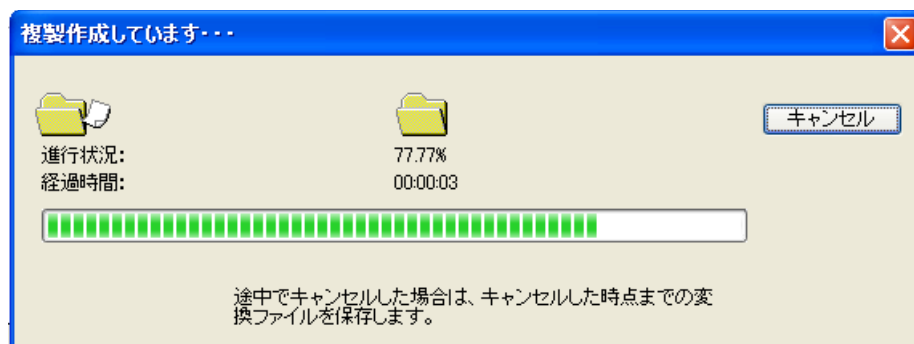
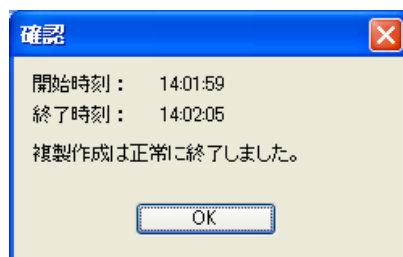
録画画像の必要な時間帯を抽出して、新規に録画画像を作成できます。

1 [再生一覧]で複製する録画画像を選択する

- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。
- 複数の録画画像を選択しても最初の録画画像のみ複製されます。

2 編集メニューで[複製作成]を選択して[実行]をクリックする

3 抽出を開始する時刻、終了する時刻を設定する

4 [OK]をクリックする

- 複製作成を開始します。

- 複製作成が正常に終了すると以下の画面を表示します。

お知らせ

- 途中でキャンセルした場合は、キャンセルした時点までの複製を保存します。

3.2.3 録画画像を削除する

[再生画面]で録画画像を削除できます。

1 [再生一覧]で削除する録画画像を選択する

- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。
- 複数ファイルを選択するには、キーボードの[Shift]または[Ctrl]キーを押しながら選択してください。
  [Shift]：連続している複数の録画画像を選択します。
  [Ctrl]：連続していない複数の録画画像を選択します。

2 編集メニューで[削除]を選択して[実行]をクリックする

3 削除確認画面で[OK]をクリックする

- 選択した画像を削除します。

お知らせ

- 削除の操作は、画面上ではすぐに終了しますが、実際の削除には時間がかかります。
- 録画画像の削除を実行するとCPUの負荷が上がり、フレームレートが低下するなど録画に影響を及ぼすことがあります。
  録画画像の削除は、録画を停止させた状態で実行してください。

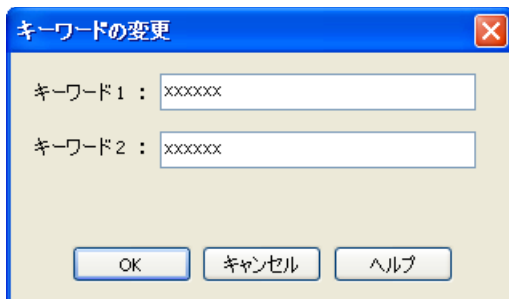
- 検索画面の[録画ファイル削除]をクリックすると、日付範囲を指定して一括して削除することができます。

3.2.4 キーワードを変更する

録画画像に設定している検索用のキーワードを変更します。

1 [再生一覧]でキーワードを変換する録画画像を選択する

- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。

2 編集メニューで[キーワードの変更]を選択して[実行] をクリックする

3 キーワードを変更する

4 [OK]をクリックする

- キーワードを変更します。

お知らせ

- キーワードは、マルチ再生画面で、再生画面の右クリックで表示されるメニューで変更することもできます。

3.2.5 表示画像をコピーする

クリップボードへコピーする

再生画面で表示している画像をクリップボードへコピーします。

1 [再生一覧]でクリップボードへコピーする録画画像を選択する

- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。

2 編集メニューで[クリップボードへコピー]を選択して[実行] をクリックする

- 再生画面で表示している画像をクリップボードにコピーします。

スナップショットをとる

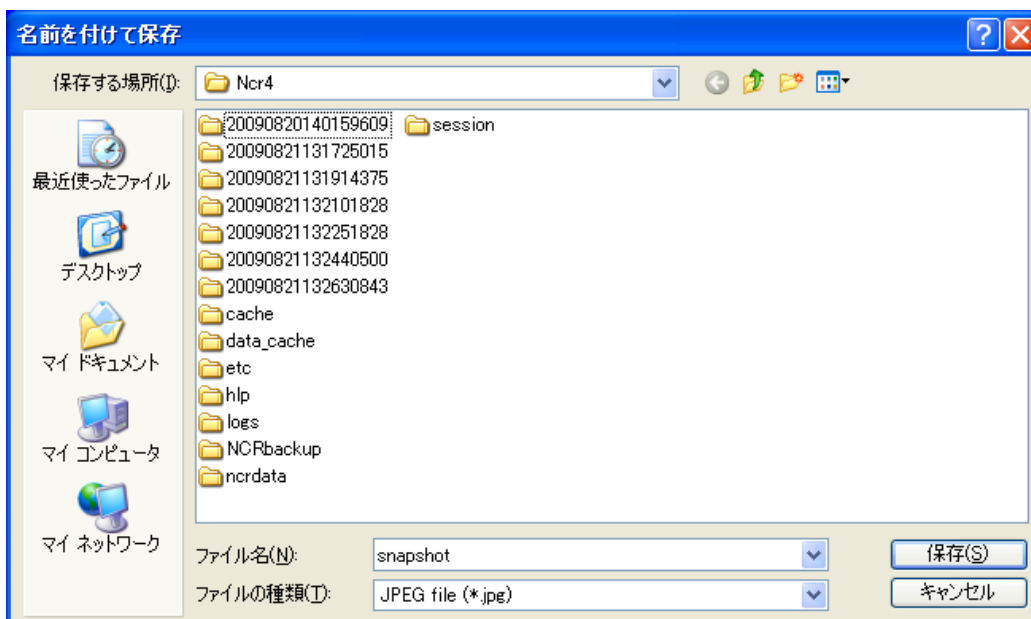
再生画面で表示している画像のスナップショットをとります。

1 [再生一覧]でスナップショットをとる録画画像を選択する

- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。

2 編集メニューで[スナップショット]を選択して[実行] をクリックする

3 スナップショット画面で[保存]をクリックする

- [名前を付けて保存]画面を表示します。

4 保存先フォルダを選択し、ファイル名を設定して[保存(S)]をクリックする

お知らせ

- [クリップボードにコピー]をクリックすると、クリップボードに画像をコピーします。
- クリップボードとは、パソコン上で、カット (またはコピー) & ペーストを行う際にデータを一時的に保存する場所のことです。
  クリップボードにコピーされた画像は、Microsoft ペイントなどのプログラムにペーストして使用できます。

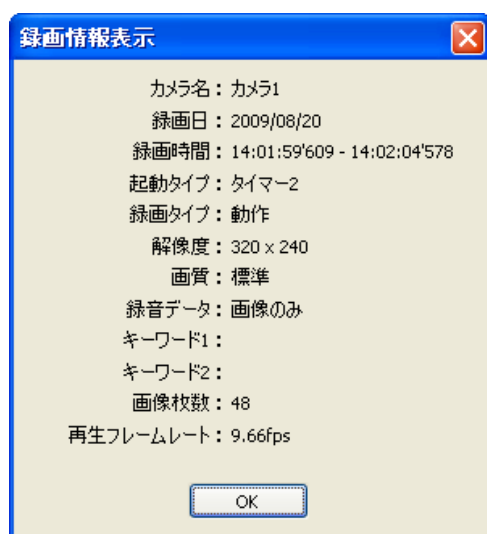
3.2.6 録画情報を表示する

録画画像の情報を表示します。

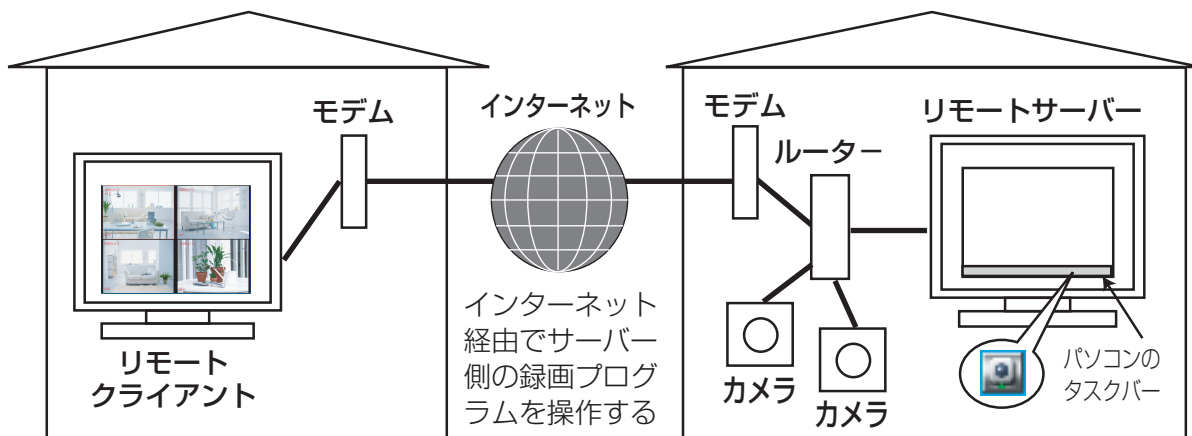
1 [再生一覧]で録画情報を表示する録画画像を選択する

- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。

2 編集メニューで[録画情報表示]を選択して[実行]をクリックする

- 録画情報を表示します。

3.3 リモートアクセス機能を使う

当社製ネットワークカメラを接続して、登録しているパソコンの録画プログラムを別のパソコンの録画プログラムから見ることができます。

- リモートクライアントのパソコンからリモートアクセス機能を使うには、リモートサーバーとなるパソコンで、リモートサーバーの設定をします。(→ 133 ページ)
  リモートサーバー設定後、リモートクライアントパソコンからインターネットエクスプローラでリモートサーバーにアクセスしてください。自動的にリモートクライアント用の録画プログラムのダウンロードを開始し、録画プログラムをインストールします。(→ 134 ページ)
- 修復プログラムの実行など一部の機能は操作できません。(→ 137 ページ)
- 企業内のファイアーウォールを備えたプロキシサーバーでは、リモートサーバーに直接接続できない場合があります。このような場合には、ネットワークやリモートサーバーの動作に影響が出ないように、ネットワーク管理者に相談することをおすすめします。
- プロキシサーバーを経由してリモートサーバーを使用すると、何らかの問題が生じる場合があります。設置の前にネットワーク管理者に相談することをおすすめします。

設定の流れは以下のとおりです。

リモートサーバー

リモートサーバーの設定をする(→ 133 ページ)

リモートクライアント

インターネットエクスプローラを起動し、リモートサーバーにアクセスする。(→ 134 ページ)
例) http://ncr4.miemasu.net:10084/Client/Start

管理者権限、または一般ユーザー権限で接続する

リモートアクセスでサーバー側の録画プログラムを操作する

お知らせ

- リモートサーバーとして使用するには、本プログラムに接続するためのIPアドレス、またはホスト名を設定する必要があります。IPアドレスは、ご利用のプロバイダーから取得できます。
  ホスト名は、ネットワークカメラをパナソニックの[みえますねっと]にご登録いただくと取得できます。すでに[みえますねっと]をご利用の場合は、そのホスト名で登録してください。[みえますねっと]の詳細は、ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。
- リモートアクセスはIPv6アドレスでの接続にも対応しています。

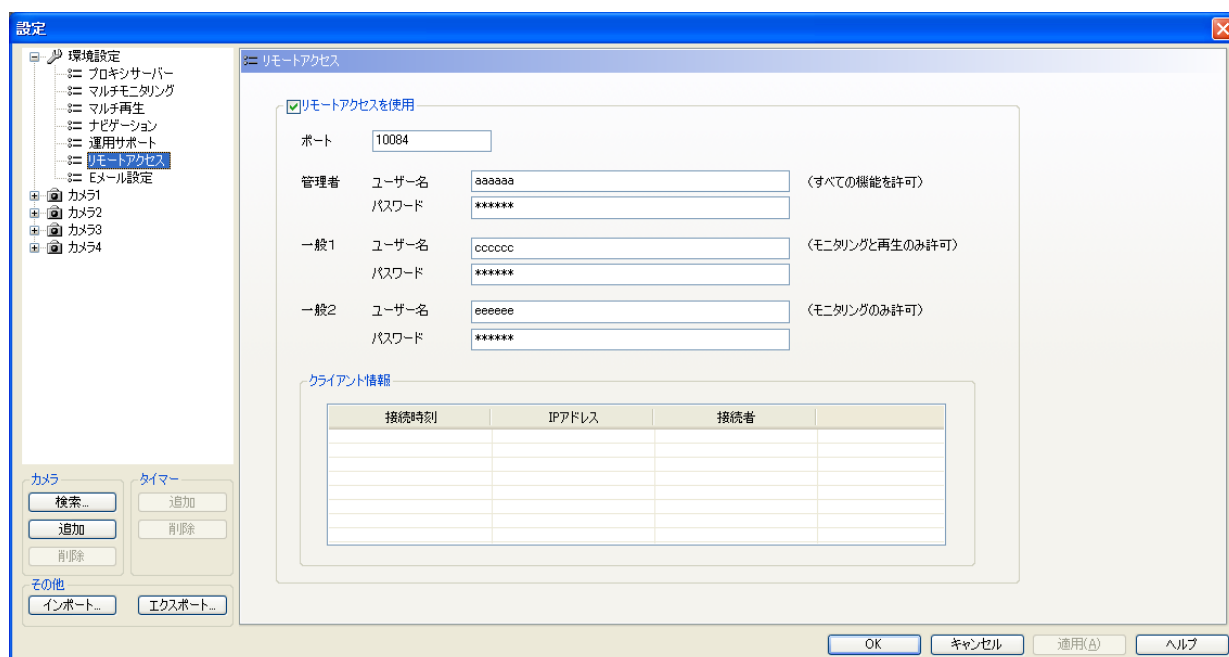
- リモートアクセスはhttpsでの接続には対応していません。

3.3.1 設定する

リモートサーバーの設定をする（リモートサーバー側）

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

2 環境設定の[リモートアクセス]をクリックする

3 [リモートアクセスを使用]にチェックマークを入れ、各項目を設定する

- 本プログラム再起動後、本プログラムはリモートサーバーとして動作します。

設定項目	設定内容
ポート	接続ポート番号を入力します。
管理者ユーザー名／パスワード	管理者権限で接続するためのユーザー名、パスワードを設定します。(半角英数字、6文字以上) • すべての機能の操作を許可します。
一般1ユーザー名／パスワード	一般1ユーザー権限で接続するためのユーザー名、パスワードを設定します。(半角英数字、6文字以上) • モニタリングと再生のみ許可します。操作できる機能は137 ページを参照してください。
一般2ユーザー名／パスワード	一般2ユーザー権限で接続するためのユーザー名、パスワードを設定します。(半角英数字、6文字以上) • モニタリングのみ許可します。 操作できる機能は137 ページを参照してください。

設定項目	設定内容
クライアント情報	クライアントの接続情報を表示します。

お知らせ

- 管理者と一般ユーザーの設定を行わないとリモートアクセスはできません。
- [リモートアクセスを使用]のチェックマークをはずすと、通常の録画プログラムとして使用できます。
- インターネット経由でリモートアクセスを利用する場合は、接続ポートをポートフォワーディング(ポート転送)機能で設定してください。
  ポートフォワーディング機能の詳細は、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。

リモートサーバーにアクセスする（リモートクライアント側）

1 インターネットエクスプローラを起動し、リモートサーバーにアクセスする
http://接続先のアドレス:ポート番号/Client/Start

- 接続先のアドレスは本プログラムに接続するためのIPアドレス、またはホスト名です。
- 接続先のポート番号はリモートサーバーで設定したポート番号です。リモートサーバー側の[環境設定]→[リモートアクセス]で設定した内容をご確認ください。

例 ： http://ncr4.miemasu.net:10084/Client/Start

接続先のIPアドレス
またはホスト名

リモートサーバーで
設定したポート

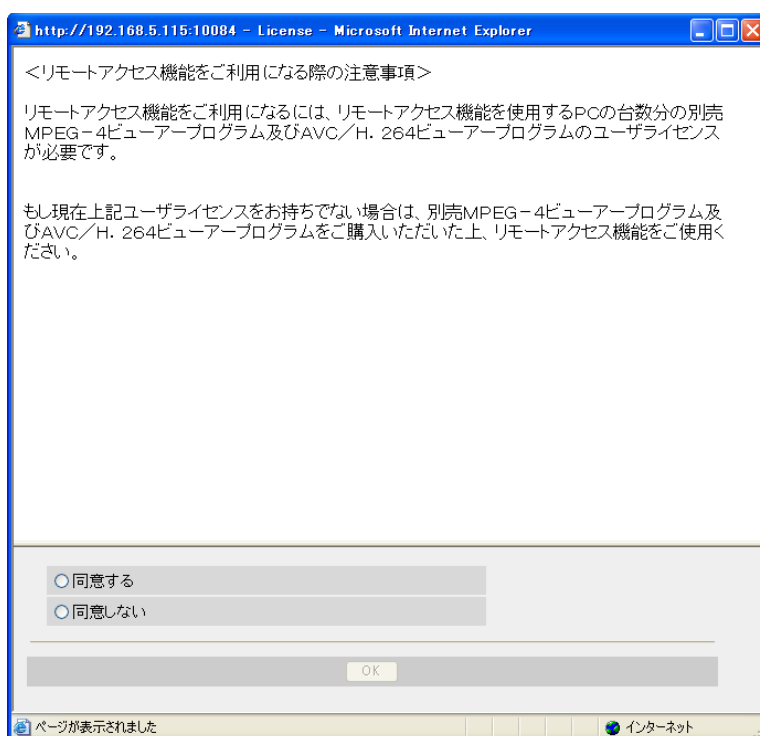
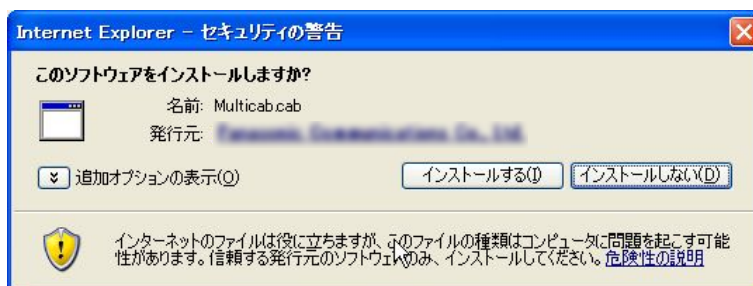
- IPv6アドレスでアクセスする場合、Internet Explorer 6では、接続先のアドレスにIPv6アドレスを設定してもリモートサーバーにアクセスできません。
  IPv6ドメイン名サービスで登録したホスト名を設定してください。
  Internet Explorer 7以降の場合は、IPv6アドレスでリモートサーバーにアクセスできます。
- IPv6アドレスの設定は、8つの16進数値を[:]で区切って表します。
  [0]が連続する場合は[::]と省略して表せます。
  IPv4アドレスと区別するため[]でくくって設定してください。
  例)[2001:2:3:4::5]

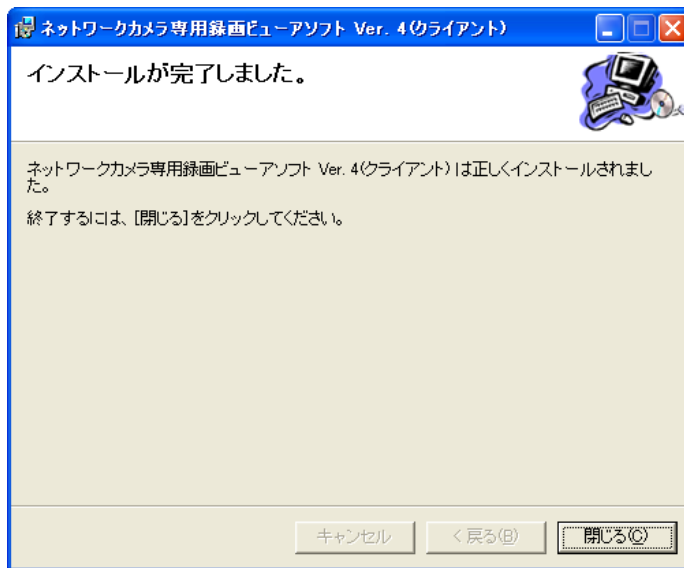
2 ユーザー名、パスワードを入力して[OK]をクリックする

- ユーザー名とパスワードはリモートサーバー側の[環境設定]→[リモートアクセス]で設定した内容をご確認ください。
- はじめてリモートサーバーにアクセスする場合は、[ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約書]画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。(→ 135 ページ)
- 接続中画面表示後、リモートクライアントとしてリモートサーバーにアクセスします。

リモートサーバーにはじめてアクセスする場合

上記手順2.でユーザー名、パスワードを入力して[OK]をクリックすると[リモートアクセス機能をご利用になる際の注意事項]画面が表示されます。
画面の指示に従って録画プログラムをインストールしてください。

I. [同意する]を選択し[OK]をクリックする

II. [インストールする(I)]をクリックする

III. 画面の指示に従って録画プログラムをインストールする

IV. [Close]をクリックする

- インストール完了後、リモートサーバーのマルチモニタリング画面が表示されます。

お知らせ

- リモートクライアントで録画プログラムを使用するには別売りのリモートクライアント用のMPEG-4／H.264のライセンスが必要です。(→ 192 ページ)
- リモートクライアント用録画プログラムは、リモートサーバーの録画プログラムとしては使用できません。
- リモートクライアントで動作中は、タスクバーに [アイコン] は表示されません。

リモートアクセスで可能な機能

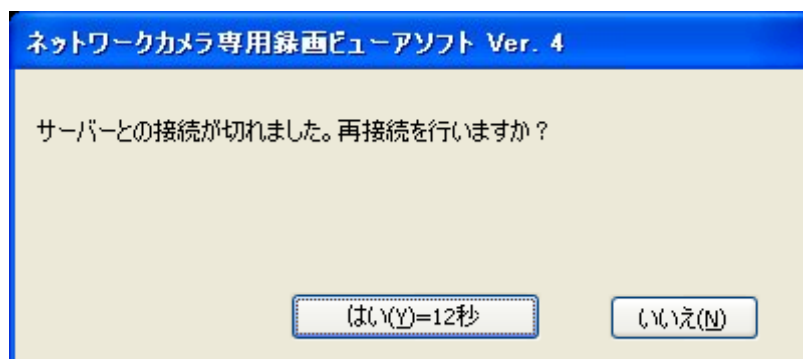
機能名		管理者権限	一般1ユーザー権限	一般2ユーザー権限
マルチモニタリング	カメラ画像	✓	✓	✓
	カメラレイアウト変更（ドラッグ＆ドロップ）	✓	—	—
	レイアウト変更（行列）	✓	✓	✓
	ページ変更	✓	✓	✓
	録画開始・停止	✓	—	—
	カメラ操作	✓	✓	—
	スピーカー	✓	✓	✓
	マイク	✓	✓	—
	クリック＆センタリング	✓	✓	—
	モニタリング開始・停止	✓	✓	✓
	自動巡回	✓	—	—
	プリセットシーケンス	✓	—	—
	カラーナイトビュー	✓	—	—
	環境設定·カメラ設定	✓	—	—
	フルスクリーン	✓	✓	✓
	スナップショット	✓	✓	✓
マルチ再生	再生・停止など	✓	✓	—
	カメラレイアウト変更（ドラッグ＆ドロップ）	✓	—	—
	レイアウト変更（行列）	✓	✓	—
	環境設定·カメラ設定	✓	—	—
	検索	✓	✓	—
	PNCファイルの再生	✓	✓	—
	スナップショット	✓	✓	—

機能名		管理者権限	一般1ユーザー権限	一般2ユーザー権限
検索	検索	✓[*1]	✓[*1]	—
	ファイル変換	—[*2]	—[*2]	—
	複製生成	✓	—	—
	ファイル削除	✓	—	—
	キーワード変更	✓	—	—
	録画情報表示	✓	✓	—
	ダウンロード	✓	✓	—
設定	基本設定(保存先フォルダ)	—	—	—
	基本設定(保存先録画容量制限)	✓	—	—
	プロキシサーバー設定	✓	—	—
	マルチモニタリング	✓	—	—
	マルチ再生	✓	—	—
	ナビゲーション	✓	—	—
	運用サポート(修復プログラム)	—	—	—
	運用サポート(ログ解析)	✓	—	—
	Eメール設定	✓	—	—
	カメラ追加／削除	✓	—	—
	タイマー追加／削除	✓	—	—
	インポート／エクスポート	✓	—	—

*1 任意のフォルダの検索はできません。
*2 ファイル変換の全ての機能は使えませんが、録画画像をASFに変換し たダウンロードは可能です。(→ 139 ページ)

お知らせ

- 管理者は２人同時にはログインできません。他の管理者が既にログインしているときは、管理者権限ではログインできません。
- リモートサーバー側で設定画面を表示しているときは、リモートクライアント側から管理者権限で設定画面に接続できません。

- リモートサーバーとの接続後に、切断を検出した場合は以下のメッセージを表示します。

- [はい]をクリックして再接続してください。再接続が成功すれば処理を続行します。
- [いいえ]をクリックすると、リモートアクセスを終了します。(→ 142 ページ)

録画画像をダウンロードする（リモートクライアント側）

リモートサーバーから録画画像をダウンロードします。

1 [再生一覧]でダウンロードする録画画像を選択する

- 録画画像を[再生一覧]に表示する方法は88 ページを参照してください。
- 複数ファイルを選択するには、キーボードの[Shift]または[Ctrl]キーを押しながら選択してください。
  [Shift]：連続している複数の録画画像を選択します。
  [Ctrl]：連続していない複数の録画画像を選択します。

2 編集メニューで[ダウンロード]を選択して[実行]をクリックする

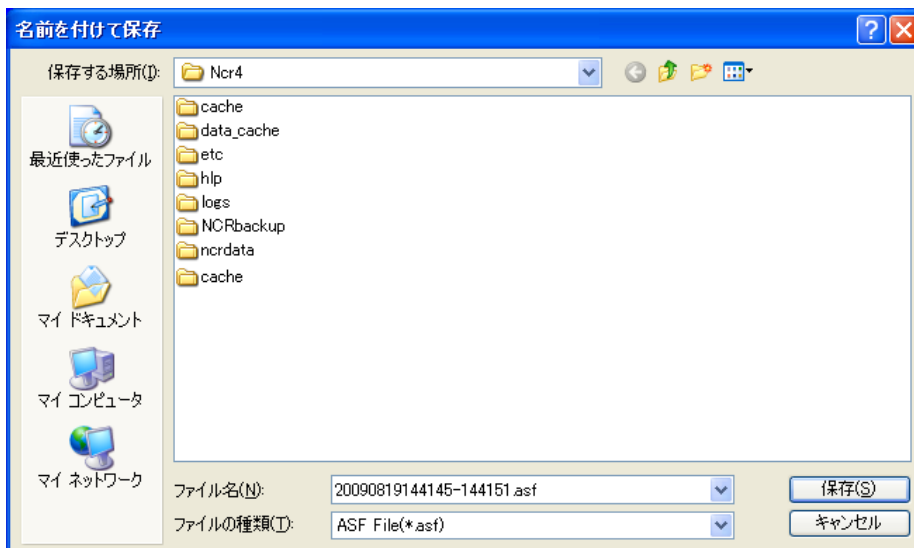
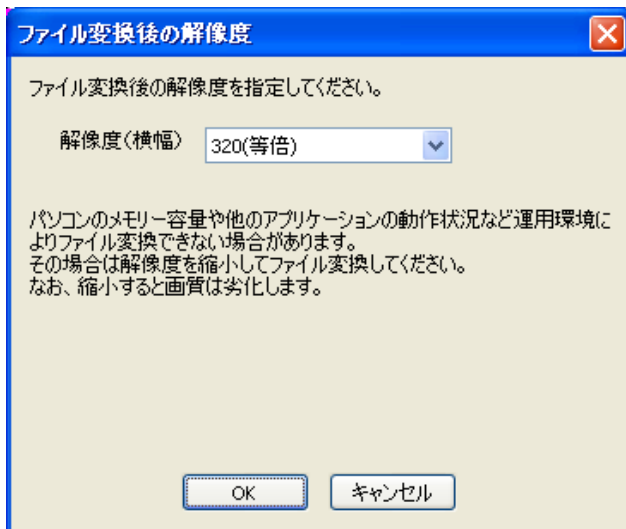
- 管理者権限、一般ユーザー権限で使用できる機能は異なります。(→ 137 ページ)
  上記画面は、管理者権限で接続しているときの画面です。

3 時刻を指定して変換する場合は、開始時刻、終了時刻を指定して[OK]をクリックする

- 時刻を指定しなければ、指定した録画画像すべてを変換します。

- 録画画像を複数選択している場合は、時刻の指定はできません。

- [名前を付けて保存]画面を表示します。

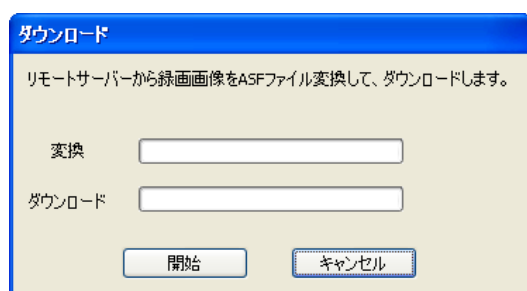
4 保存先フォルダを選択し、ファイル名を設定して[保存]をクリックする

5 ファイル変換後の解像度を選択して[OK]をクリックする

解像度（横幅）

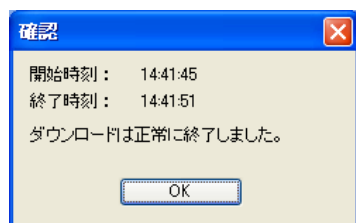
等倍：　変換前の解像度と同じ解像度で変換します。

縮小：　変換前の解像度より小さい解像度で変換します。

お知らせ

- リストに表示される解像度は変換前の解像度により異なります。
- パソコンのメモリー容量や他のアプリケーションの動作状況など運用環境によりファイル変換できない場合があります。その場合は解像度を縮小してファイル変換してください。
- 解像度を縮小すると画質は劣化します。

6 [開始]をクリックする

- リモートサーバー側で変換を開始します。
- リモートクライアント側にダウンロードを開始します。

7 [OK]をクリックする

- 録画画像を複数選択した場合は、開始時刻、終了時刻は表示されません。

リモートサーバーのログの解析をする（リモートクライアント側）

リモートアクセス中は、[運用サポート]画面(→ 154 ページ)のログタイプに以下のメニューが追加されます。

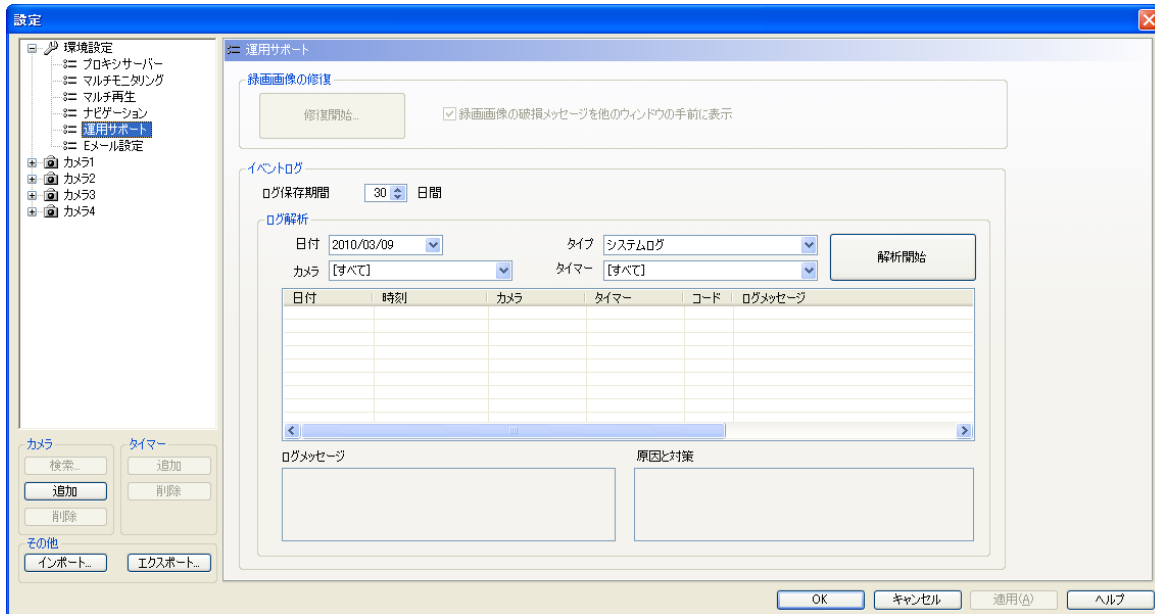
- システムログ(サーバー)
- オペレーションログ１(サーバー)
- オペレーションログ２(サーバー)
- 修復ログ(サーバー)
- カメラ接続確認(サーバー)
- Eメール送信(サーバー)
- ファイル変換(サーバー)

リモートサーバーのログを解析する場合に選択します。

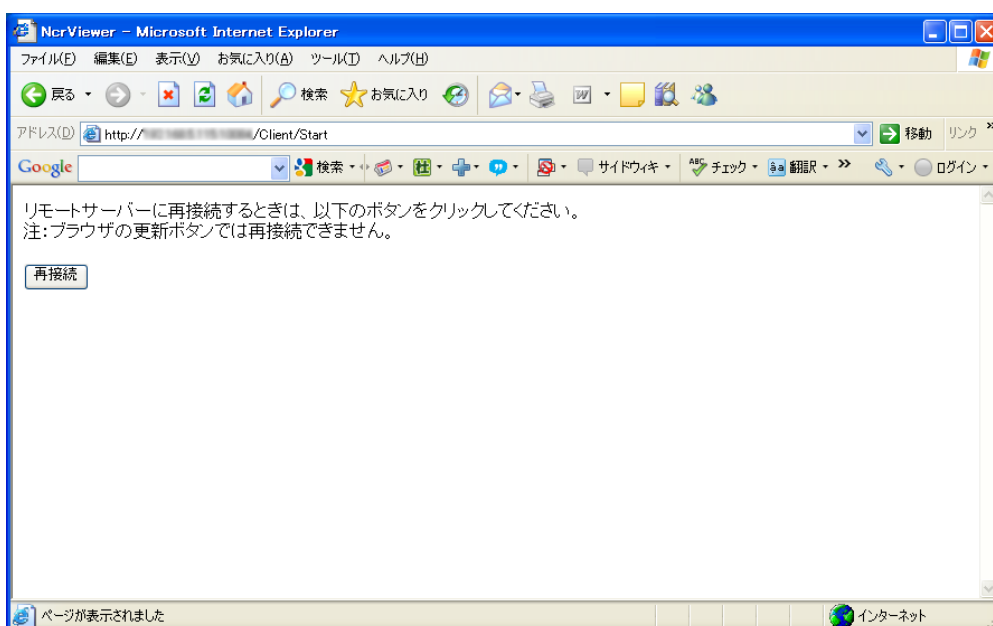
1 マルチモニタリング画面で をクリックする

2 [環境設定]の[運用サポート]を選択する

3 [運用サポート]画面でログ解析を行う日付、ログのタイプを選択する

4 [解析開始]をクリックする

- ログの解析結果を表示します。

リモートアクセスを終了する（リモートクライアント側）

1 操作画面で をクリックする

- 再接続する場合は、[再接続]ボタンをクリックしてください。
  ブラウザの更新ボタンでは再接続できません。
- 終了する場合は をクリックして画面を閉じてください。

お知らせ

- 上記画面またはブラウザを閉じてリモートアクセスを終了後、再度接続するには134 ページを参照してリモートサーバーにアクセスしてください。

3.4 その他の機能

3.4.1 送話する

本プログラムを使用して送話対応のカメラに送話ができます。

1 をクリックして表示されるメニューで[選択カメラに送話開始]を選択する

- が に切り替わります。
- すべてのカメラに対してマイク音声の出力を開始するには、［モニタリング中のすべてのカメラに送話開始］を選択します。
- 選択したカメラが送話対応のカメラでない場合は、 は無効表示（グレー表示）になります。

2 表示中に送話する

- 選択カメラに送話できます。

3 をクリックして表示されるメニューで[選択カメラに送話停止]を選択し、送話を終了する

- は に切り替わります。
- すべてのカメラに対してマイク音声の出力を停止するには、［モニタリング中のすべてのカメラに送話停止］を選択します。

お知らせ

- 送話するには、パソコンにマイクが必要です。
  別途、マイク(市販品)を用意してください。
- 送話中、受話ボタンは に切り替わります。

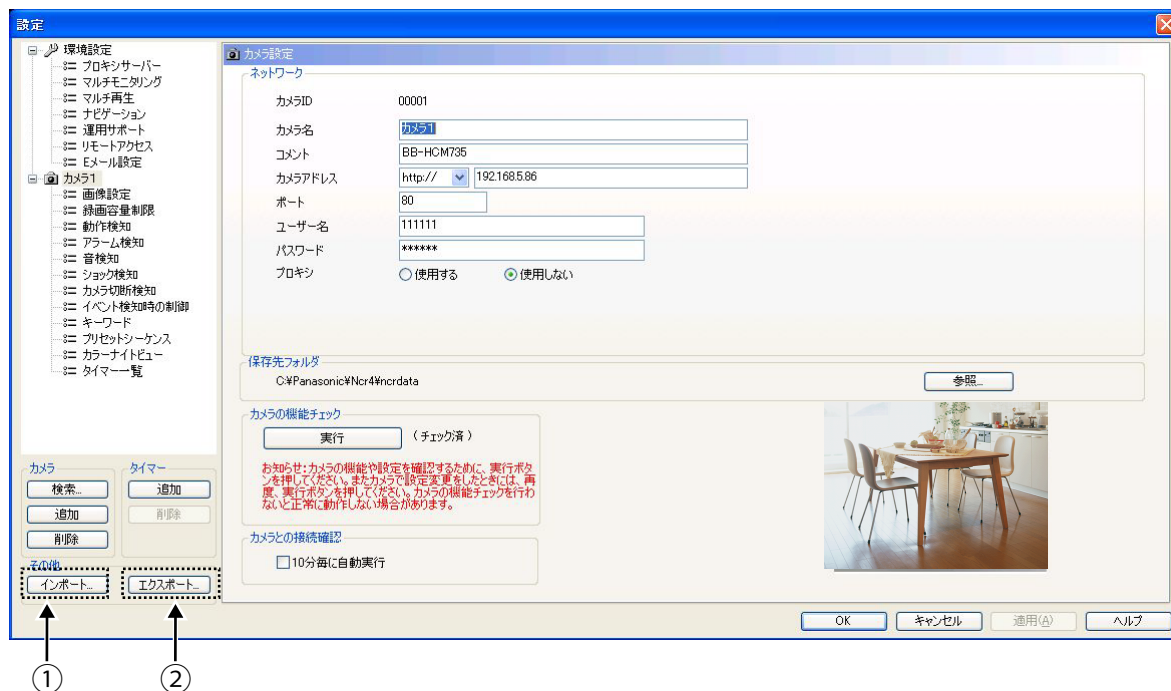
  送話を終了すると受話ボタンは に戻ります。
- プロキシサーバーを経由してカメラにアクセスすると、送話機能は使用できません。
- マイクの音量はスライダーバーで調整します。

- DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラの場合、カメラの画像がMPEG-4またはH.264のときは本プログラムからカメラに送話できません。(→ 157 ページ)

3.4.2 カメラ設定情報をエクスポート／インポートする

本プログラムで設定したカメラの設定情報の書き出し(エクスポート)、取り込み(インポート)ができます。
エクスポートで書き出した登録カメラの設定情報を、他のパソコンにインストールした本プログラムにインポートで取り込んで、使用することができます。

1 をクリックする

2 [エクスポート]または[インポート] をクリックする

①	**インポート** 新規にカメラ情報を取り込みます。
②	**エクスポート** すべてのカメラの設定情報を書き出します。

エクスポートする

1 [エクスポート]をクリックする

- エクスポートファイルの保存画面を表示します。

2 保存ファイル名を入力して[保存(S)]をクリックする

- カメラ設定情報をエクスポートします。

お知らせ

- BB-HNP17のエクスポートしたファイルの拡張子は[h17]です。

インポートする

1 [インポート]をクリックする
- インポートファイルの選択画面を表示します。

2 インポートするファイルを選択する
- インポートするファイルの種類は以下のとおりです。
  BB-HNP17の設定情報は、[HNP17 カメラ定義ファイル (*.h17)]
  BB-HNP15の設定情報は、[HNP15 カメラ定義ファイル (*.h15)]
  KX-HNP10の設定情報は、[HNP10 カメラ定義ファイル (*.def)]
  BB-HNP11の設定情報は、[HNP11 カメラ定義ファイル (*.h11)]

3 [開く(O)]をクリックする
- カメラ設定情報をインポートします。

お知らせ
- BB-HNP17およびBB-HNP15、BB-HNP11、KX-HNP10からカメラ設定情報をインポートできます。
  BB-HNP17およびBB-HNP15、BB-HNP11：
  カメラ登録情報すべてをインポートします。ただし、録画容量制限は解除してインポートします。
  KX-HNP10：
  基本設定と画像設定のみインポートします。KX-HNP10の設定情報ファイルは、KX-HNP10のプログラムインストール先のフォルダに保存されています。
- KX-HNP10 Version1.0でタイマーが設定されている場合、タイマー時の録画タイプはイベント録画の[動作]でインポートします。

3.4.3 モニタリング中の画面をコピーする

マルチモニタリング画面でモニタリング中の画面をクリップボードにコピーできます。

1 マルチモニタリング画面でカメラの画像を右クリックする

- メニュー画面を表示します。

2 [クリップボードへコピー]を選択する

- クリップボードに画像をコピーします。

お知らせ

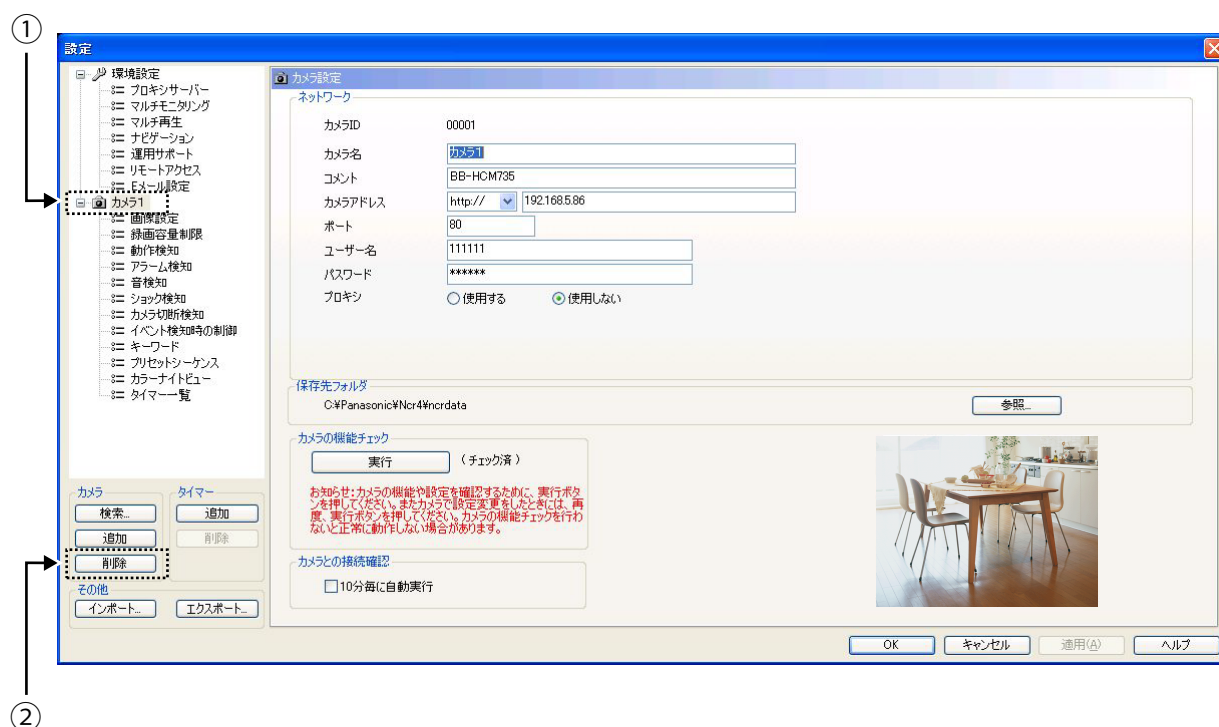
- クリップボードとは、パソコン上で、カット (またはコピー) & ペーストを行う際にデータを一時的に保存する場所のことです。
  クリップボードにコピーされた画像は、Microsoft ペイントなどのプログラムにペーストして使用できます。
- 表示されるメニューで[スナップショット]を選択すると、表示画像の静止画像を撮ります。

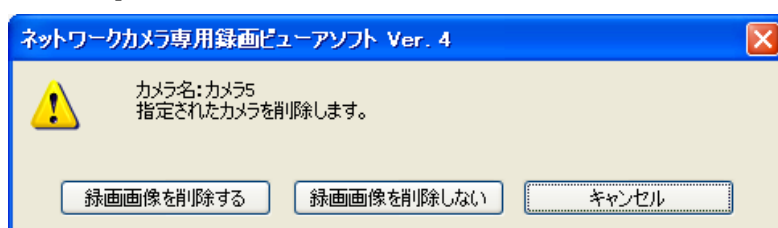
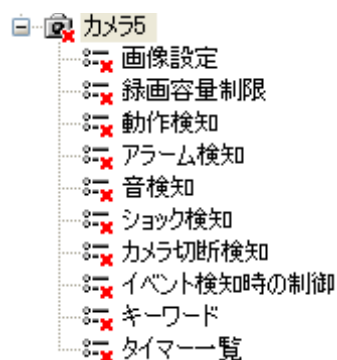
3.4.4 登録カメラを一覧から削除する

カメラを削除するときは、削除するカメラで録画した画像を削除するか、削除しないかの指定ができます。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

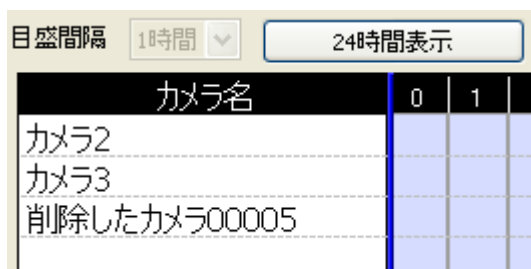
2 削除するカメラを選択する

3 [削除](カメラ) をクリックする

①	削除するカメラを選択する
②	[削除] (カメラ)ボタン

4 録画した画像も削除する場合は[録画画像を削除する]、 録画した画像を削除しない場合は[録画画像を削除しない]をクリックする

- カメラ項目のアイコンに削除マークがつきます。(→ 63 ページ)

5 [OK]または[適用]をクリックする

- [OK]ボタンをクリックすると設定画面を閉じます。つづけて別のカメラを削除する場合は、[適用]ボタンをクリックしてください。

お知らせ

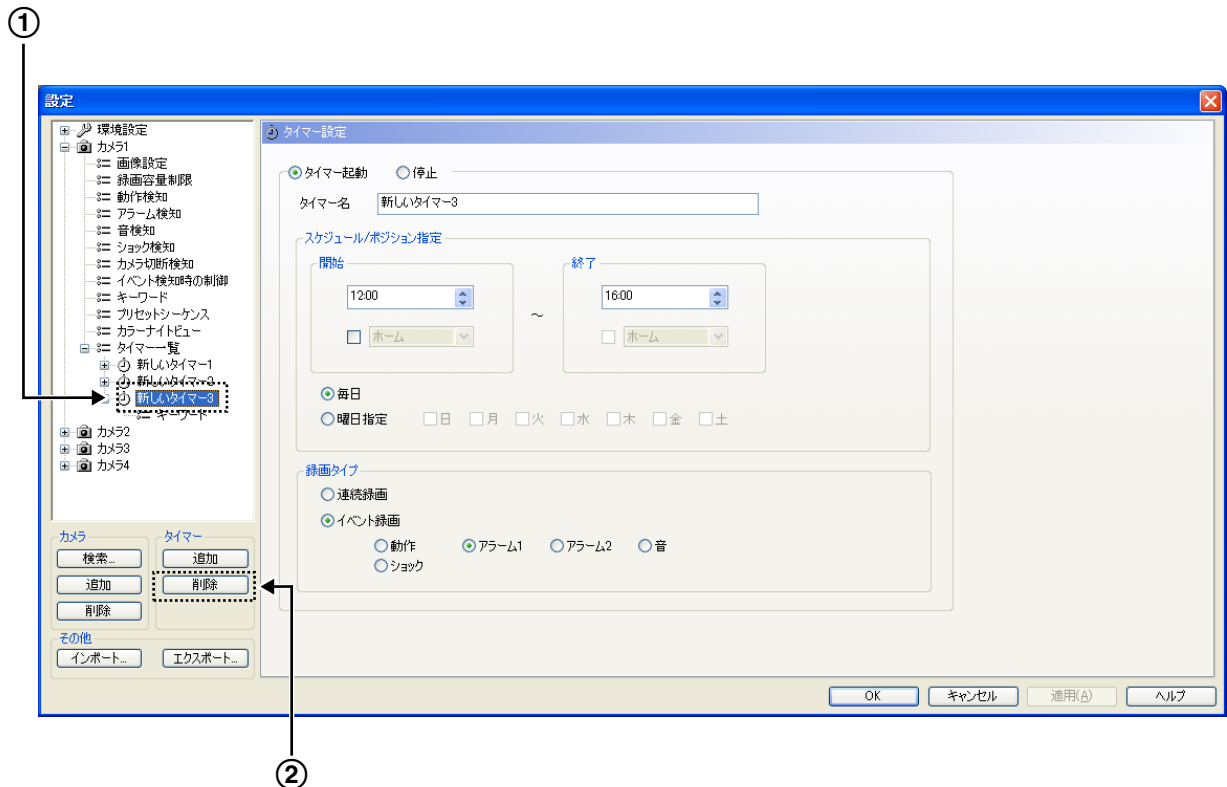
- [録画画像を削除しない]をクリックすると、カメラを削除しても録画画像は削除されません。検索画面には、カメラ名の欄に[削除したカメラ+カメラID]で表示されます。

- 削除したカメラの録画画像を削除するには、検索画面の[再生一覧]で録画画像を選択して削除する(→ 127 ページ)、または[運用サポート]の[録画画像の修復]で削除 (→ 153 ページ)してください。

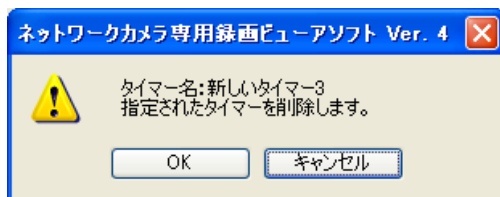
3.4.5 タイマー設定を削除する

カメラに登録しているタイマー設定を削除します。

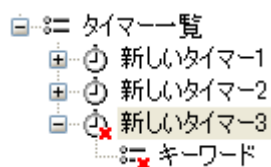
1 マルチモニタリング画面で をクリックする

2 タイマー設定を削除するカメラのタイマーを選択する

3 [削除] (タイマー) をクリックする

①	削除するタイマーを選択する
②	[削除] (タイマー)ボタン

- 削除確認が表示されます。

4 [OK]をクリックする

- タイマー項目のアイコンに削除マークがつきます。 (→ 63 ページ)

タイマー一覧
新しいタイマー1
新しいタイマー2
新しいタイマー3
キーワード

5 [OK]または[適用]をクリックする

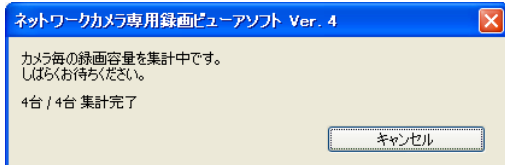
- [OK]ボタンをクリックすると設定画面を閉じます。つづけて別のタイマーを削除する場合は、[適用]ボタンをクリックしてください。

3.4.6 録画容量と残り録画時間を確認する

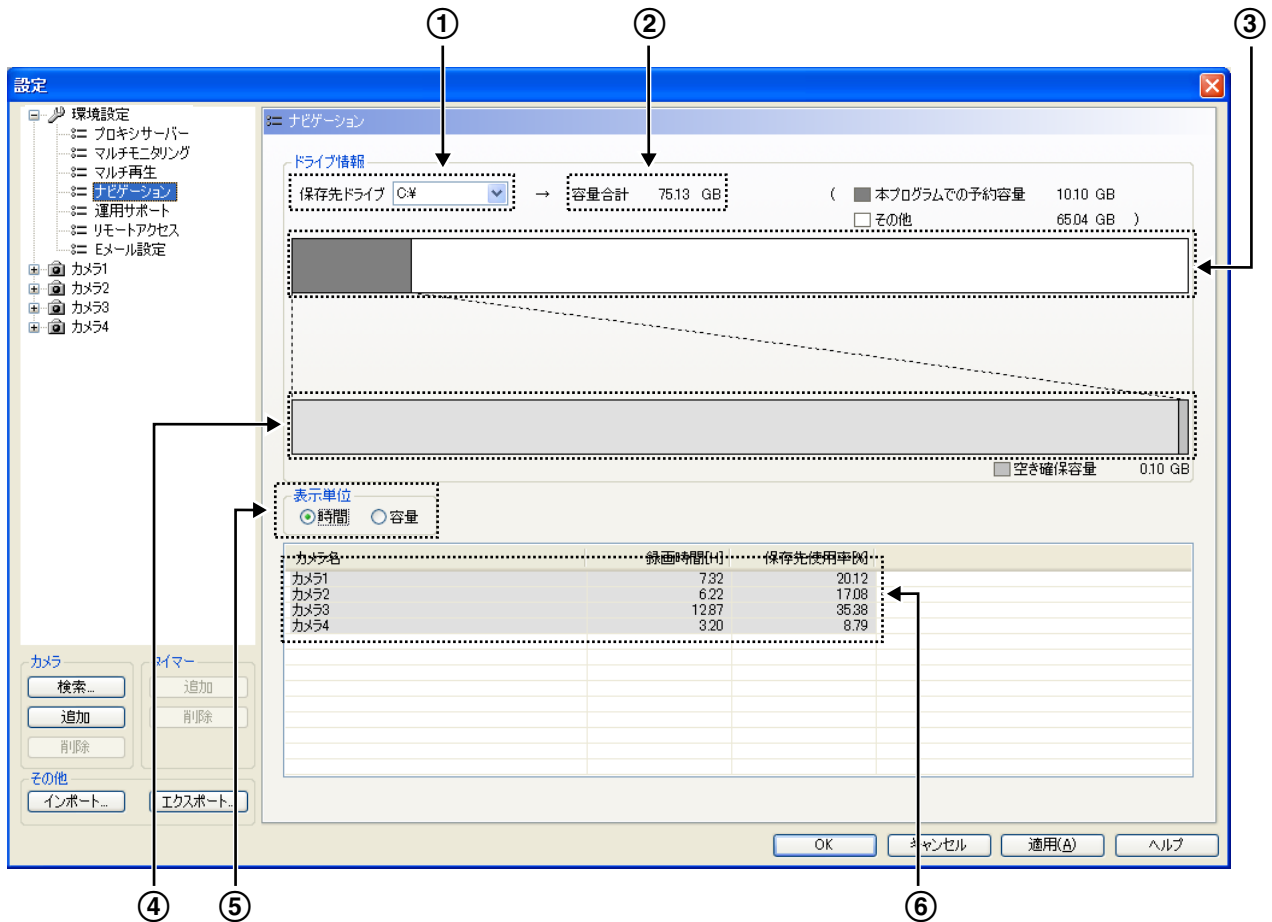
録画容量を制限している場合、カメラ単位で録画容量と使用率を確認できます。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

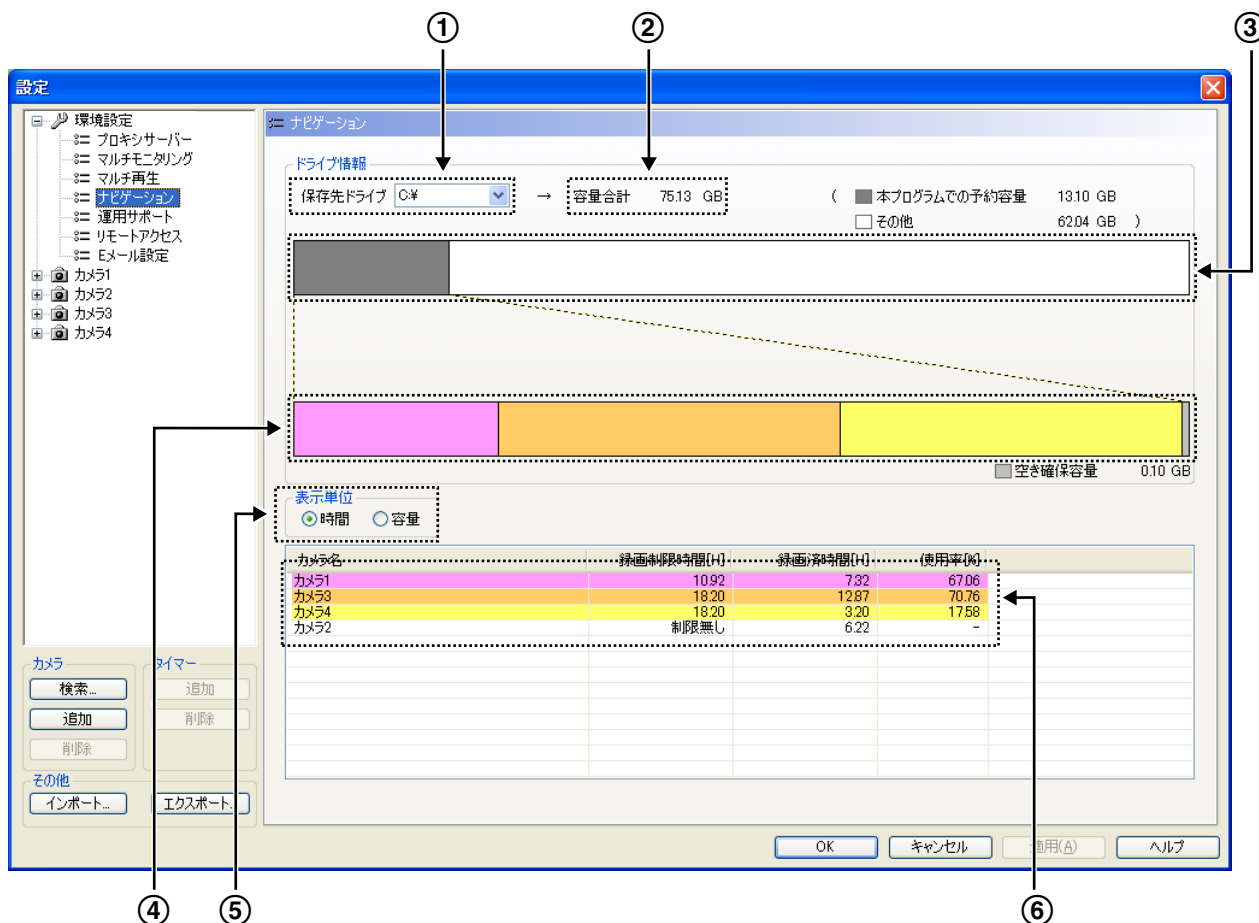
2 [環境設定]の[ナビゲーション]を選択する

- 録画容量集計の進捗状況画面が表示されます。録画容量集計後、ナビゲーション画面を表示します。

- 保存先ドライブで録画容量制限をしている場合と、カメラ単位に録画容量制限をしている場合で、表示する画面は異なります。

3 保存先ドライブを選択する

保存先ドライブで録画容量制限をしている場合(→ 14 ページ)

①	保存先ドライブを選択します。
②	保存先ドライブの全容量を表示します。
③	保存先ドライブ内で、録画容量制限の合計とその他の容量の内訳を表示します。

④	各カメラで録画できる容量の合計とドライブの空き確保容量の内訳を表示します。
⑤	表示単位を時間/容量に切り替えます。
⑥	各カメラで録画済み画像の時間／容量、保存先ドライブでの使用率を表示します。

カメラ単位で録画容量制限をしている場合(→ 32 ページ)

①	保存先ドライブを選択します。
②	保存先ドライブの全容量を表示します。
③	保存先ドライブ内で、各カメラの録画容量制限の合計とその他の容量の内訳を表示します。
④	各カメラで設定している録画容量制限とドライブの空き確保容量の内訳を表示します。
⑤	表示単位を時間/容量に切り替えます。
⑥	各カメラで設定している録画制限時間／容量、録画済み画像の時間／容量、保存先ドライブでの使用率を表示します。

表示単位を[容量]に切り替えた場合

3.4.7 修復プログラムの実行とログ解析を行う

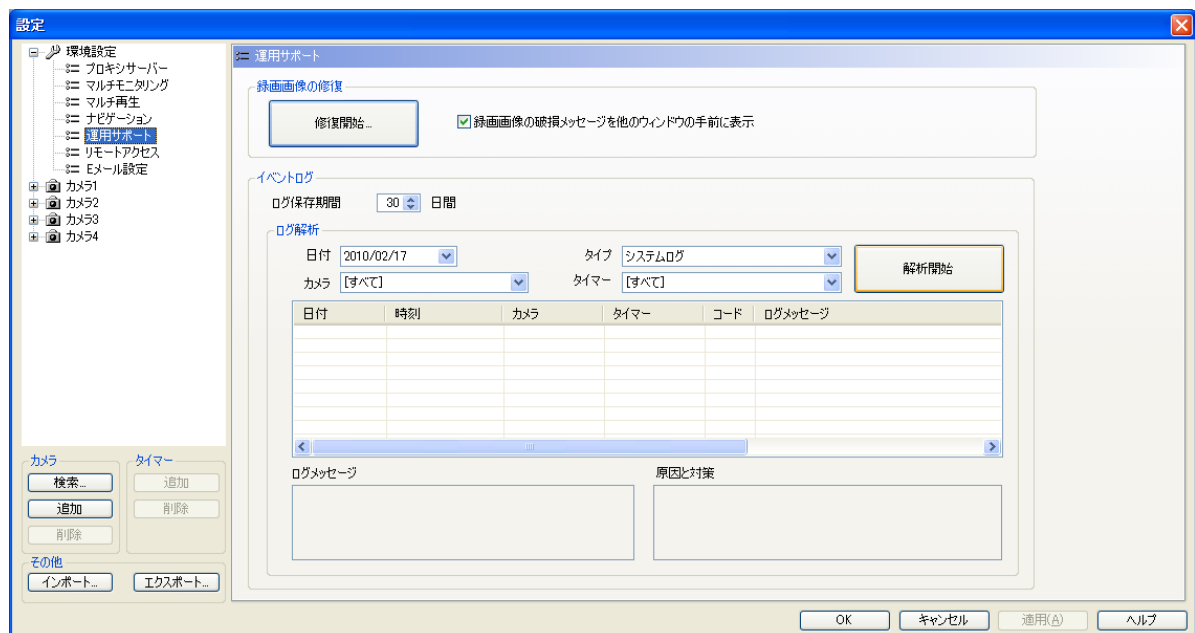
修復プログラムの実行とログ解析を行います。

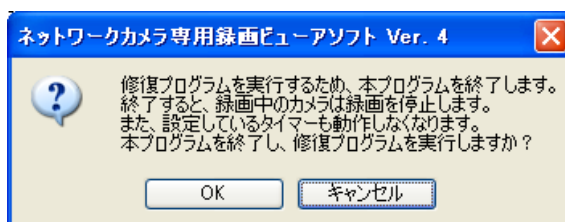
修復プログラムを実行する(手動)

修復プログラムでは、録画画像の最適化および削除したカメラの録画画像を削除できます。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

2 [環境設定]の[運用サポート]を選択する

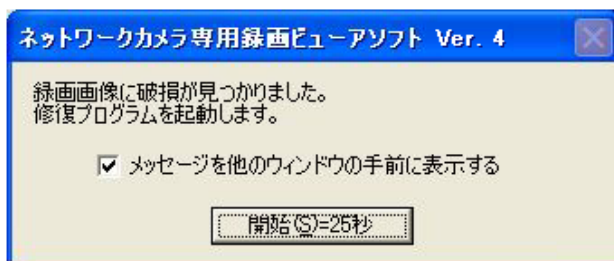
3 [運用サポート]画面で[修復開始]をクリックする

4 [OK]をクリックする

- 修復プログラムを実行するには、本プログラムを終了する必要があります。

5 修復する録画画像の保存先フォルダ、および作業内容を選択して[修復開始]をクリックする

- カメラを削除するときに、[録画画像を削除しない]をクリックすると、録画画像は削除されません。(147 ページ)
  [削除したカメラの録画画像をすべて削除]にチェックマークを入れて[修復開始]ボタンをクリックすると、削除したカメラの録画画像をすべて削除します。
- 修復完了後に、本プログラムを自動で再起動するには、[修復後、本プログラムを再起動]にチェックマークを入れてください。

- 修復を完了します。

修復プログラムを実行する(自動)

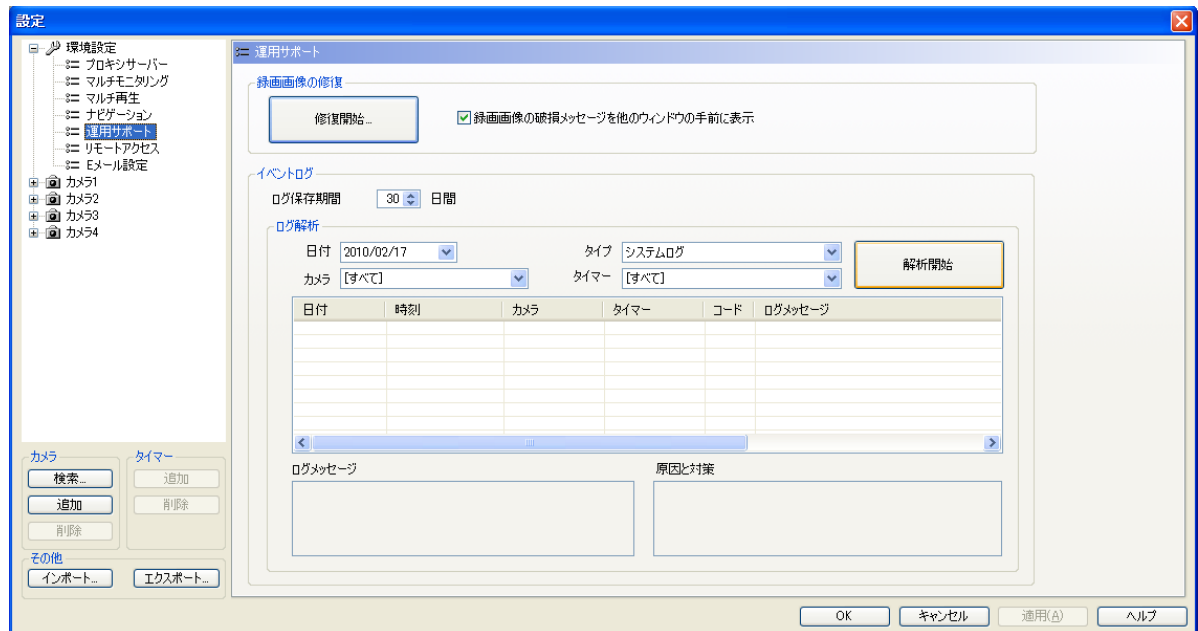
本プログラムが起動中に録画画像に破損が見つかった場合、自動で修復プログラムが実行されます。

ログの解析をする

ログを解析して、エラーが起きたカメラ名、日時、原因／対策を表示します。

1 マルチモニタリング画面で をクリックする

2 [環境設定]の[運用サポート]を選択する

3 [運用サポート]画面でログ保存期間、ログ解析を行う日付、ログのタイプ、カメラ名、タイマー名を選択する

4 [解析開始]をクリックする

ログタイプ一覧

ログタイプ	説明
システムログ	主にカメラとの通信関係のエラーや警告ログを表示します。エラーがない場合は表示されません。
オペレーションログ１	画面操作のエラーや警告ログを表示します。エラーがない場合は表示されません。
オペレーションログ２	画像表示のエラーや警告ログを表示します。エラーがない場合は表示されません。
修復ログ	修復プログラム実行時のエラーや警告ログを表示します。エラーがない場合は表示されません。
カメラ接続確認	10分おきにカメラとの接続状況を表示します。
Eメール送信	イベント検知時やカメラ接続状態変化時に送信したＥメールの状態やエラーログを表示します。
ファイル変換	ファイル変換実行時のエラーや警告ログを表示します。エラーがない場合は表示されません。

- ログの解析結果を表示します。

①	ログ一覧 解析結果を表示します。
②	ログ一覧でログを選択すると、エラーの内容や、対策を表示します。

4 DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラを使用する場合は

4.1 仕様の違いについて

DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラを本プログラムに登録して使用する場合は、本説明書に記載の内容と一部仕様が異なります。

お知らせ

- 機能制限のあるネットワークカメラについては4 ページを参照してください。

ネットワークビデオエンコーダー、および全方位ネットワークカメラで撮像モードが4ストリーム以外の場合は、ストリーム1の画像がモニタリングおよび録画されます。
全方位ネットワークカメラで撮像モードタイプが2モニターの場合、次の画像がモニタリングおよび録画されます。

- カメラの画像がJPEGのとき：カメラの「ライブ画（初期表示)」で設定した画像
- カメラの画像がH.264のとき：パノラマ系画像（ストリーム1）

4.1.1 マルチモニタリング画面

プリセット

プリセットリストにカメラのプリセット名が表示されない場合があります。
その場合、プリセットリストにはプリセット番号が表示されます。

- ネットワークビデオエンコーダーの場合は、プリセット番号が表示されます。

パンスキャン／チルトスキャン

パンスキャン／チルトスキャン機能は使えません。
 は無効表示となります。

受話ボタン

ネットワークビデオエンコーダー、および全方位ネットワークカメラで撮像モードが4ストリームの場合は、映像チャンネルが1chのカメラのみ受話することができます。

送話ボタン

カメラの画像がMPEG-4またはH.264の場合、本プログラムからカメラに送話できません。
 は無効表示となります。

- ネットワークビデオエンコーダー、および全方位ネットワークカメラで撮像モードが4ストリームの場合は、映像チャンネルが1chのカメラのみ送話することができます。

お知らせ

- カメラの画像がJPEGの場合は送話できます。

ホームポジションボタン

カメラ本体側にてホームポジションが登録されていないときは、[ホームボタン]は 無効表示となります。

動作検知バー

動作検知設定で[カメラ側で動作検知]を選択しているときは、マルチモニタリング画面に動作検知バーは表示されません。

4.1.2 画像設定

データ形式

インターネット経由でカメラを登録している場合、MPEG-4、H.264画像を表示するには[インターネットモード]をONに設定します。

お知らせ

- 同じネットワーク内（ローカルネットワーク内）に設置しているカメラのMPEG-4、H.264画像は[インターネットモード]がOFFでも表示できます。
- データ形式がH.264、あるいはMPEG-4の場合、httpsでカメラに接続することはできません。

画質

選択できるJPEG画質は以下のとおりです。

- [0 最高画質]、[1 高画質]、[2]、[3]、[4]、[5 標準]、[6]、[7]、[8]、[9 低画質]
  工場出荷値は[5 標準]です。

フレームレート指定

カメラで設定できるフレームレートは以下のとおりです。

- **JPEG画像**
  [0.1 枚／秒]、[0.2 枚／秒]、[0.33 枚／秒]、[0.5 枚／秒]、[1 枚／秒]、[2 枚／秒]、[3 枚／秒]、[5 枚／秒]、[6 枚／秒]、[10 枚／秒]、[15 枚／秒]、[30 枚／秒]
  工場出荷値は[10 枚／秒]です。

  お知らせ

  - JPEG画像のフレームレートはネットワークの環境、パソコンの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。
    詳細はカメラの取扱説明書を参照してください。

- **MPEG-4、H.264画像**
  [1 枚／秒]、[3 枚／秒]、[5 枚／秒]、[7.5 枚／秒]、[10 枚／秒]、[15 枚／秒]、[20 枚／秒]、[30 枚／秒]、[60 枚／秒]
  工場出荷値は[10 枚／秒]です。ただし、全方位ネットワークカメラで撮像モードが4ストリームの場合は[7.5 枚／秒]です。

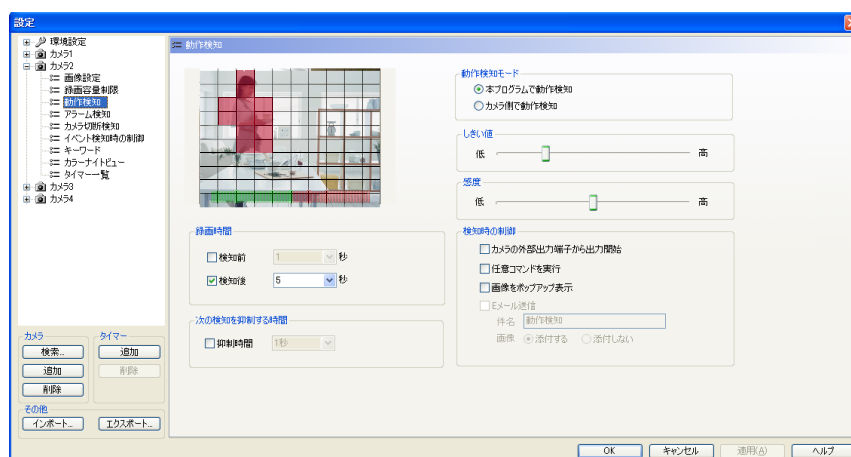
お知らせ

- カメラの設定を[60 枚／秒]でご使用になる場合、マルチモニタリング画面、マルチ再生画面で一瞬画像が停止したり、コマ飛びして画像にわずかな乱れが発生したりする場合があります。また、回線状態やパソコンの処理能力が不足するとスムーズな動画にならない場合があります。

4.1.3 動作検知

動作検知設定

動作検知は、同じネットワーク内（ローカルネットワーク内）のカメラにのみ設定できます。
画像設定でデータ形式を[MPEG-4]、[H.264]に設定しているカメラにも動作検知を設定できます。
インターネット経由で登録しているカメラには動作検知を設定できません。

- 動作検知は[本プログラムで動作検知]または[カメラ側で動作検知]の選択できます。

本プログラムで動作検知	本プログラムの動作検知で動作検知を行います。
カメラ側で動作検知	カメラ側の動作検知で動作検知を行います。

- [カメラ側で動作検知]を設定した場合、画像設定でデータ形式を[MPEG-4]、[H.264]に設定しているカメラにも動作検知を設定できます。
- [カメラ側で動作検知]を設定した場合、マルチモニタリング画面に動作検知バーは表示されません。
- [カメラ側で動作検知]を設定した場合、動作検知後の録画時間は10秒以上必要です。

お知らせ

- [カメラ側で動作検知]を選択すると動作検知用モニタリング画面は表示されません。
- 動作検知エリアを設定するまでは動作検知は機能しません。本プログラムの「カメラへの自動設定」（環境設定の基本設定）が有効の場合は、カメラに動作検知の設定がされていない場合に限り、動作検知エリア１の全領域で検知するようにカメラに自動設定します。既に動作検知の設定がされている場合は変更しません。カメラにプリセットポジションが設定されていない場合は「プリセットポジション以外」に設定します。プリセットポジションが既に設定されている場合は、若いポジション番号から１０カ所までと、「プリセットポジション以外」に設定します。「カメラへの自動設定」が無効の場合は、カメラ本体側で動作検知エリアを設定してください。
- [カメラ側で動作検知]を選択した場合、カメラの独自アラームを使用します。独自アラーム機能については、カメラの取扱説明書を参照してください。

- [カメラ側で動作検知]を選択した場合、カメラからの検知通知が画像より遅れる場合があります。その場合は使用環境に合わせて検知前の録画時間を調節してください。
- 一部のカメラではその設定によっては[本プログラムで動作検知]が使用できません。

4.1.4 アラーム検知

アラーム検知設定

アラーム検知は、同じネットワーク内（ローカルネットワーク内）のカメラにのみ設定できます。
画像設定でデータ形式を[MPEG-4]、[H.264]に設定しているカメラにもアラーム検知を設定できます。
インターネット経由で登録しているカメラにはアラーム検知を設定できません。

アラーム検知

本プログラムでカメラにアラーム検知を設定した場合は

- カメラの独自アラームを使用します。
- [MPEG-4]、[H.264]画像のアラーム検知でアラーム検知後の録画時間は10秒以上必要です。

お知らせ

- 独自アラーム通知先はパソコンのIPアドレスになりますので、パソコンのIPアドレスは固定で設定してください。
- 独自アラーム機能については、カメラの取扱説明書を参照してください。
- カメラからの検知通知が画像より遅れる場合があります。その場合は使用環境に合わせて検知前の録画時間を調節してください。

検知パターン

選択できる検知パターンは[立上り(開放)]、[立下り(短絡)]、[立上り(開放)、立下り(短絡)]の3種類です。
工場出荷値は[立上り(開放)]です。

お知らせ

- 機種により、[立上り(開放)]しか検知できない場合があります。検知パターンの仕様についてはカメラの取扱説明書を参照してください。

4.1.5 その他の設定

カメラ検索

- 検索
  電源を入れて20分以上経過したカメラの検索はできません。
  検索でカメラを登録する場合は、カメラの電源を入れなおしてください。
- 検索結果
  一覧には機種により、一覧にカメラ名が表示されない場合があります。また機種名には先頭の英字（DG- / WV- / BB-）を除いた品番が表示されます。

IPv6アクセス

IPv6アドレスでカメラを登録した場合、カメラのMPEG-4またはH.264画像が表示されないことがあります。そのときはInternet Explorerのバージョンを確認し、Internet Explorer 7以降にバージョンアップしてください。

プリセットシーケンス動作可能時間の制限

一部の機種を除き、プリセットシーケンスの動作可能時間に制限はありません。
全方位ネットワークカメラで撮像モードが４画PTZの場合は、左上の画面のみプリセット移動を実行します。

パン・チルト動作中の動作検知

動作検知設定で[本プログラムで動作検知]を選択しているときは、パン・チルト動作中も動作検知します。

MPG/ASF/AVIファイル変換

ファイル変換後の解像度

ワイド画面で録画した録画画像をMPG/ASF/AVIファイルに変換すると、一部、解像度が変更されます。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>変換前の解像度</th><th>ファイル変換後の解像度</th></tr>
<tr><td colspan="2">BBシリーズネットワークカメラ</td><td>160 × 120</td><td>192 × 144</td></tr>
<tr><td rowspan="7">DG/WVシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラ</td><td>1.3メガカメラ4:3</td><td>800 × 600</td><td>640 × 480</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1.3メガカメラ16:9</td><td>640 × 360</td><td>640 × 480</td></tr>
<tr><td>320 × 180</td><td>320 × 240</td></tr>
<tr><td rowspan="4">3メガカメラ16:9</td><td rowspan="2">1920 × 1080</td><td>1280 × 720</td></tr>
<tr><td>1280 × 960
(最大22枚／秒)</td></tr>
<tr><td>640 × 360</td><td>640 × 480</td></tr>
<tr><td>320 × 180</td><td>320 × 240</td></tr>
</table>

4.2 カメラの設定値について

カメラへの自動設定が有効の場合、カメラを新規登録時、登録後の設定変更時、またはカメラへのアクセス時に、カメラ本体側の設定値は以下のように変更されます。

画像	解像度（MPEG-4／H.264）	本プログラムの設定値
	画質（JPEG）	本プログラムの設定値
	画質（MPEG-4／H.264）	標準
	配信モード（MPEG-4／H.264）	フレームレート指定
	フレームレート（MPEG-4／H.264）	本プログラムの設定値
	1クライアントあたりのビットレート（MPEG-4）	本プログラムの設定値
	1クライアントあたりのビットレート（H.264）	本プログラムの設定値
	リフレッシュ間隔（Iフレーム間隔）（MPEG-4／H.264）	1秒
アラーム	アラーム設定	端子1：アラーム入力 端子2：アラーム入力 端子3：AUX出力
	動作検知エリア	エリア1の全領域
	独自アラーム通知先1	[カメラの機能チェック]を実行したパソコンのIPアドレス
	通知先ポート番号（独自アラーム）	1818
音声	音声モード	双方向 • カメラに送話機能がない場合は[受話]
	ビットレート	32 kbps
	音声圧縮方式	G.726
	送話間隔	640ms

お願い

- カメラへの自動設定が有効の場合、本プログラムが自動で設定するのでカメラ本体側で直接変更しないでください。
- これらの設定値はカメラを本プログラムに登録して使用するために必要ですので、カメラ本体側で直接変更しないでください。
- 一方、カメラへの自動設定が無効の場合、カメラ本体側で直接変更する必要があります。その後、カメラ設定の「カメラの機能チェック」を必ず実行してください。カメラの機能チェックを行わないと正常に動作しない場合があります。

4.3 録画画像ファイルサイズについて

画像1枚（フレーム）のファイルサイズ（画像のみ）

データ形式：JPEG

解像度(ドット)	低画質（KB）	標準（KB）	高画質（KB）	最高画質（KB）
2048 × 1536	144	384	787	883
1920 × 1080	96	250	518	576
1280 × 960	58	154	307	346
640 × 480	26	52	103	138
320 × 240	10	29	48	53

1時間あたりのファイルサイズ（画像のみ）

データ形式：MPEG-4

解像度(ドット)	MPEG-4ビットレート（kbps）	録画ファイルサイズ（MB）
640 × 480	2048	900
320 × 240	1024	450

データ形式：H.264

解像度(ドット)	枚／秒	H.264ビットレート（kbps）	録画ファイルサイズ（MB）
1920 × 1080	30	4096	1800
	15	3072	1350
1280 × 960	30	2048	900
	15	1536	675
640 × 480	30	1024	450
	15	768	338
320 × 240	30	512	225
	15	384	169

4.4 推奨構成

CPU：Intel Core i7 4790 CPU @ 3.60GHz メモリー：8 GB OS：Windows 7 (64bit)	録画	データ形式	JPEG
		解像度（幅）	1280
		フレームレート (fps)	指定なし
		同時録画台数 (台)	16
	マルチモニタリング	データ形式	JPEG
		フレームレート (fps)	3
		同時表示台数 (台)	16
		表示レイアウト	4 × 4

CPU：Intel Core i7 4790 CPU @ 3.60GHz メモリー：8 GB OS：Windows 7 (64bit)	録画	データ形式	H.264	H.264	H.264	H.264
		解像度（幅）	1280	1280	1280	1920
		フレームレート (fps)	15	30	30	30
		同時録画台数 (台)	16	4	9	4
	マルチモニタリング	データ形式	H.264	JPEG*1	H.264	H.264
		フレームレート (fps)	10	5	30	30
		同時表示台数 (台)	16	16	9	4
		表示レイアウト	4 × 4	4 × 4	3 × 3	2 × 2

*1 この条件のときには、表示画像のデータ形式は自動でJPEGに切り替わります。

お知らせ

- 上記はパソコンで本プログラムのみを起動している状態で測定した結果の一例です。
  本プログラムでより良い録画性能を得るためには本プログラム使用中は他のプログラムを終了されることを推奨します。
- 上記の推奨値は録画性能の目安確認を目的とした参照情報であり、システムの動作保証および性能保証を行うものではありません。
- 最新の情報については、以下のサポートウェブサイトを参照してください。
  http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/ncr/info.html

5 補足情報

5.1 仕様

パソコンの仕様により推奨するカメラの登録台数、マルチモニタリング画面での表示台数、同時録画できる台数などは異なります。
最新の情報については、以下のサポートウェブサイトを参照してください。
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/ncr/info.html

お知らせ

- 表1は、ネットワークカメラBB-HCM735を使用して、画質：標準、録音データ：音声と画像、フレームレート指定：10枚/秒、画像情報の透明度を指定しないという条件で録画を行う場合に必要なパソコンのスペックを表示しています。
  ただし、推奨PCスペック・検証機種は録画性能の目安確認を目的とした参照情報であり、システムの動作保証および性能保証を行うものではありません。
- 各表は、保存先を内蔵ハードディスクにした場合の仕様です。
- DGシリーズネットワークカメラおよびBB-Sシリーズネットワークカメラの推奨構成は164 ページを参照してください。

お願い

- 本プログラムの動作中に他のアプリケーションが動作するとCPUの負荷が上がり、本プログラムの動作に影響を及ぼすことがあります。運用の際は、他のアプリケーションと同時に動作させないでください。
- ファイル変換および録画画像の削除を実行するとCPUの負荷が上がり、フレームレートが低下するなど録画に影響を及ぼすことがあります。
  ファイル変換および録画画像の削除は、録画を停止させた状態で実行してください。
- MPEG-4／H.264に設定している場合には、モニタリングフレームレートが高く、CPUの負荷が上がり動作が不安定になることがあります。MPEG-4／H.264に設定している場合には、モニタリングフレームレートを指定してご使用ください。

表1

CPU：Intel Core i7 CPU 870 @ 2.93GHz メモリ ー：4 GB OS：Windows 7 (32bit)	録画	データ形式	JPEG
		解像度	640 × 480
		フレームレート (fps)	30
		同時録画台数 (台)	16
	マルチモニタリング	データ形式	JPEG
		フレームレート (fps)	10
		同時表示台数 (台)	16
		表示レイアウト	4 × 4

CPU : Intel Core i7 CPU 870 @ 2.93GHz メモリー : 4 GB OS : Windows 7 (32bit)	録画	データ形式	MPEG-4
		解像度	1280 × 960
		フレームレート (fps)	10
		同時録画台数 (台)	16
	マルチモニタリング	データ形式	JPEG[*1]
		フレームレート (fps)	10
		同時表示台数 (台)	16
		表示レイアウト	4 × 4

表2

CPU : Intel Core i7 CPU 870 @ 2.93GHz メモリー : 4 GB OS : Windows 7 (32bit)	録画	データ形式	H.264	H.264
		解像度	1280 × 960	1280 × 960
		フレームレート (fps)	10	30
		同時録画台数 (台)	16	4
	マルチモニタリング	データ形式	JPEG[*1]	H.264
		フレームレート (fps)	10	30
		同時表示台数 (台)	16	4
		表示レイアウト	4 × 4	2 × 2

[*1] この条件のときには、表示画像のデータ形式は自動でJPEGに切り替わります。

5.2 困ったときには

症状	原因と対策
操作説明書が本プログラムの画面の背面に隠れて表示されない。	→ Alt+Tabキーを押すと本プログラムの画面が背面に移動します。 → カーソルはカメラの画面およびボタン以外の箇所では で表示されます。カーソルが に変わる箇所でマウスを左クリックしながら動かすと画面全体を移動できます。 画面を動かして操作説明書を選択してください。 操作画面はカーソルが に変わる箇所でダブルクリックすると元の位置に戻ります。
ネットワークカメラの画像が表示されない。	• ネットワークカメラが起動していない。 → カメラの起動を確認してください。 • ネットワークカメラのアドレスが正しく設定されていない。 → [カメラ設定]画面で、カメラアドレスを正しく設定してください。 • ネットワークカメラのアクセスに認証が必要。 → [カメラ設定]画面で、カメラ認証のユーザー名、パスワードを正しく設定してください。 • パソコンのネットワークが正しく動作していない。 → パソコンのネットワーク設定を確認してください。 • ネットワークが混んでいる。 → 画面がすぐに表示されない場合もあります。少しお待ちください。 • プロキシ設定が正しく行われていない。 → ネットワーク接続上、プロキシを利用しなければ見ることができないネットワークカメラの画像を参照する場合には、[環境設定]の[プロキシサーバー]画面でプロキシサーバーを正しく設定後、[カメラ設定]画面の[プロキシ]で[使用する]を設定してください。 • 本プログラムを使用して、同一カメラに4接続以上している。 → 本プログラム (BB-HNP11を含む) から同一カメラへの接続数には制限があります。最大接続数の仕様については、カメラの取扱説明書を参照してください。

症状	原因と対策
	• Windows Media Player がインストールされていない。 → Windows Server 2008 で、ポータルからのカメラの画像も表示されない場合は[スタート]–[コントロール パネル]– [プログラムと機能]–[Windowsの機能の有効化または無効化]で表示されるサーバーマネージャの機能で、 [機能追加]をクリックして[デスクトップ エクスペリエンス]をチェックしてください。Windows Media Player がインストールされ、画像が表示できるようになります。 → Windows Server 2012 については、マイクロソフトのウェブサイトを参照してください。
マルチモニタリング画面に[ライセンスキーを登録してください]と表示される。	• ライセンス登録を行っていない。 → メニューボタンの[ヘルプ] → [ライセンスの登録]で登録コード、ライセンスキーを入力してライセンス登録を完了させてください。
タイマー録画しない。	• タイマー設定の[曜日指定]で曜日を設定していない。 → タイマー録画する曜日にチェックを入れてください。 • タイマー設定が[停止]になっている。 → タイマーを[タイマー起動]にしてください。
ネットワークカメラの画像がパン／チルトできない。	• ネットワークカメラの設定で、パン／チルトができない設定になっている。 → カメラ本体側の設定でパン／チルトを許可するように変更してください。 • ネットワークカメラがパン／チルト対応の機種でない。
プログラムの動作が不安定または、反応しない。	• ご使用になっているパソコンのスペックが十分でない。 → その他のソフトウェアを終了させてください。
モニタリング中に音声が聞こえない。	• ネットワークカメラが音声対応の機種でない。 → 音声対応のカメラでなければ音声は聞こえません。 • ネットワークカメラのマイクがはずれている。もしくははずれかけている。 → カメラにマイクが正しく付いているか確認してください。 • パソコンの音量設定がミュートになっている、または音量が最小になっている。 → Windowsの音量調整バーで音量を調節してください。 • スピーカーに問題がある。 → お使いのスピーカーの設定を確認してください。

症状	原因と対策
音声付きカメラの録画画像を再生しても音が出ない。	• 録画の際、[画像設定]の[録音データ]で、[画像のみ]を選択していた。 → [画像のみ]が選択されている場合は音声は録音されません。音声を録音したい場合は[音声と画像]を選択してください。
モニタリングまたは録画画像再生で、音声と画像がずれる。	• 音声は、画像の動きより1～2秒遅れます。また音が途切れたり、画像が静止したりすることもあります。故障ではありません。
カメラ本体側の設定で解像度、画質の機能制限を設定しているが機能しない。	• カメラの解像度、画質の機能制限は本プログラムでは動作しません。
ヘルプボタンをクリックしても操作説明書が表示されない。	→ 拡張子"HTA"の付いたファイルの関連付けをMicrosoft® HTML Application hostに設定してください。 • セキュリティソフトが動作している。 → ご使用のセキュリティソフトを一時的に停止する、あるいはセキュリティソフトに本プログラムへの接続を許可するなどの設定を行ってください。 設定方法はご使用のセキュリティソフトの取扱説明書を参照してください。
マルチモニタリング画面およびマルチ再生画面の透過率を設定すると画質が落ちる。	→ カメラの画像設定で解像度を上げてください。
CD-ROMからのインストールができない。	• 既にリモートクライアントがインストールされているパソコンには、CD-ROMからのインストールはできない。 → リモートクライアントをアンインストールした後、CD-ROMからインストールしてください。その後は、リモートサーバー、リモートクライアントどちらも起動できるようになります。
文字化けする。	• PCの表示言語が正しく設定されていません。 → Windows OSのコントロールパネルの地域と言語で表示言語を選択してください。各OSの設定方法についてはマイクロソフトのウェブサイトを参照してください。OSのCD-ROMを要求される場合があります。メッセージどおり対処してください。
ヘルプボタンをクリックしても操作説明書の該当箇所が表示されない。	• Internet Explorer のバージョンが6または7の場合、ヘルプボタンをクリックすると操作説明書の該当ページではなく、先頭ページが表示される場合がある。 → Internet Explorer 9以降にバージョンアップしてください。

症状	原因と対策
タスクバーに が表示されない。	• Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows Server 2012でご使用の場合は は表示されない。 → タスクバーにある三角ボタン（▲）をクリックして表示されるメニューで[カスタマイズ]を選択して、本プログラムに対して[アイコンと通知を表示]を設定してください。
リモートアクセスできない。	• Windows Server 2008、Windows Server 2012をリモートサーバーで使用している。 → Windows Server 2008で以下の操作を行ってください。 **1.** [スタート]→[管理ツール]→[セキュリティーが強化されたWindowsファイアウォール]を開く **2.** 左側のパネルの[受信の規則]をクリックする **3.** 右側の[操作]パネルの[新規の規則]をクリックする **4.** 規則の種類で[プログラム]を選択して[次へ]をクリックする **5.** [このプログラムのパス]を選択して、インストールフォルダ内の[ncrcore4.exe]を指定し[次へ]をクリックする **6.** [接続を許可する]を選択して[次へ]をクリックする **7.** [ドメイン]、[プライベート]、[パブリック]すべてにチェックを入れて[次へ]をクリックする **8.** 名前(例：ネットワークカメラ専用録画ビューアソフトVer. 4)と説明(例：リモートサーバー)を入れて[完了]をクリックする → Windows Server 2012 についてはマイクロソフトのウェブサイトを参照してください。 • 「アクセスエラーが発生しました。」と表示され接続できない。 → 接続先のリモートサーバーとクライアント側で使用している本プログラムのバージョンが異なるため接続できません。クライアント側の本プログラムをバージョンアップしてください。バージョンアップの方法については、http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/ncr/info.html を参照してください。

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>Windows 8、Windows 8.1、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012で
• Internet Explorerでカメラのポータルサイトが表示できない。
• リモートサーバーからリモートクライアント用の録画プログラムがインストールできない。</td><td>• Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012の場合は以下の操作を行ってください。
1. [ツール]-[インターネットオプション]で[セキュリティー]タブを選択する
2. [インターネット]を選択する
3. [レベルのカスタマイズ]を選択する
• ActiveXコントロールとプラグイン
→「ActiveXコントロールとプラグインの実行」で「有効にする」をチェックしてください。
→「スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールのスクリプトの実行」で「有効にする」をチェックしてください。
→「署名済みActiveXコントロールのダウンロード」で「ダイアログ表示する」をチェックしてください。
• スクリプト
→「アクティブスクリプト」で「有効にする」をチェックしてください。
• Windows 8、Windows 8.1、Windows Server 2012の場合は互換表示に設定してください。設定手順についてはマイクロソフトのウェブサイトを参照してください。
• 管理者権限でInternet Explorerを起動してください。
• Internet Explorerの[ツール]-[インターネットオプション]で[セキュリティー]タブを選択し、保護モードを有効にしてください。</td></tr>
<tr><td>クライアント側でMPEG-4およびH.264画像が一瞬止まるような動きをし、スムーズに表示されない。</td><td>• カメラから送信されるデータ量が大き過ぎます。
→ カメラ設定の［画像設定］で、MPEG-4およびH.264のビットレート値を下げてください。</td></tr>
<tr><td>Eメールが送信されない。</td><td>• Eメール設定が間違っている。
→ [環境設定]-[Eメール設定]を正しく設定してください。</td></tr>
<tr><td>Eメールが作成されない。</td><td>• Eメール送信にチェックが入ってない。
→ カメラ設定の各イベント検知設定画面で[Eメール送信]にチェックマークを入れてください。
• Eメールの送信待ちが100件になっている。
→ Eメールの送信待ち件数は100件までです。100件を超えるメールは作成されません。[環境設定]-[Eメール設定]の[送信待ちメールの削除]で[削除]をクリックして、送信待ちメールを削除してください。</td></tr>
</table>

症状	原因と対策
ライセンス登録後に操作画面を起動すると、画面上にライセンス登録画面が表示される。	• セキュリティソフトが動作している。 → ご使用のセキュリティソフトを一時的に停止する、あるいはセキュリティソフトに本プログラムへの接続を許可するなどの設定を行ってください。 設定方法はご使用のセキュリティソフトの取扱説明書を参照してください。
ASFファイルに変換した録画画像がWindows VistaまたはWindows Server 2008のWindows Media Playerで再生できない。	→ Windows Updateを実行して、Windows Media Playerに関する修正プログラムをインストールしてください。

5.3 エラーメッセージ一覧

ライセンス登録

メッセージ	原因と対策
ライセンス登録が完了しました。	• ライセンス登録が正常に終了した場合
登録情報が正しくありません。登録コードとライセンスキーをご確認のうえ、もう一度やり直してください。	• ライセンス登録で入力した情報がまちがっていた場合 → 登録コードとライセンスキーが正しいか確認して、やり直してください。
"登録コード" を入力してください。	• 登録コードが空欄だった場合 → 付属の登録コードシール(1セット(3枚付))の登録コードを入力してください。
"ライセンスキー" を入力してください。	• ライセンスキーが空欄だった場合 → 付属の登録コードシール(1セット(3枚付))のライセンスキーを確認して入力してください。

環境設定

メッセージ	原因と対策
基本設定	
録画容量制限値は 1GB から**GB(ドライブ容量の90%) の範囲内で設定してください。	• 保存先録画容量制限値がドライブ容量の90%よりも大きかった場合 → 保存先の録画容量制限値は、1 GB 以上、保存先ドライブ容量の90%までの範囲内で設定してください。
カメラ設定でカメラごとの「録画容量を制限」が指定されています。これらの設定を解除し、環境設定の「録画容量を制限」を設定しますか？	• 環境設定とカメラごとの［録画容量を制限］は同時に設定することはできません。 → カメラごとに録画容量を制限するか、保存先ドライブに録画容量を制限するか設定してください。
録画容量制限値は、半角数字で入力してください。	• 録画容量制限値が半角数字ではなかった場合 → 録画容量制限値を半角数字で入力してください。
録画容量制限値を入力してください。	• 録画容量制限値が空欄の場合 → 録画容量制限値を半角数字で入力してください。
保存先フォルダの指定に誤りがあります。	• 保存先のフォルダパスの合計が半角128文字を超えるフォルダを選択した場合 → 保存先は、フォルダパスの合計が半角128文字以内となるフォルダを選択してください。 • 保存先フォルダに書き込みできない場合 → そのフォルダに対して書き込み／読み出し権限を設定してください。
プロキシサーバー	

メッセージ	原因と対策
"サーバーアドレス" を入力してください。	• ポートが入力済みでアドレスが空欄だった場合 → サーバーアドレスを入力してください。
"ポート" は、半角数字で入力してください。	• ポートに半角数字以外が入力された場合 → ポートは半角数字で入力してください。
"ポート" は、1から65535の範囲内で設定してください。	• ポートに1～65535以外の数字を入力した場合 → ポートは1から65535の範囲内で設定してください。
"サーバーアドレス" は、半角英数字で入力してください。	• サーバーアドレスが半角英数字以外だった場合 → サーバーアドレスは半角英数字で入力してください。
"ユーザー名" は、半角英数字で入力してください。	• プロキシユーザー名が半角英数字以外だった場合 → ユーザー名は半角英数字で入力してください。
"パスワード" は、半角英数字で入力してください。	• プロキシパスワードが半角英数字以外だった場合 → パスワードは半角英数字で入力してください。
プロキシサーバー設定のポートが設定されています。サーバーアドレスでポート番号を二重に設定することはできません。ポート番号を確認してもう一度やり直しください。	• ポートを2つ設定している場合 → サーバーアドレスでポート番号を二重に設定することはできません。ポート番号を確認して、やり直してください。
プロキシサーバーへのIPv6接続には対応していません。IPv4アドレス、または、IPv4ドメイン名サービスで登録したURLを入力してください。	• サーバーアドレスのIPv6アドレスを入力した場合 → IPv4アドレス、または、IPv4ドメイン名サービスで登録したURLを入力してください。
マルチモニタリング	
総ページが 1 の場合、自動巡回は指定できません。	• 自動巡回は複数ページのときに有効です。 → 総ページを増やしてください。
すべては選択できません。	• 一部のカメラを大きく設定することはできますが、すべてを設定することはできません。 → 一部のカメラを選択してください。
縦横比が不正です。	• 一部のカメラを大きく設定するには、同じ縦横比で表示枠を選択してください。 → 同じ縦横比で表示枠を選択してください。
既存の大セルと交差できません。	• すでに大きく設定している表示枠を選択しました。 → 既存の大セルと交差しないよう表示枠を選択してください。

メッセージ	原因と対策
表示能力を超えたため、H.264/MPEG-4のモニタリング映像をJPEGの標準映像に変更します。	• モニタリングの表示能力を超えました。 → メッセージを表示したくない場合は、カメラの画像設定をH264/MPEG-4からJPEGに変更する、またはマルチモニタリング画面を1×1、2×2などに切り替えてください。
これ以上表示することができません。すべてのモニタリング映像を停止します。以下の対策を行ってください。 • 解像度を小さくする • 1ページ中のレイアウトカメラ数を減らす	• PCの空きメモリーが少なくなっています、あるいはCPU使用率が高くなっています。 → カメラ設定画面で解像度を小さくしてください。1ページに表示しているカメラ数を減らしてください。
ナビゲーション	
録画容量の取得に失敗しました。しばらくしてからやり直してください。	• 録画容量の取得に失敗した場合 → しばらくしてからやり直してください。
運用サポート	
修復プログラムを実行するため、本プログラムを終了します。終了すると、録画中のカメラは録画を停止します。また、設定しているタイマーも動作しなくなります。本プログラムを終了し、修復プログラムを実行しますか？	• 本プログラムと修復プログラムは同時に実行できません。 → 修復プログラムを実行する場合は、[OK]をクリックして本プログラムを終了させてください。
修復プログラムが下記の録画データを修復している途中で終了しています。録画データの修復処理を行ってください。 [フォルダ] *** [日付] yyyy/mm/dd	• [修復開始]をクリックして録画データの修復処理を行ってください。 → [修復開始]をクリックして録画データの修復処理を行ってください。
録画画像に破損が見つかりました。修復プログラムを起動します。	• 録画画像に破損がある場合、自動で修復プログラムを起動します。 → 進行状況が表示されますので、修復が終了するまで待機してください。

カメラ設定

メッセージ	原因と対策
カメラ設定	
"ポート" は、半角数字で入力してください。	• ポートに半角数字以外を入力した場合 → ポートは半角数字で入力してください。

メッセージ	原因と対策
"カメラ名" を入力してください。	• カメラ名が空欄だった場合 → カメラ名を入力してください。
"カメラアドレス" を入力してください。	• カメラアドレスが空欄だった場合 → カメラアドレスを半角英数字で入力してください。
"カメラアドレス" は、半角英数字で入力してください。	• カメラアドレスが半角英数字以外だった場合 → カメラアドレスは半角英数字で入力してください。
"ポート"は、1から65535の範囲内で設定してください。	• ポートに1～65535以外の数字を入力した場合 → ポートは1から65535の範囲内で設定してください。
"ユーザー名" は、半角英数字で入力してください。	• 認証ユーザー名が半角英数字以外だった場合 → ユーザー名は半角英数字で入力してください。
"パスワード" は、半角英数字で入力してください。	• 認証パスワードが半角英数字以外だった場合 → パスワードは半角英数字で入力してください。
"カメラ名" は、半角250文字、全角125文字の範囲内で設定してください。	• カメラ名の入力文字数が[249文字半角・1文字全角］以上の場合 → カメラ名は、半角250文字、全角125文字の範囲内で設定してください。
"コメント" は、半角128文字、全角64文字の範囲内で設定してください。	• コメントの入力文字数が[127文字半角・1文字全角］以上の場合 → コメントは、半角128文字、全角64文字の範囲内で設定してください。
カメラ名：***** 指定されたカメラを削除します。	• カメラを削除する場合 → 指定されたカメラを削除します。
カメラ設定の"ポート"が設定されています。"カメラアドレス"でポート番号を二重に設定することはできません。ポート番号を確認してもう一度やり直しください。	• ポートを2つ設定している場合 → カメラアドレスでポート番号を二重に設定することはできません。ポート番号を確認して、やり直してください。
カメラとの接続が確認できません。アドレス、ポート番号、プロキシの設定に誤りがある可能性があります。このまま設定してもよろしいですか？	• カメラとの接続が確認できなかった場合 → このまま設定する場合は、[はい]を、設定を確認する場合は[いいえ]を選択してください。
カメラとの接続が確認できません。アドレス、ポート番号、プロキシの設定に誤りがある可能性があります。もう一度やり直してください。	• カメラとの接続が確認できなかった場合 → アドレス、ポート番号、プロキシを確認して、やり直してください。 • カメラ側の認証方式を確認してください。本プログラムで使用できるのはBasic認証だけです。

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>カメラ認証ができませんでした。ユーザー名とパスワードをご確認のうえ、もう一度やり直してください。</td><td>• カメラ認証ができなかった場合
→ ユーザー名とパスワードを確認して、やり直してください。
• カメラ側の認証方式を確認してください。本プログラムで使用できるのはBasic認証だけです。</td></tr>
<tr><td>対象のカメラが持つ機能を未確認のため、他の設定ができません。カメラの機能チェックを実行してください。</td><td>• [カメラの機能チェック]が済んでいない場合
→ [カメラの機能チェック]を実行してください。</td></tr>
<tr><td>カメラアドレスがIPv6アドレスになっているため、プロキシを利用する事ができません。プロキシを利用する場合は、IPv4アドレス、または、IPv4ドメイン名サービスで登録したURLを設定してください。</td><td>• カメラアドレスがIPv6アドレスになっている場合
→ プロキシを利用する場合は、IPv4アドレス、または、IPv4ドメイン名サービスで登録したURLを設定してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">画像設定</td></tr>
<tr><td>データ形式をMPEG-4（H.264）に設定した場合、イベント検知録画（動作検知、アラーム検知など）の設定はできません。</td><td>• データ形式をMPEG-4（H.264）に設定した場合
→ イベント検知録画（動作検知、アラーム検知など）の設定はできません。</td></tr>
<tr><td>イベント録画（[**]）を起動しているため、データ形式を［##］に設定できません。イベント録画（[**]）を終了して、[##］に設定しますか？
• **の内容
動作検知、アラーム検知などイベントの種類
• ##の内容
MPEG-4、H.264</td><td>• イベント検知録画（動作検知、アラーム検知など）が動作しているときに、データ形式をMPEG-4(H.264)に変更した場合
→ MPEG-4(H.264)に変更する場合は、[はい]を、変更しない場合は[いいえ]を選択してください。</td></tr>
<tr><td>対象のカメラは"1280×1024"の解像度を扱えません。解像度は一旦 "320×240"に変更されますので、適切な値に変更してください。</td><td>• 解像度1280×1024に対応したカメラの設定を未対応のカメラに設定変更した場合
→ 解像度はいったん320×240に変更されますので、適切な値に変更してください。</td></tr>
<tr><td>対象のカメラは「**」のデータ形式を扱えません。データ形式の設定をJPEGに変更します。
• **の内容
MPEG-4、H.264</td><td>• 対象のカメラがMPEG-4またはH.264のデータ形式を扱えない場合
→ 対象のカメラのデータ形式をJPEGに変更します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">録画容量制限</td></tr>
<tr><td>録画容量制限値は、半角数字で入力してください。</td><td>• 録画容量制限値が半角数字ではなかった場合
→ 録画容量制限値は半角数字で入力してください。</td></tr>
</table>

メッセージ	原因と対策
録画容量制限値を入力してください。	• 録画容量制限値が空欄の場合 → 録画容量制限値を半角数字で入力してください。
録画容量制限値は 1 GB から**GB の範囲内で設定してください。 ※最大値は、他のカメラの録画容量設定により変化します。	• カメラごとの録画容量制限値が(ドライブ容量の90%ー他のカメラに設定されている録画容量)よりも大きかった場合 → カメラの録画容量制限値は、1GB 以上からドライブ容量の90%から他のカメラに設定されている録画容量を引いた値までの範囲内で設定してください。
環境設定で「録画容量を制限」が指定されています。この設定を解除し、各カメラで「録画容量を制限」を設定しますか？	• 環境設定とカメラごとの[録画容量を制限]は同時に設定することはできません。 → 環境設定の[録画容量を制限]を解除して、各カメラで[録画容量を制限]を設定する場合は[OK]をクリックしてください。
イベント録画	
データ形式を［**］に設定しているため、イベント録画（[##]）を設定できません。データ形式をJPEGに変更して、設定しますか？ • **の内容 MPEG-4、H.264 • ##の内容 動作検知、アラーム検知などイベントの種類	• データ形式がMPEG-4／H.264のときは、イベント録画（動作検知、アラーム検知など）を設定できません。 → データ形式をJPEGに変更する場合は[はい]を、変更しない場合は[いいえ]を選択してください。
タイマー設定	
"タイマー名" を入力してください。	• タイマー名が空欄だった場合 → タイマー名を半角24文字、全角12文字の範囲内で設定してください。
曜日を選択してください。	• 曜日指定のラジオボタンにチェックを入れ、各曜日のチェックボックスをひとつもチェックしなかった場合 → 曜日指定のラジオボタンにチェックを入れた場合は、必ずひとつ以上の曜日を選択してください。
"タイマー名" は、半角24文字、全角12文字の範囲内で設定してください。	• タイマー名の入力文字数が[23文字半角・1文字全角］以上の場合 → タイマー名は半角24文字、全角12文字の範囲内で設定してください。
タイマー名：** 指定されたタイマーを削除します。	• タイマーを削除する場合 → 指定されたタイマーを削除します。
キーワード設定	

メッセージ	原因と対策
"キーワード1" は、半角40文字、全角20文字の範囲内で設定してください。	• キーワード1の入力文字数が[39文字半角・1文字全角] 以上の場合 → キーワード1は、半角40文字、全角20文字の範囲内で設定してください。
"キーワード2" は、半角40文字、全角20文字の範囲内で設定してください。	• キーワード2の入力文字数が[39文字半角・1文字全角] 以上の場合 → キーワード2 は、半角40文字、全角20文字の範囲内で設定してください。

録画画像一覧

メッセージ	原因と対策
検索	
"キーワード" は、半角40文字の範囲内で設定してください。	• 検索キーワードの入力文字数が[39文字半角・1文字全角］以上の場合 → キーワードは、半角40文字の範囲内で設定してください。
"開始時刻"は、終了日時より前の日時に設定してください。	• 時間帯指定で終了時刻を開始時刻より以前の時刻に設定している場合 → 開始時刻は、終了日時より前の日時に設定してください。
検索条件に合う録画画像はありません。	• 録画画像が見つからなかった場合
ファイル変換・複製作成	
"開始時刻" は、録画時間の範囲内で設定してください。	• 開始時刻が録画画像の時間外の場合 → 開始時刻は録画時間の範囲内で設定してください。
"終了時刻"は、開始時刻より後の時刻に設定してください。	• 終了時刻が開始時刻より早い場合 → 終了時刻は、開始時刻より後の時刻に設定してください。
"終了時刻" は、録画時間の範囲内で設定してください。	• 終了時刻が録画画像の時間外の場合 → 終了時刻は録画時間の範囲内で設定してください。
変換する間隔は、半角数字で入力してください。	• [**枚おき]の**が半角数字でない場合 → 変換する間隔は半角数字で入力してください。
変換する間隔は、1から (画像枚数 ー1) の範囲内で設定してください。	• [**枚おき]の**が1から(画像枚数 ー1)の範囲外だった場合、もしくは空欄の場合 → 変換する間隔は1から (画像枚数 ー1) の範囲内で設定してください。

メッセージ	原因と対策
変換する間隔は、1から(終了時刻 - 開始時刻(秒))の範囲内で設定してください。	• 開始時刻から終了時刻までの秒数より大きい数字を入力した場合、もしくは空欄の場合 → 変換する間隔は1から(終了時刻 ～ 開始時刻(秒))の範囲内で設定してください。
変換する間隔は、1から3600の範囲内で設定してください。	• 1時間以上の録画ファイルで[秒おきに変換]に1～3600以外の数字を入力した場合 → 変換する間隔は1から3600の範囲内で設定してください。
録画ファイルが見つかりません。検索と変換をやり直してください。	• JPG変換で、録画画像がないのに変換しようとした場合 → 変換する録画画像を再度検索して、変換をやり直してください。
書き込みエラーが発生しました。	• 変換で書き込みエラーが発生、もしくは、変換するファイルが他のアプリケーションで開かれていた場合 → 変換する録画画像を再度検索して、変換をやり直してください。 → 他のアプリケーションをすべて終了させ、やり直してください。
変換は中断されました。	• 変換中にキャンセルボタンをクリックした場合
録画中の録画画像を変換しようとしました。	• 録画を開始して1分以上経過していない録画画像は、変換できません。
録画画像には、音声データがありません。WAV変換はできません。	• 音声データがないため、音声専用のファイルフォーマットWAVに変換できません。
本機能を使用するには、ライセンス登録が必要です。ライセンス登録を行ってください。	• ライセンス登録を完了させないと利用できない機能(JPG・MPG・WAV・ASF・AVI変換・複製作成)を使おうとした場合 → ライセンス登録を行ってください。
複製作成は中断されました。	• 複製中にキャンセルボタンをクリックした場合
変換は正常に終了しました。	• 変換が正常に終了した場合
1つにまとめてJPGにすることはできません。	• 複数の録画画像をJPEG変換する場合、[1ファイルに変換]は実行できません。
複製作成は正常に終了しました。	• 複製作成が正常に終了した場合
削除	
録画中の録画画像は削除できません。録画を停止して、もう一度やり直してください。	• 録画中の録画画像を削除しようとした場合 → 録画を停止して、やり直してください。
存在しない録画画像が選択されました。検索を再度実行してください。	• 手動で録画ファイルを削除した場合など → 検索を再度実行してください。

メッセージ	原因と対策
選択した録画画像を削除します。よろしいですか？	• 録画画像の削除を選択した場合 → 選択した録画画像を削除します。
削除できない録画画像がありました。もう一度やり直してください。	• 他のアプリケーションで録画ファイルを開いていた場合など → 他のアプリケーションをすべて終了させ、Windowsを再起動してください。
キーワードの変更	
"キーワード1" は、半角40文字、全角20文字の範囲内で設定してください。	• キーワード1の入力文字数が[39文字半角・1文字全角]以上の場合 → キーワード1は、半角40文字、全角20文字の範囲内で設定してください。
"キーワード2" は、半角40文字、全角20文字の範囲内で設定してください。	• キーワード2の入力文字数が[39文字半角・1文字全角]以上の場合 → キーワード2は、半角40文字、全角20文字の範囲内で設定してください。
スナップショット	
スナップショットの書き込みでエラーが発生しました。	• 保存で書き込みエラーが発生、もしくは、ファイルが他のアプリケーションで開かれていた場合 → 保存先のアクセス権限を確認してください。 → ファイルを使用中のアプリケーションを終了し、やり直してください。
再生	
現在時刻と同じ分の録画中画像は再生できません。	• 現在時刻と同じ分の録画中画像は再生できません。
最大選択数は、**台です。カメラの選択を解除して、再度操作してください。	• カメラの最大選択数を超えた場合 → カメラの選択を解除して、再度操作してください。
まだ録画できていないので再生できません。	• しばらくして、検索からやり直してください。

録画

メッセージ	原因と対策
**の録画容量が制限値に達しているので、これ以上録画できません。録画画像を削除してください。 • **の内容 ・カメラ名 ・保存先	• 指定されたカメラの録画ファイル、もしくは、保存先の録画ファイルが、設定している録画容量制限値に達したため、録画が停止した。 → 不要な録画ファイルを削除するか、録画容量の制限値を大きくしてください。 → 録画容量制限の設定を変更し、録画容量到達時の動作を[古い録画画像に上書き録画]に設定してください。

メッセージ	原因と対策
保存先ディスクの空き容量が残り10%を切ったので、録画を停止します。保存先ディスクの空き容量を確認してください。	• 保存先ディスクの残容量が残り10%を切った、または、保存先に指定されているディスクに書き込みができない状態になっているため、録画が停止した。 → 保存先に設定しているディスクの空き容量を確保する。 → 保存先に設定しているフォルダが削除されてないか確認し、なければ作成する。 → 保存先に設定しているフォルダの書き込み権限を確認し、書き込みできるように設定する。 → 保存先ディスクを変更する。
保存先のディスクの容量が**GBしかありません。ディスク容量が1.2 GB以上ある他のディスクを選択してください。	• 保存先フォルダのディスク空き容量が1.2 GB未満だった場合 → 容量が1.2 GB以上あるほかのディスクを選択してください。
画像が1分間取得できませんでした。カメラとの接続を確認してください。今後、このメッセージを表示しないようにするためには画像設定の"録画中に1分間取得できないとき、警告メッセージを表示"のチェックをはずしてください。	• カメラから映像が1分間以上取得できない場合 → カメラとの接続を確認してください。このメッセージを表示しないようにするためには、画像設定の[録画中に1分間取得できないとき、警告メッセージを表示]のチェックをはずしてください。
同時に16台を超えて録画される時間帯が存在します。このまま録画を続けた場合、正常に録画できない可能性があるため、録画設定を16台以下に制限することを推奨します。	• 同時間帯に録画されるカメラ台数が多い → 16台以下になるようにマニュアル録画、およびタイマー録画の設定を見直してください。

インポート・エクスポート

メッセージ	原因と対策
インポート処理中にエラーが発生しました。(**) • **の内容 ・ファイル形式 ・ファイルサイズ ・メモリー不足 ・オープン	• 設定画面のインポートでインポートファイルからインポートできなかった場合 → インポートするファイルが壊れています。
カメラの登録台数が最大登録台数**台に到達したので、インポートを中止しました。 • **の内容 ・カメラの登録台数(1 or 64)	• インポート中に最大カメラ登録数に達した場合 → 不要なカメラを削除してください。

その他

メッセージ	原因と対策
プログラムの起動に失敗しました。本プログラムを再起動してください。プログラムの再起動で改善されない場合は、Windowsを再起動してください。	• ncrcore4.exeの起動に失敗した場合 → Windowsを再起動してください。
プログラム実行中にエラーが発生しました。もう一度やり直しても同じエラーが出る場合はWindowsを再起動してください。	• ncr4.exeの起動に失敗した場合 → Windowsを再起動してください。
カメラの登録台数が最大登録台数64台を超えています。**台以上のカメラを削除して、もう一度やり直してください。	• 最大カメラ登録数に達した場合 → 不要なカメラを削除して、やり直してください。
"**"が見つかりません。パスまたはインターネットアドレスが正しいかどうかを確認してください。 • **の内容 ・フォルダパス	• 操作説明書のファイルが、プログラムフォルダになかった場合(手動で削除した場合) → プログラムをインストールし直してください。
ローカルドライブを指定してください。ネットワークドライブの割り当てを行うとご利用いただけますが、お客様のネットワーク環境により動作が正常に行われない場合がありますので、おすすめできません。	• フォルダ選択ウィンドウで、ネットワーク上のフォルダまたはネットワークドライブを選択した場合 → ローカルのドライブのフォルダを選択してください。
**にアクセスできません。 • **の内容 ・保存先フォルダ ・JPEG変換フォルダ ・MPEG変換ファイル ・インポートファイル ・エクスポートファイル	• 選択したフォルダまたはファイルに、ドライブが判別できないまたはパスが存在しないなどの理由でアクセスができなかった場合 → フォルダまたはファイルを指定し直してください。 • 指定したフォルダにアクセス権がない場合 → フォルダのアクセス権限を確認してください。
終了すると、録画中のカメラは録画を停止します。また、設定しているタイマーも動作しなくなります。終了してもよろしいですか?	• タスクバーにある を右クリックして、[終了]を選択した場合 → 終了すると、録画中のカメラは録画を停止します。また、設定しているタイマーも動作しなくなります。
インストール先のフォルダパスが半角100文字(全角50文字)を超えています。半角100文字(全角50文字)以内のフォルダにインストールしなおしてください。 【現在のインストールフォルダ】 **	• インストール先のフォルダパスが半角100文字(全角50文字)を超えている場合 → 半角100文字(全角50文字)以内のフォルダパスにインストールしなおしてください。

メッセージ	原因と対策
指定したフォルダにアクセス権がありません。フォルダを確認してください。	• 指定したフォルダにアクセス権がない場合 → フォルダのアクセス権を設定してください。
PCのメモリーが不足しているため、処理ができません。 PCを再起動して、本プログラム専用でPCを使用してください。	• PCのメモリー不足 → 本プログラム以外のアプリケーションを終了させ、PCを再起動してください。

リモートアクセス

メッセージ	原因と対策
ポートを入力してください。	• ポートを入力していない場合 → ポートを半角数字で入力してください。
"ポート"は、半角数字で入力してください。	• ポートに半角数字以外を入力した場合 → ポートは半角数字で入力してください。
ポートは、10083以外の1から65535の範囲内で設定してください。	• ポートに10083または1～65535以外の数字を入力した場合 → ポートは、10083以外の1から65535の範囲内で設定してください。
設定を変更するには、本プログラムの再起動が必要です。再起動してもよろしいですか？	• 設定を変更した場合 → 本プログラムの再起動か必要です。再起動します。
管理者のユーザー名を入力してください。	• 管理者のユーザー名が空欄の場合 → 管理者のユーザー名を入力してください。
管理者のパスワードを入力してください。	• 管理者のパスワードが空欄の場合 → 管理者のパスワードを入力してください。
一般１のユーザー名を入力してください。	• 一般１のユーザー名が空欄の場合 → 一般１のユーザー名を入力してください。
一般１のパスワードを入力してください。	• 一般１のパスワードが空欄の場合 → 一般１のパスワードを入力してください。
一般２のユーザー名を入力してください。	• 一般２のユーザー名が空欄の場合 → 一般２のユーザー名を入力してください。
一般２のパスワードを入力してください。	• 一般２のパスワードが空欄の場合 → 一般２のパスワードを入力してください。
サーバーとの接続が切れました。再接続を行いますか？	• ネットワークの混雑などの理由で、サーバーとの接続が切れた場合(リモートクライアント側) → 再接続を行います。

メッセージ	原因と対策
他の管理者が設定情報を変更しています。しばらくしてもう一度やり直してください。	• リモートサーバーへの設定を行っているときに、設定系(設定画面など)の操作を行った場合(リモートクライアント側) → しばらくして、やり直してください。
設定情報が変更されました。設定情報を更新しています。しばらくお待ちください。	• リモートアクセス中に、設定情報が変更されたため、設定情報を再ロードする必要がある場合(リモートクライアント側) → しばらくして、やり直してください。
他の管理者がログインしています。管理者は二人同時にはログインできません。しばらくしてもう一度やり直してください。	• 他の管理者が既にログインしている → しばらくして、やり直してください。

5.4 お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項目			工場出荷値
環境設定	基本設定	保存先フォルダ	インストールフォルダ¥ncrdata
		録画容量を制限	—
		制限値	1 GB
		録画容量到達時の動作	録画停止
		本プログラム動作中はスクリーンセーバーを停止	—
		カメラへの自動設定	無効
	プロキシサーバー	サーバーアドレス	—
		ポート	—
		ユーザー名	—
		パスワード	—
	マルチモニタリング	レイアウト	2 × 2
		ページ	1
		カメラ設定	登録順に設定
		自動巡回	—
		カメラ名	—
		フレームレート	—
		色	黒 (RGB (0,0,0))
		透過率	50 %
		画像表示形式	縦横比を維持
		画像描画方式	自動
		クリック&センタリング	使用する
	マルチ再生	レイアウト	2 × 2
		カメラ名	する
		フレームレート	—
		日時	する
		色	黒 (RGB (0,0,0))
		透過率	50 %
		画像表示形式	縦横比を維持
		録画タイプの色	

項目			工場出荷値
		複数イベント	グレー(RGB (192,192,192))
		連続	ピンク(RGB (255,0,255))
		動作	橙(RGB (255,204,0))
		アラーム	紫(RGB (128,0,128))
		音	水色(RGB (0,204,255))
		ショック	青(RGB (51,102,255))
		画像描画方式	自動
		クリック&センタリング	使用する
	ナビゲーション	保存先ドライブ	c:¥
		表示単位	時間
	運用サポート	録画画像の破損メッセージを他のウィンドウの手前に表示	する
		ログ保存期間	30日間
		ログ解析	
		日付	当日
		タイプ	システムログ
		カメラ	すべて
		タイマー	すべて
	リモートアクセス	リモートアクセスを使用	—
		ポート	10084
		管理者	
		ユーザー名	—
		パスワード	—
		一般1	
		ユーザー名	—
		パスワード	—
		一般2	
		ユーザー名	—
		パスワード	—
	Eメール設定	アドレスまたはホスト名	—
		ポート	25
		送信者	—

項目			工場出荷値
		あて先1／あて先2／あて先3	—
		認証方法	認証なし
		SSL	使用しない
		添付画像の解像度(横幅)	320
カメラ設定	カメラ設定	カメラ名	新しいカメラ
		コメント	—
		カメラアドレス	http://
		ポート	80
		ユーザー名	—
		パスワード	—
		プロキシ	使用しない
		保存先フォルダ	インストールフォルダ¥ncrdata
		カメラとの接続確認	
		10分毎に自動実行	—
		映像チャンネル設定	映像チャンネル　1
	画像設定	データ形式	JPEG
		解像度	320 × 240
		画質	標準
		ビットレート	解像度とフレームレートから導出した最適値
		フレームレート指定	10枚／秒
		録音データ	画像のみ
		録画サイズ (予測値)	30日
		カメラからの画像データ	録画中に1分間取得できないとき、警告メッセージを表示
		インターネットモード	OFF
	録画容量制限	録画容量を制限	—
		制限値	1 GB
		録画容量到達時の動作	録画停止
	動作検知	動作検知モード	本プログラムで動作検知
		しきい値	やや低め
		感度	中央

項目			工場出荷値
		録画時間	検知後、5秒
		検知時の制御	—
		次の検知を抑制する時間	—
	アラーム検知	アラーム1	
		検知パターン	状態(開放)
		録画時間	検知後、5秒
		検知時の制御	—
		次の検知を抑制する時間	—
		アラーム2	
		検知パターン	状態(開放)
		録画時間	検知後、5秒
		検知時の制御	—
		次の検知を抑制する時間	—
	音検知	録画時間	検知後、5秒
		検知時の制御	—
		次の検知を抑制する時間	—
	ショック検知	録画時間	検知後、5秒
		検知時の制御	—
		次の検知を抑制する時間	—
	カメラ切断検知	Eメール送信	—
		メール送信タイミング	状態変化時
		件名	カメラ接続
	イベント検知時の制御	カメラの外部出力	
		出力値	短絡
		出力時間	5秒
		任意コマンド	Beep 1000 1000
		コマンド実行時にウィンドウを非表示	する
		実行タイミング	録画開始時のみ1回実行
		ポップアップ継続時間	次の新規ポップアップまで継続
	キーワード	キーワード1	—
		キーワード2	—

項目			工場出荷値
	プリセットシーケンス	プリセットシーケンス	停止
		スケジュール	毎日、00:00-00:00の直前
		スケジュール終了時のポジション指定	—
		カメラ操作後の制御	プリセットシーケンス停止
	カラーナイトビュー	スケジュールを起動	—
	タイマー一覧	タイマー10個同時表示	—
	タイマー設定	タイマー起動／停止	タイマー起動
		タイマー名	新しいタイマー
		スケジュール／ポジション指定	毎日、00:00-00:00の直前、ポジション指定なし
		録画タイプ	連続録画
	キーワード	キーワード1	—
		キーワード2	—
エクスポート/インポート	エクスポート	エクスポートファイルの保存先	インストールフォルダ
		ファイル名	—
		ファイルの種類	HNP17 カメラ定義ファイル (*.h17)
	インポート	インポートファイルのフォルダ	インストールフォルダ
		ファイル名	—
		ファイルの種類	HNP17 カメラ定義ファイル (*.h17)
画面	マルチモニタリング	選択カメラ	左上
	マルチ再生	選択カメラ	左上
	検索画面	フォルダ	保存先
		カメラ	すべて
		日付	現在の日付
		時間	00:00:00から00:00:00の直前
		曜日	日月火水木金土
		録画タイプ	連続、動作、アラーム、音、ショック

項目			工場出荷値
		起動タイプ	タイマー、マニュアル
		キーワード	―
		グラフィック表示	
		目盛間隔	1時間
		表示スケール	24時間
		カレンダー	当日
		再生一覧	
		選択	全部
		再生画面	選択した録画画像の、開始時刻の画像を静止画で表示

5.5 別売品

品名	品番	希望小売価格
H.264ユーザーライセンス	BB-HCA8	1500円（税別）
MPEG-4 ユーザーライセンス	BB-HCA5	1500円（税別）
		(2015年6月現在)